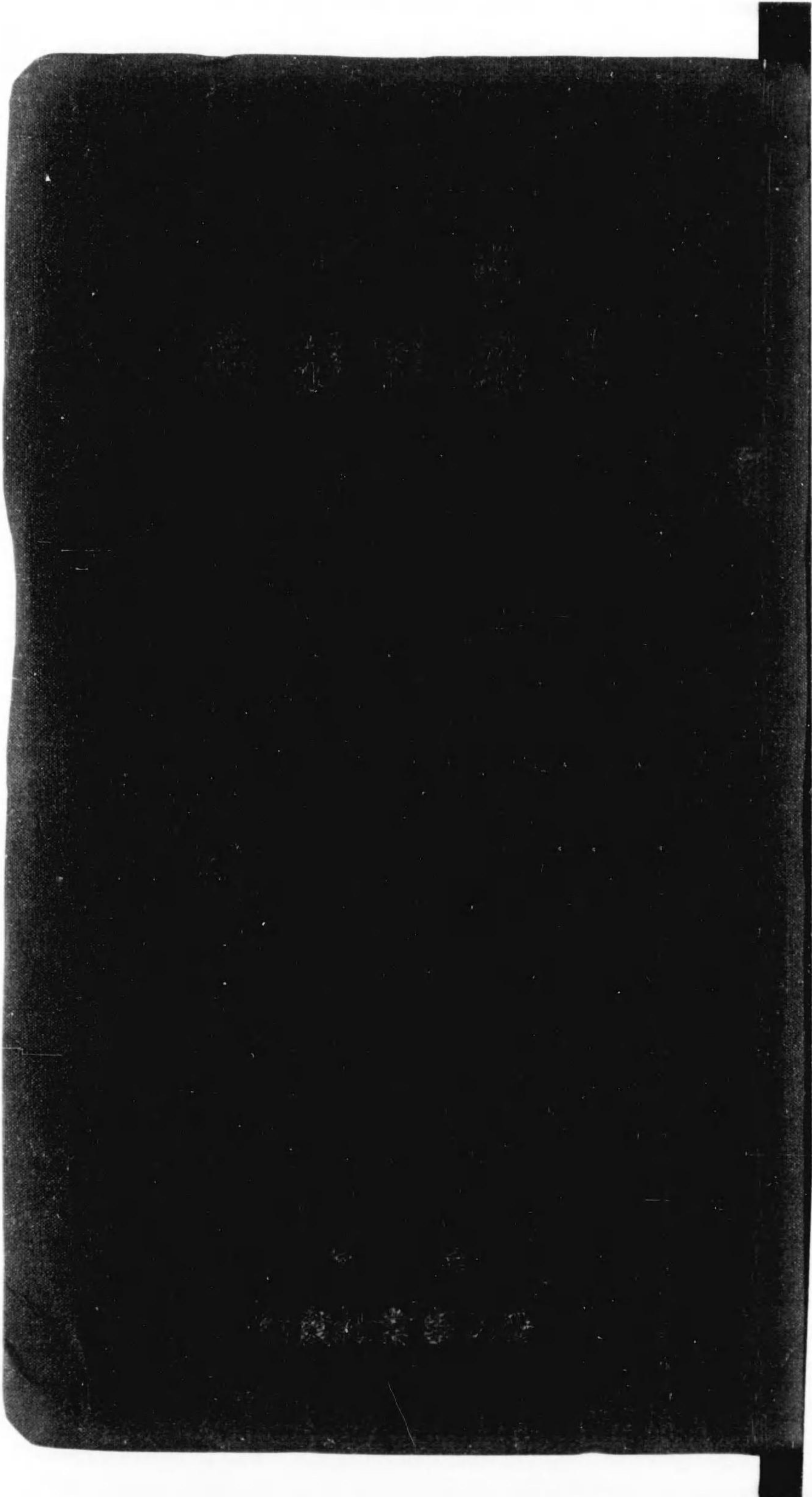
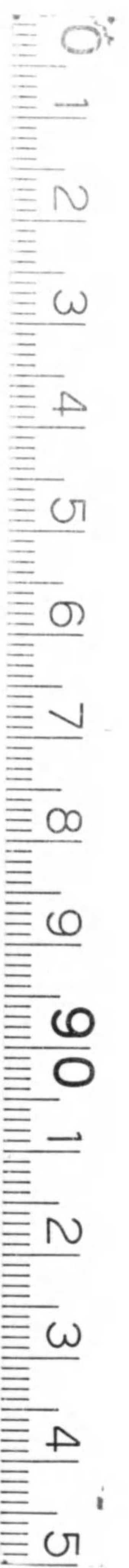


始





本欄索引

部	門	目次頁	本文頁	部	門	目次頁	本文頁
	對支時局解説	一頁	自 一一五〇 至		軍事上の知識	八頁	自 四七七 至 五五四
	國際外交事情	三頁	一五二 三〇六		日常科學知識	二〇頁	五五五 六五八
	政治法律の常識	五頁	三〇七 三九八		宗教と儀禮	三頁	六五九 七三二
	財政經濟常識	六頁	三九九 四七六		日常社會常識	二頁	七三三 八一二

上欄索引

見	出	本文頁	見	出	本文頁	見	出	本文頁
支那の國勢	一頁		帝國經濟統計	三四〇頁		俗語辭典	六四八頁	
支那主要地名	四二		列國重要 資源生産高	三七〇		外來語辭典	六七一	
支那要人略傳	一一一		帝國の交通	三八六		スポーツ用語	七三九	
世界人名辭典	一九〇		我が教育界	四〇二		郵便料金	七五八	
日本の人口	二四四		官廳會社所在地	四一〇		鐵道料金	七七八	
日本の土地	二六二		相場經濟用語	四七五		度量衡換算表	八〇三	
世界地理概要	三〇三		故事と熟語辭典	五三三				



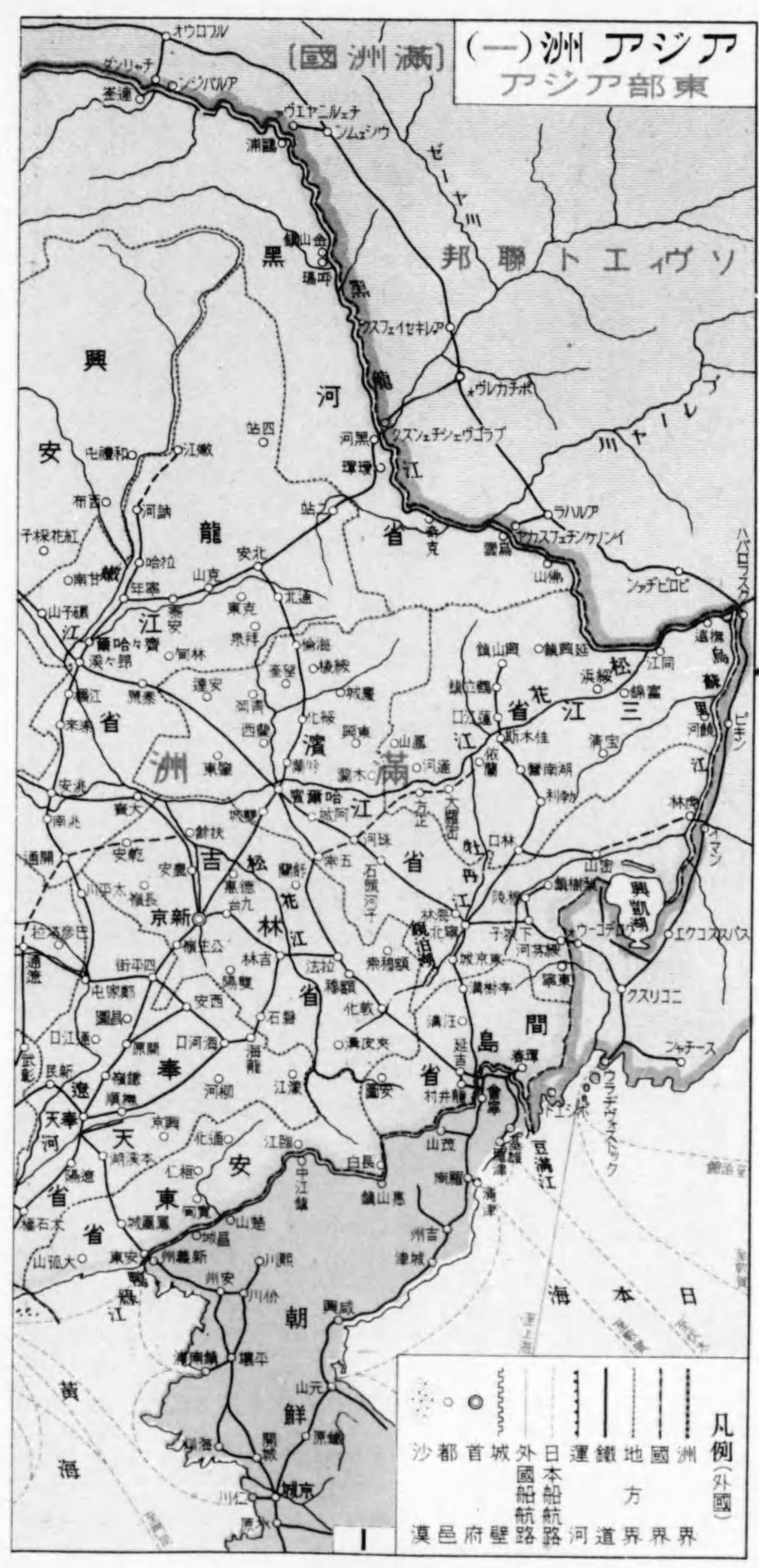
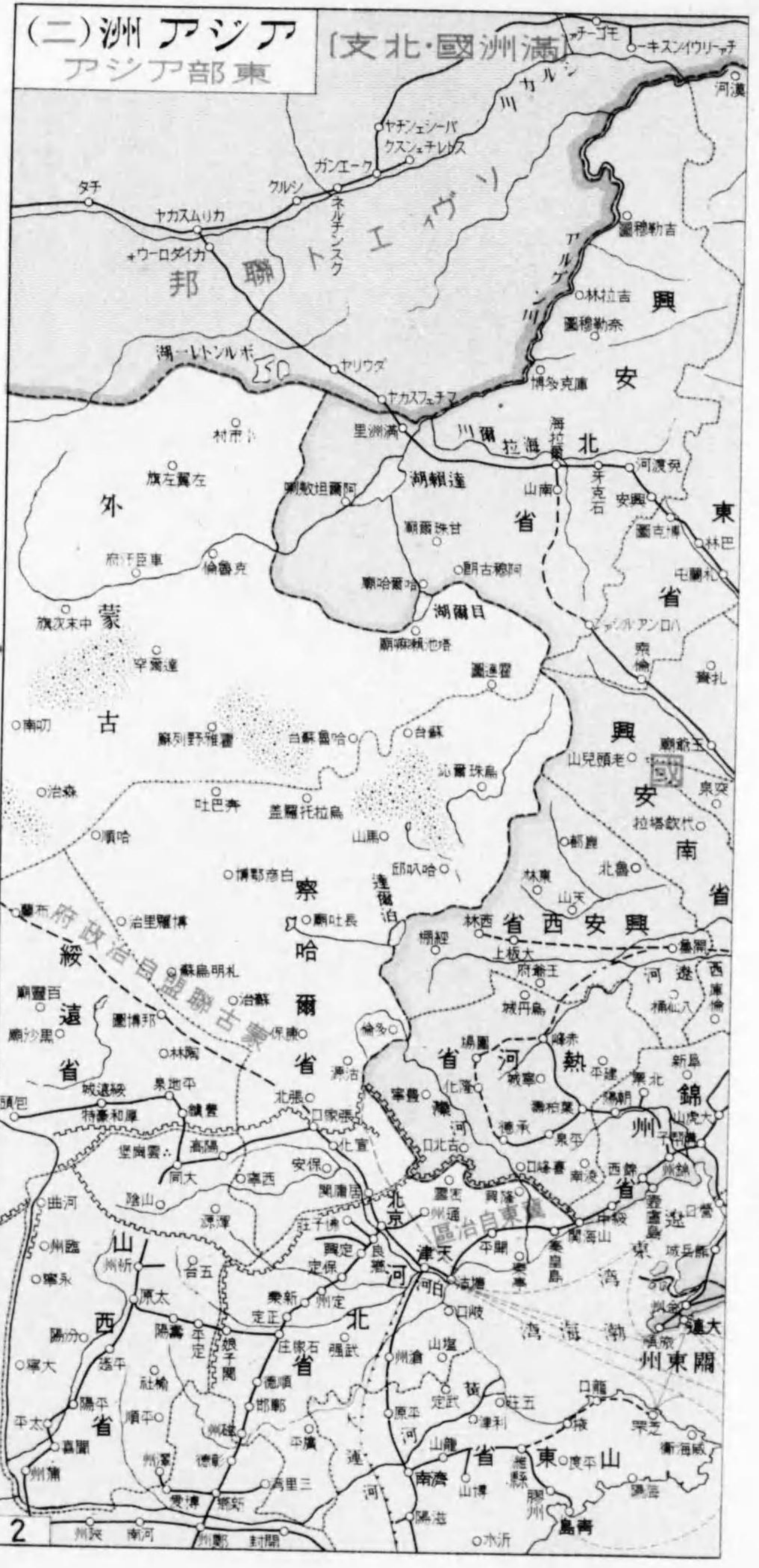




# 世界地圖索引

頁	區分	細別
1	アジア洲(一)	東部アジア(滿洲國)
2	アジア洲(二)	東部アジア(滿洲國・北支)
3	アジア洲(三)	東部アジア(中支・南支)
4	アジア洲(四)	東部アジア(支那奧地)
5	アジア洲(五) 大洋洲(一)	南東アジア・日本委任統治國
6	アジア洲(六) 大洋洲(二)	南西アジア
7	アジア洲(七)	北部アジア・南西アジア
8	アジア洲(八) アフリカ洲	北部アジア
9	ヨーロッパ洲(一)	
10	ヨーロッパ洲(二)	
11	北アメリカ洲・南アメリカ洲	



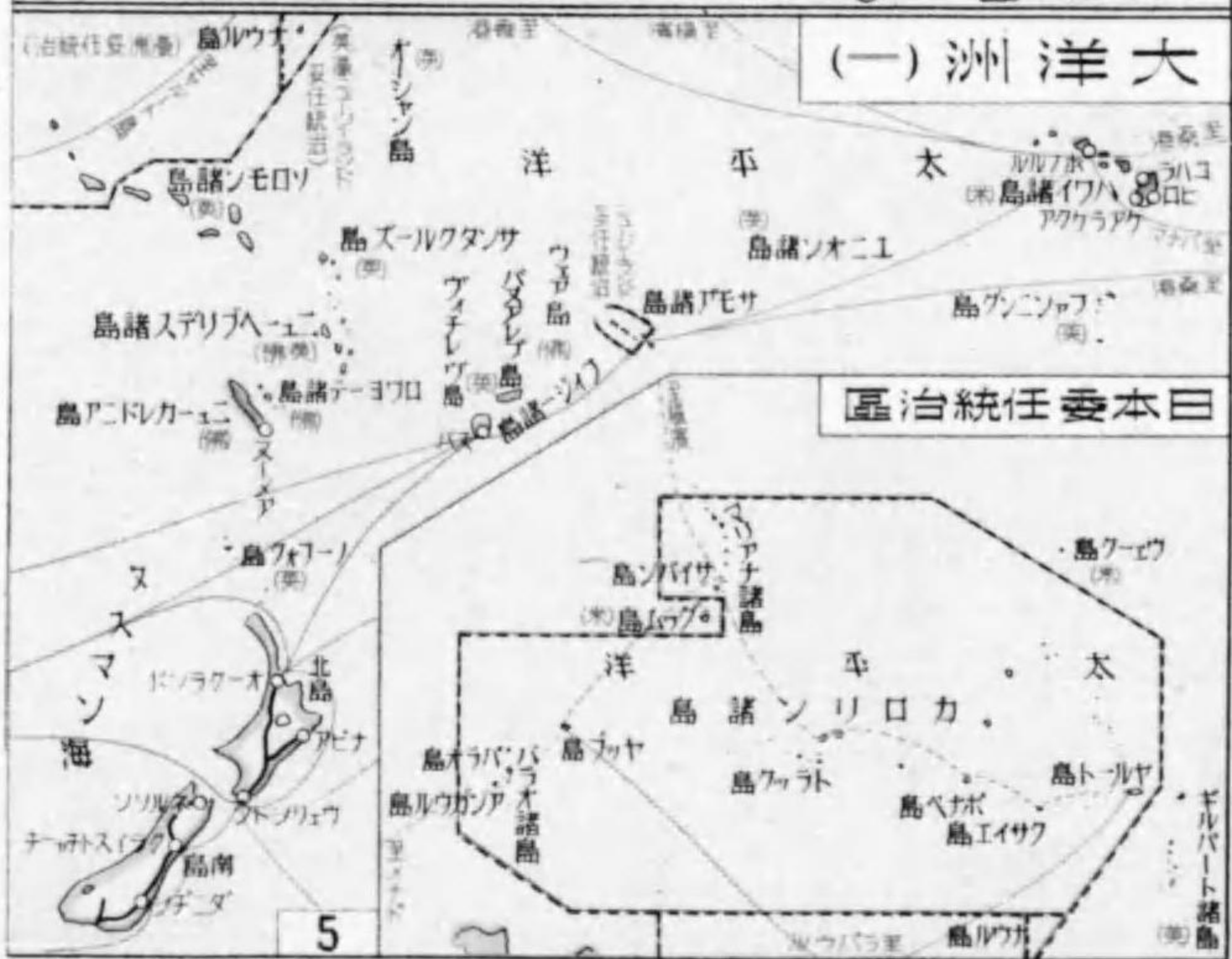
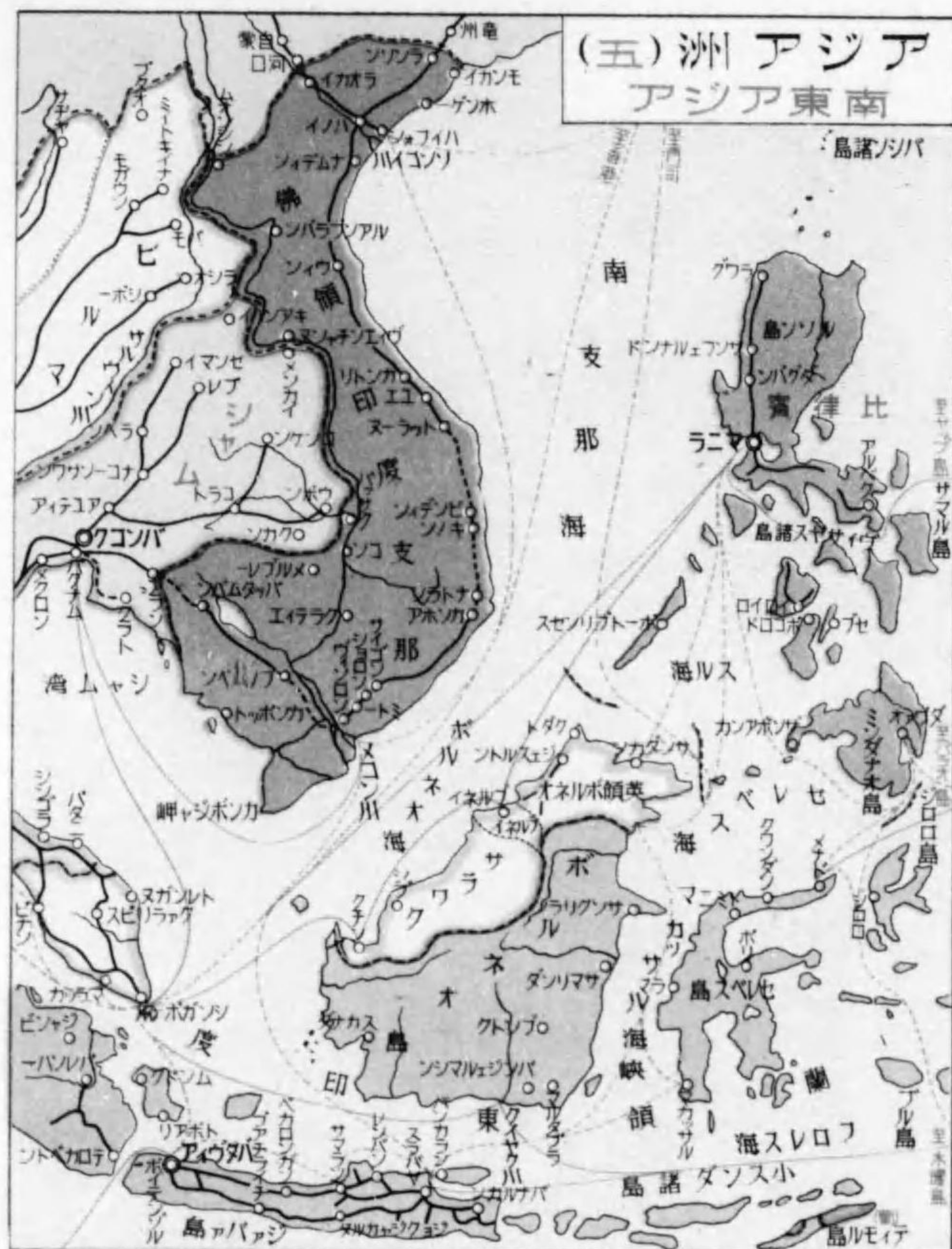
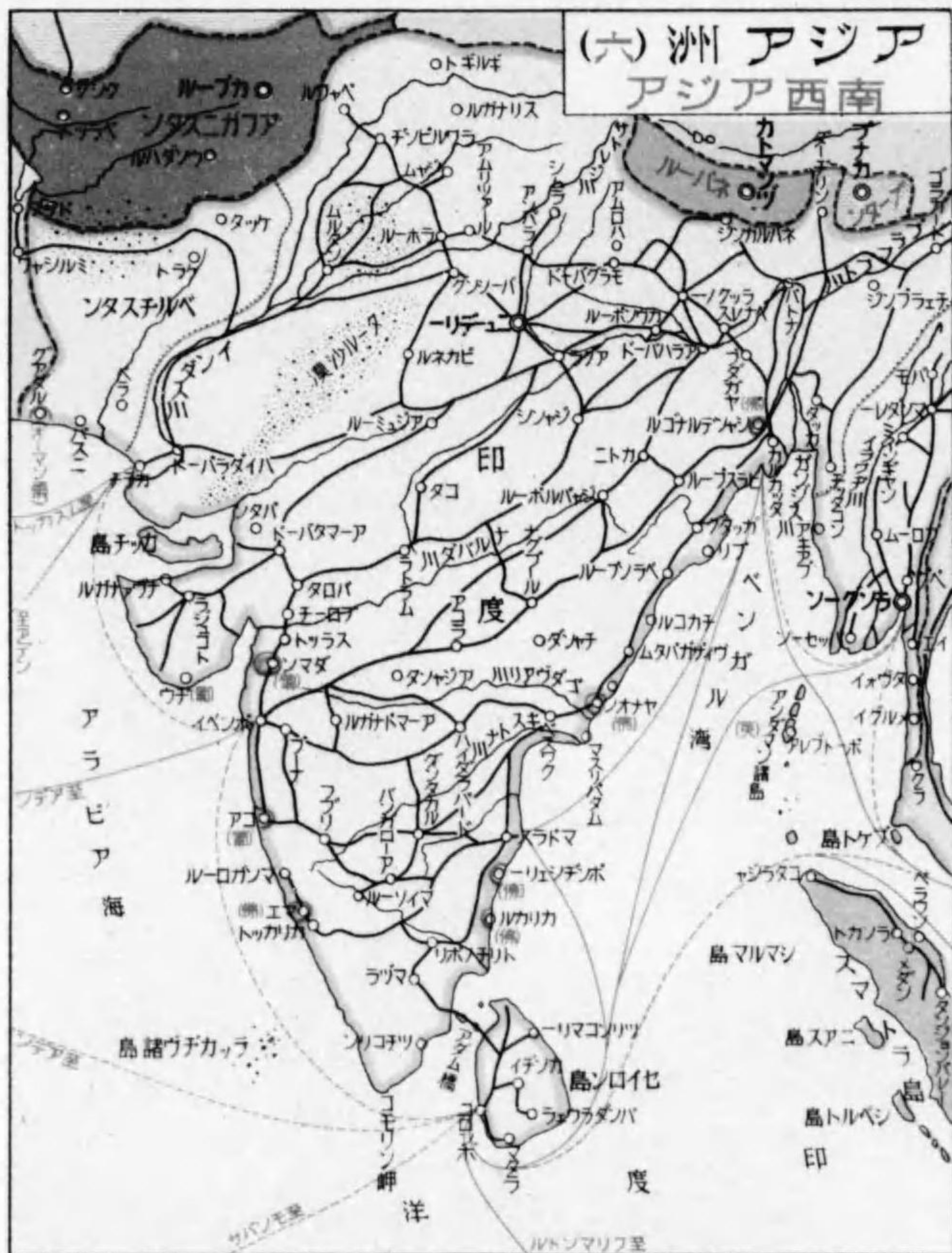






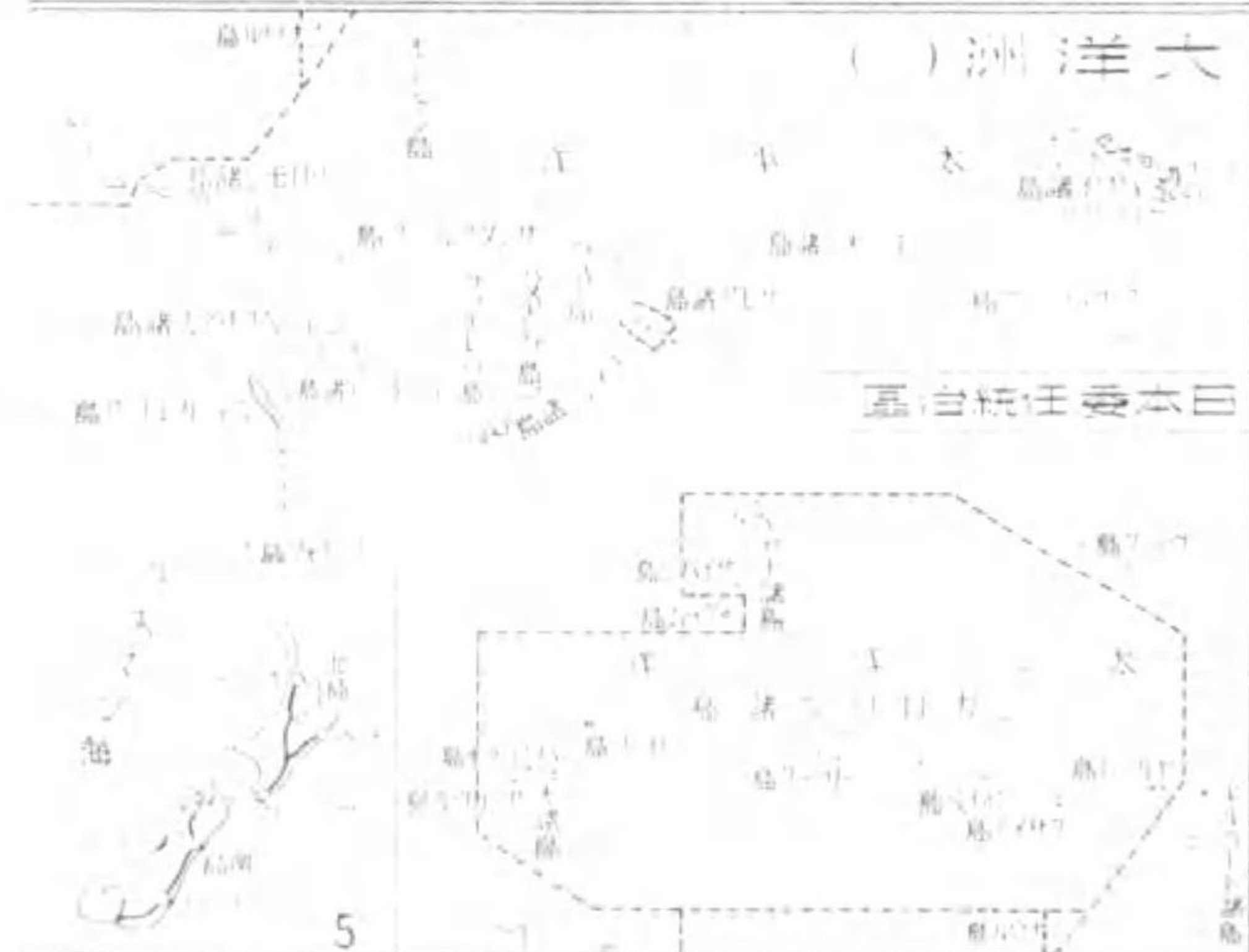
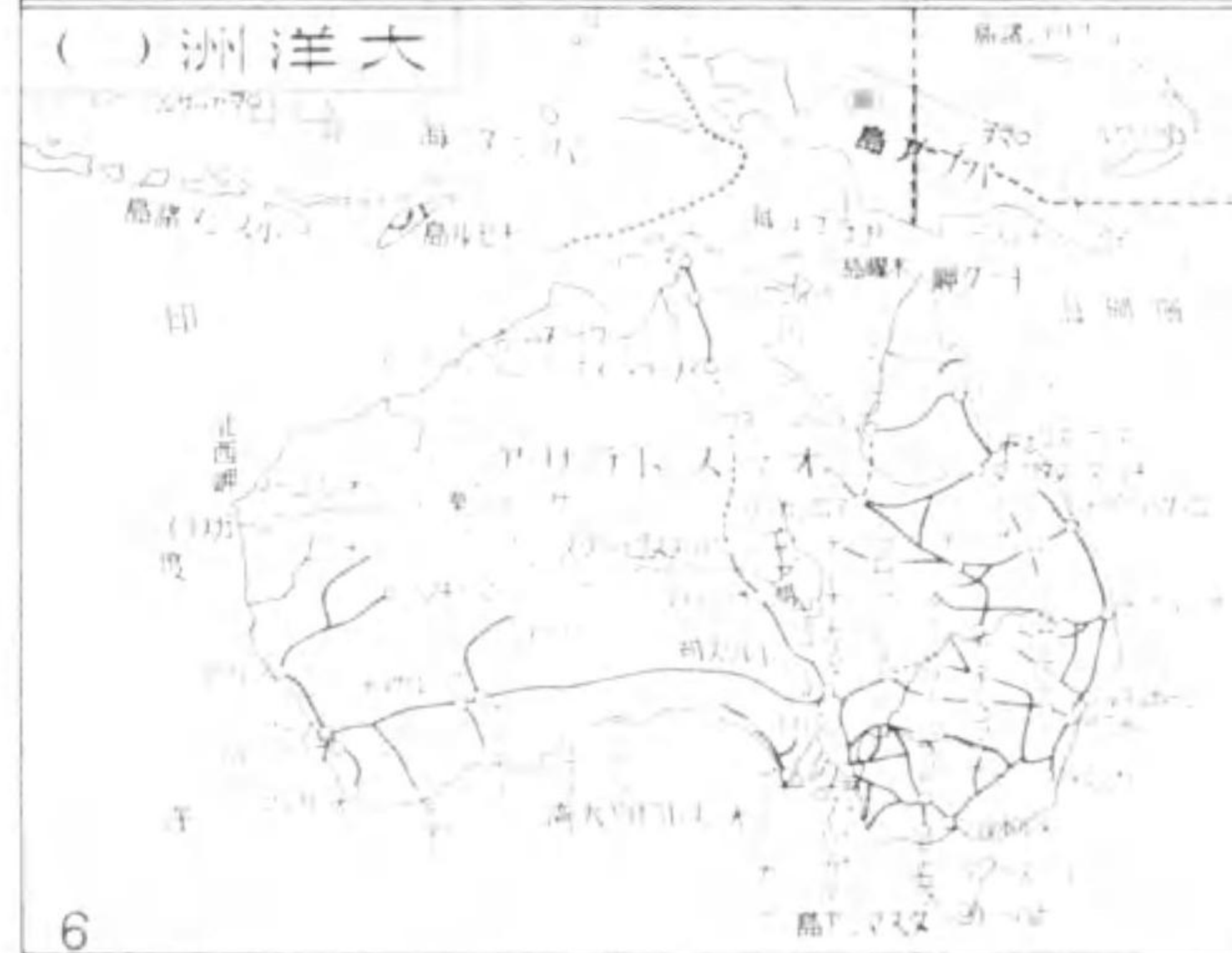
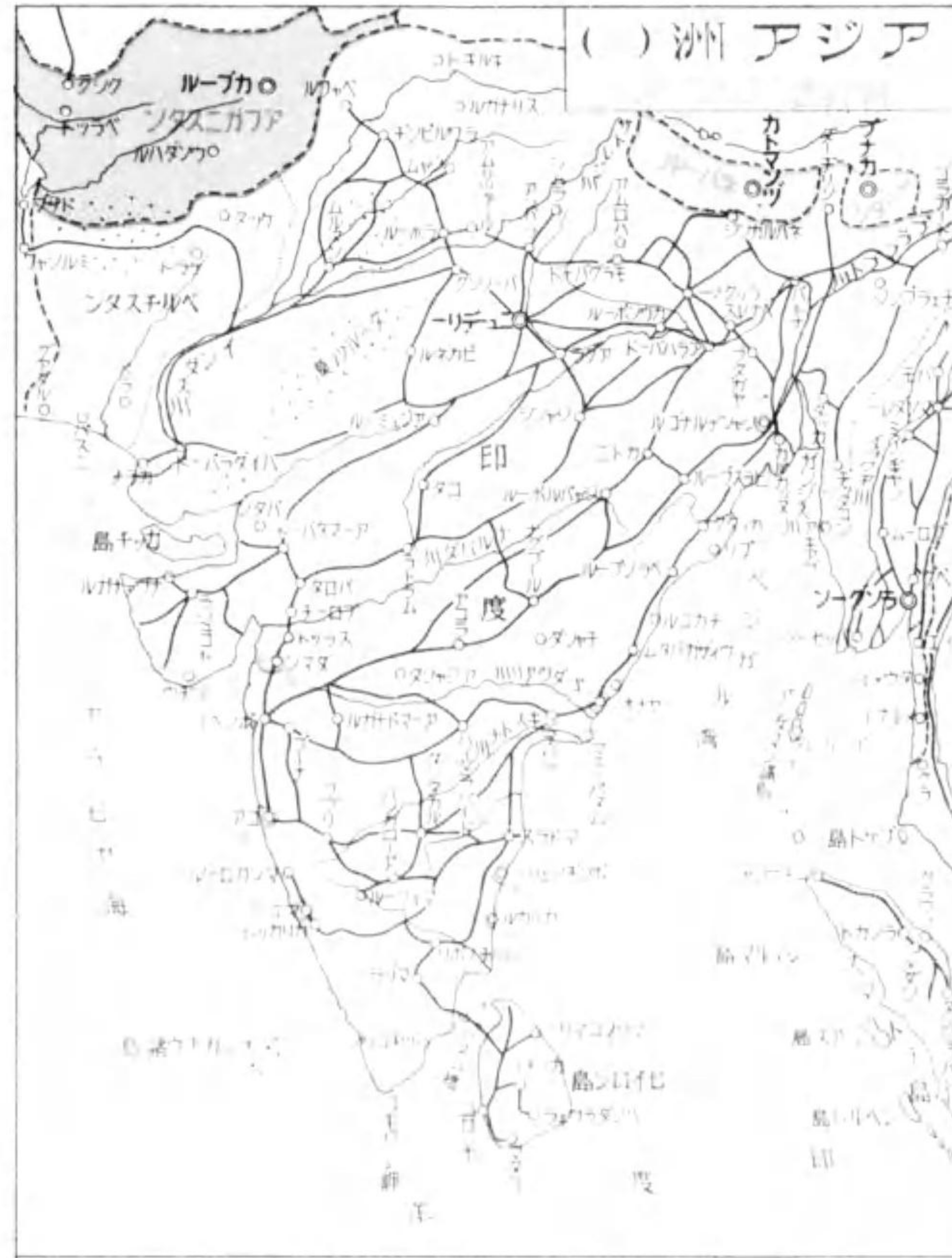


# 露光量違いの為重複撮影





# 露光量違いの為重複撮影



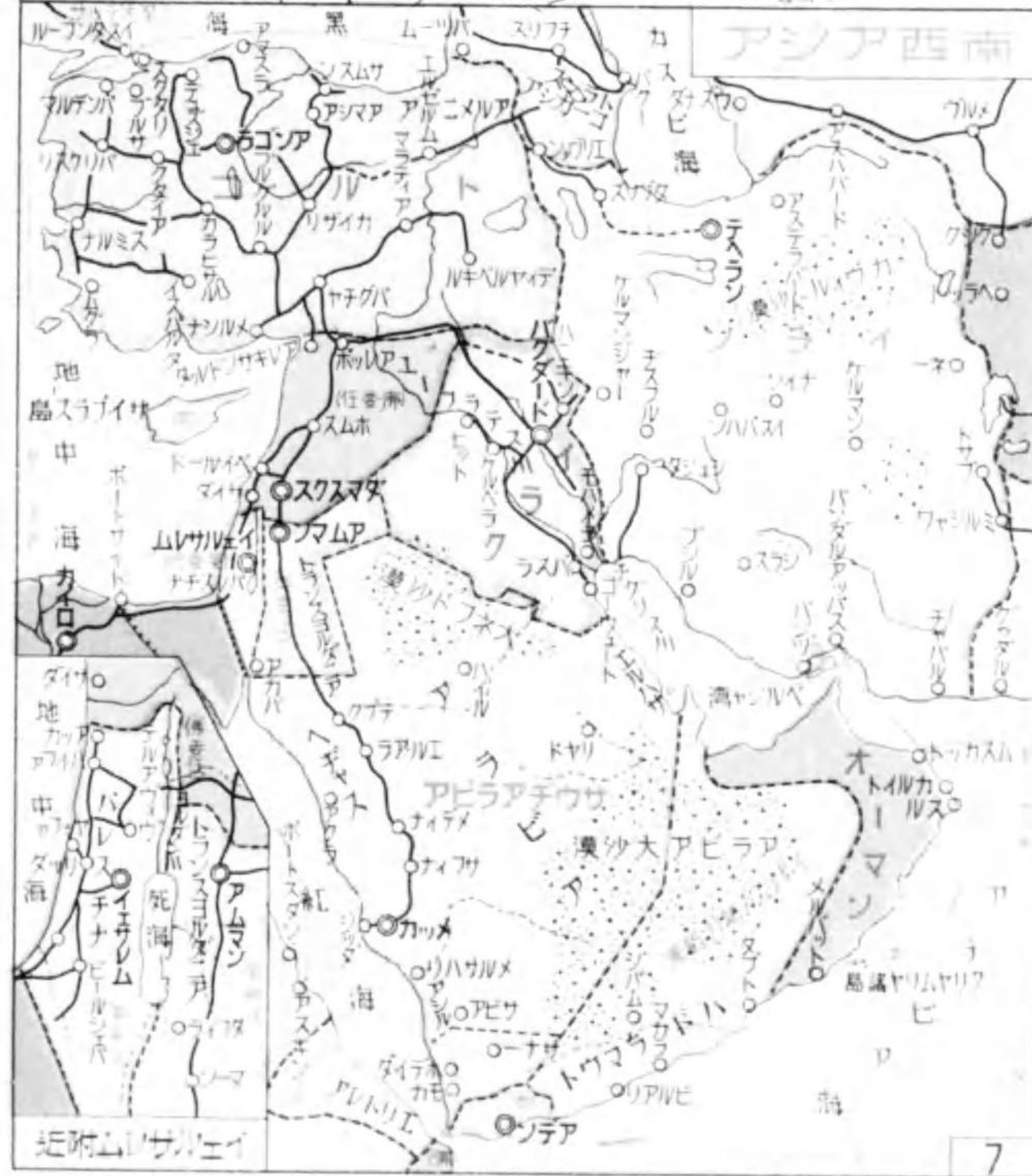
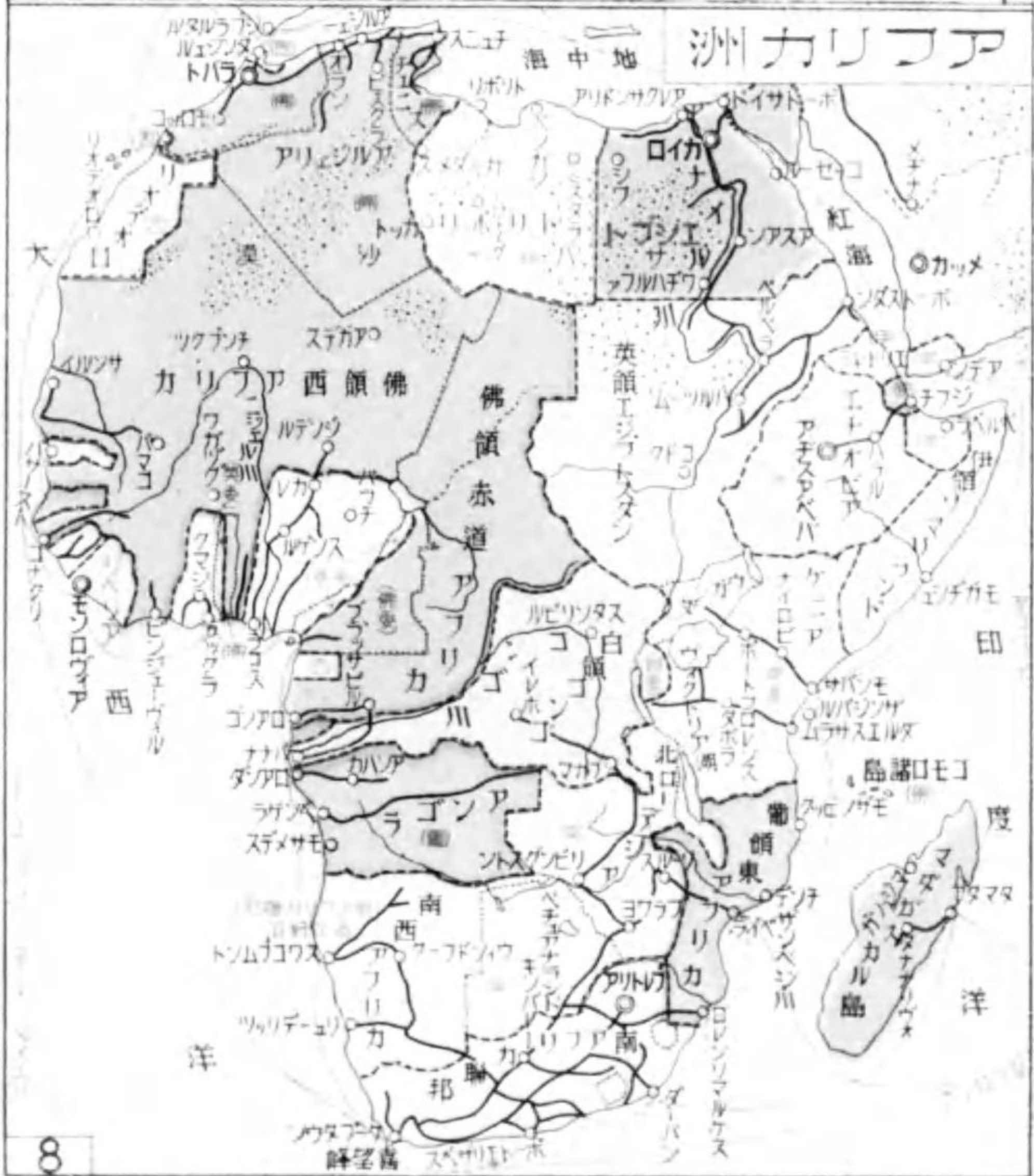
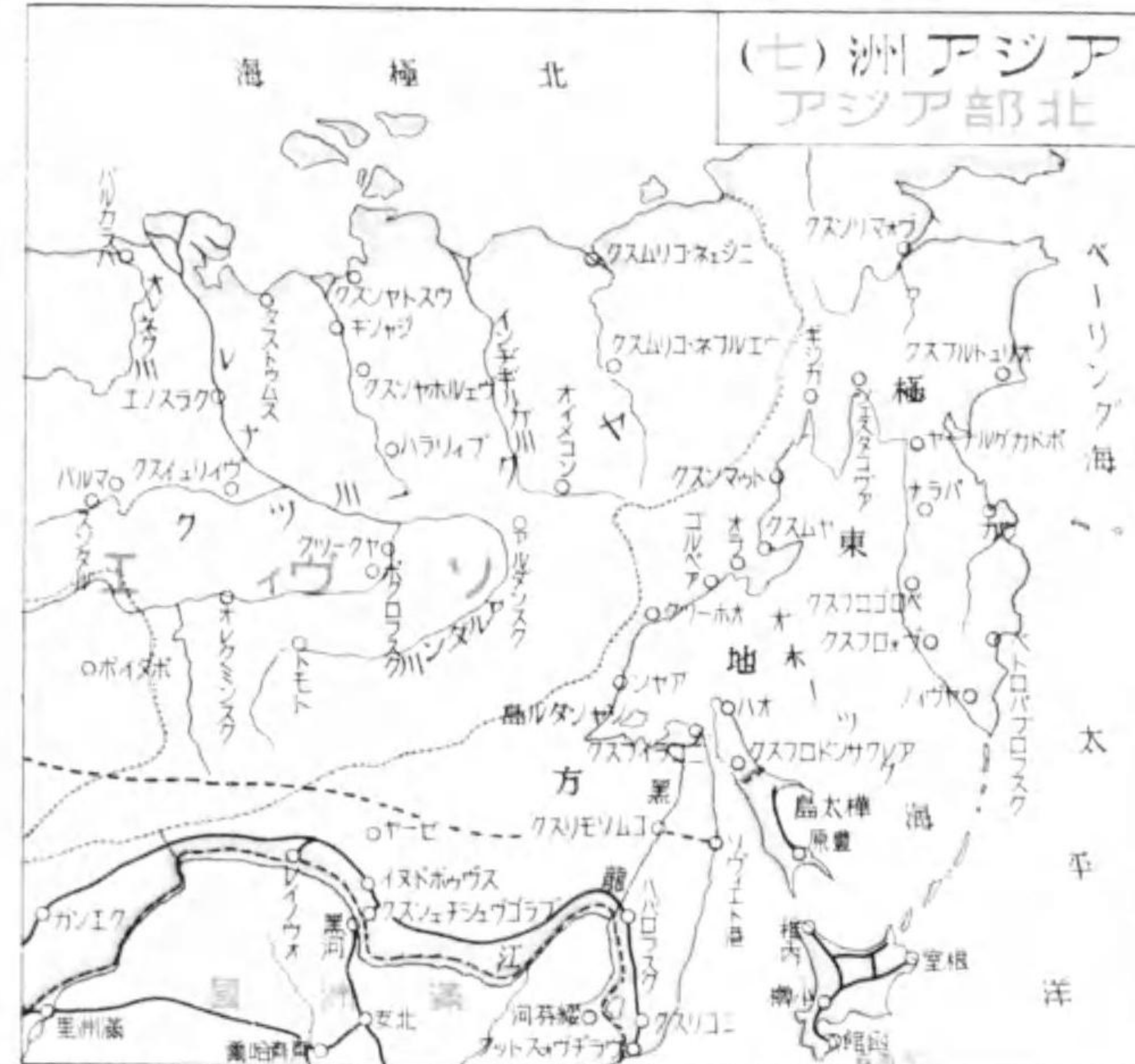
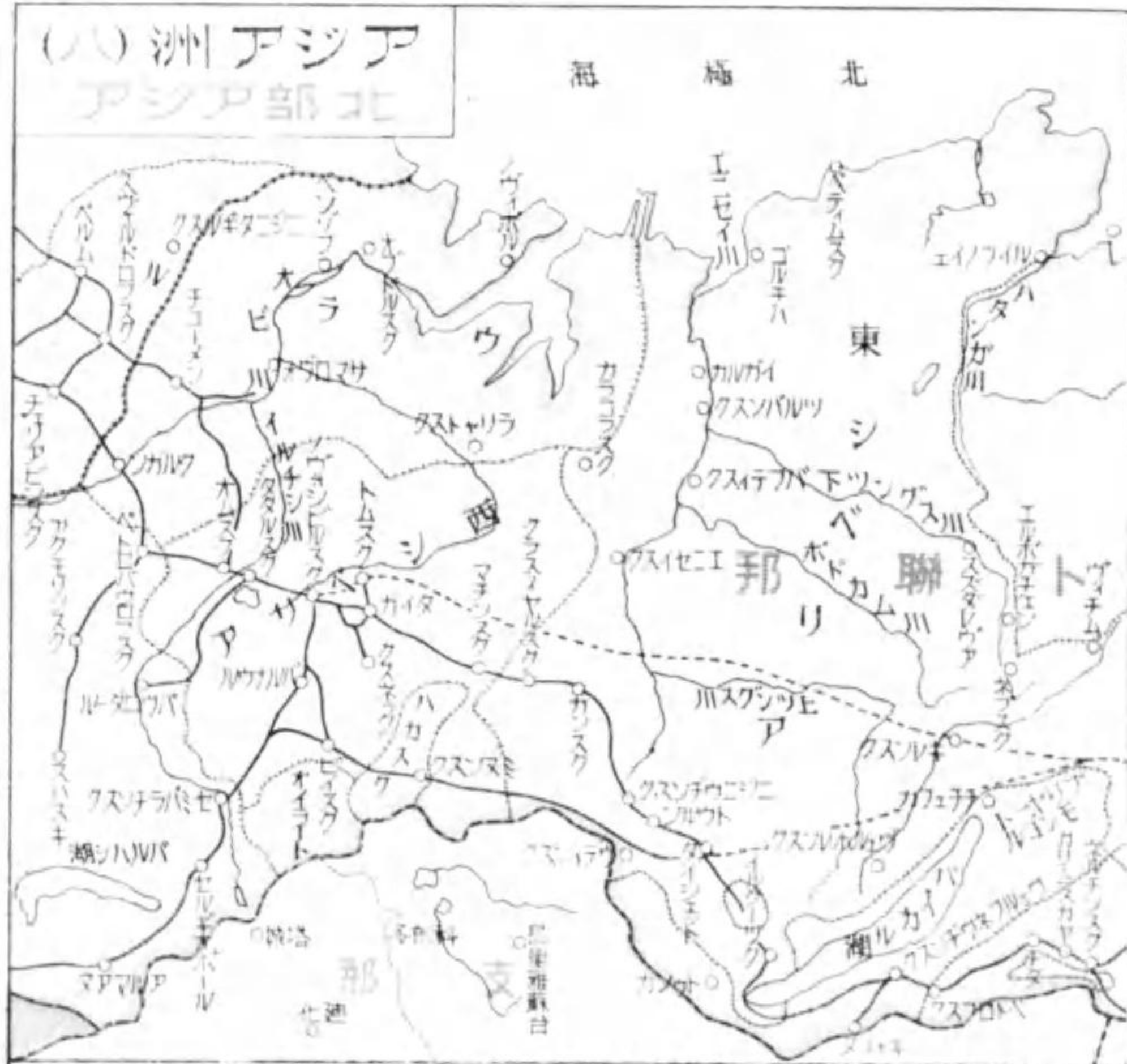


# 露光量違いの為重複撮影



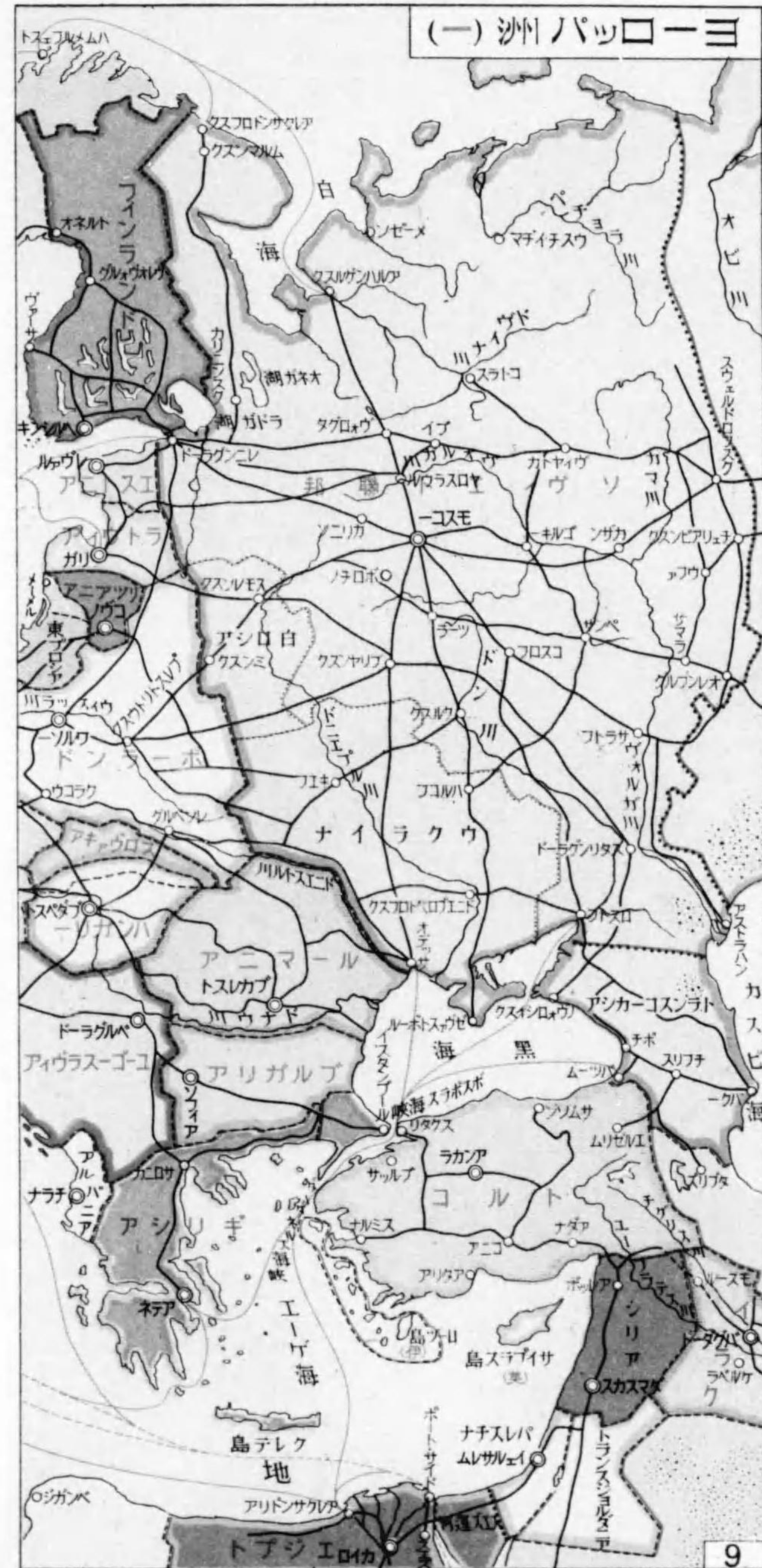
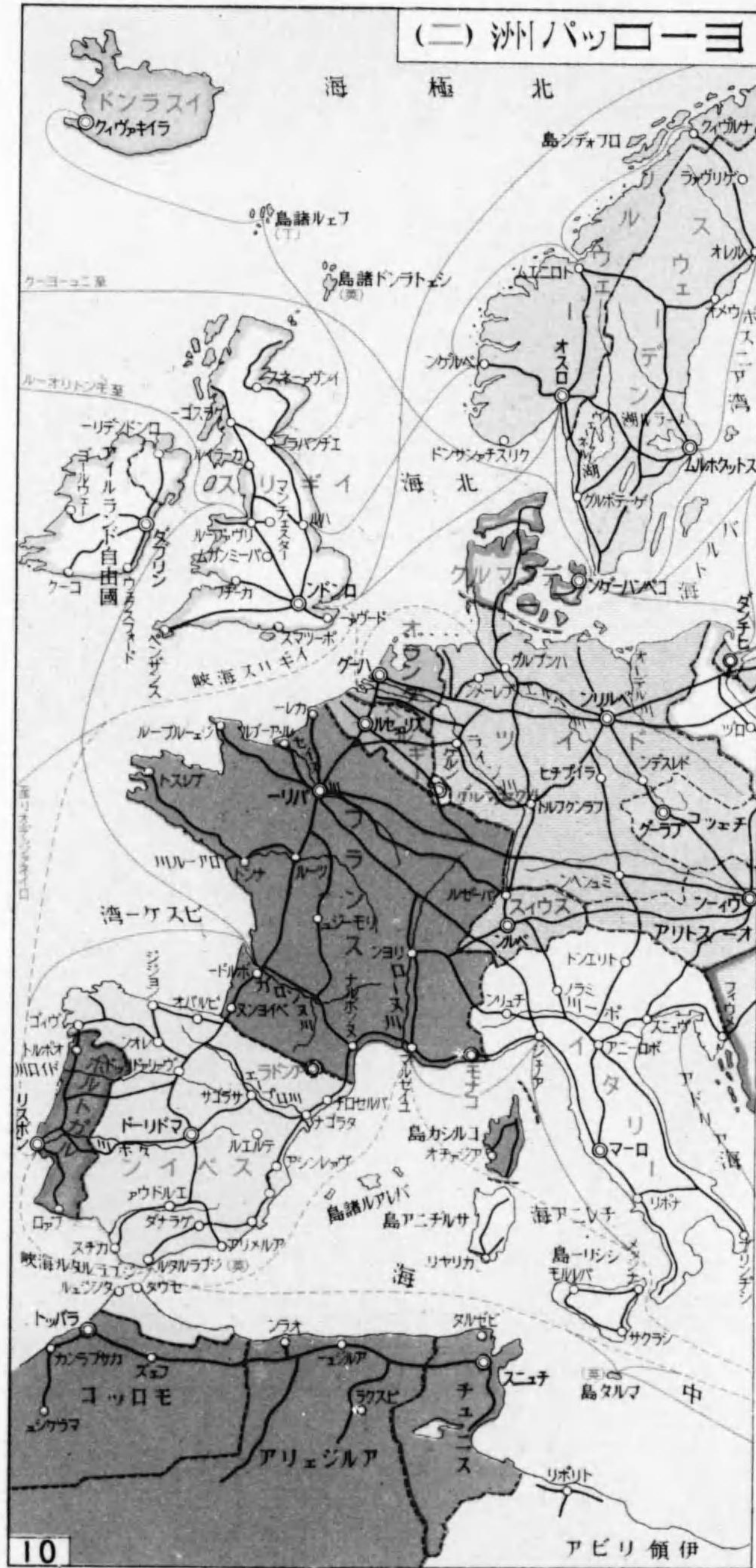


# 露光量違いの為重複撮影



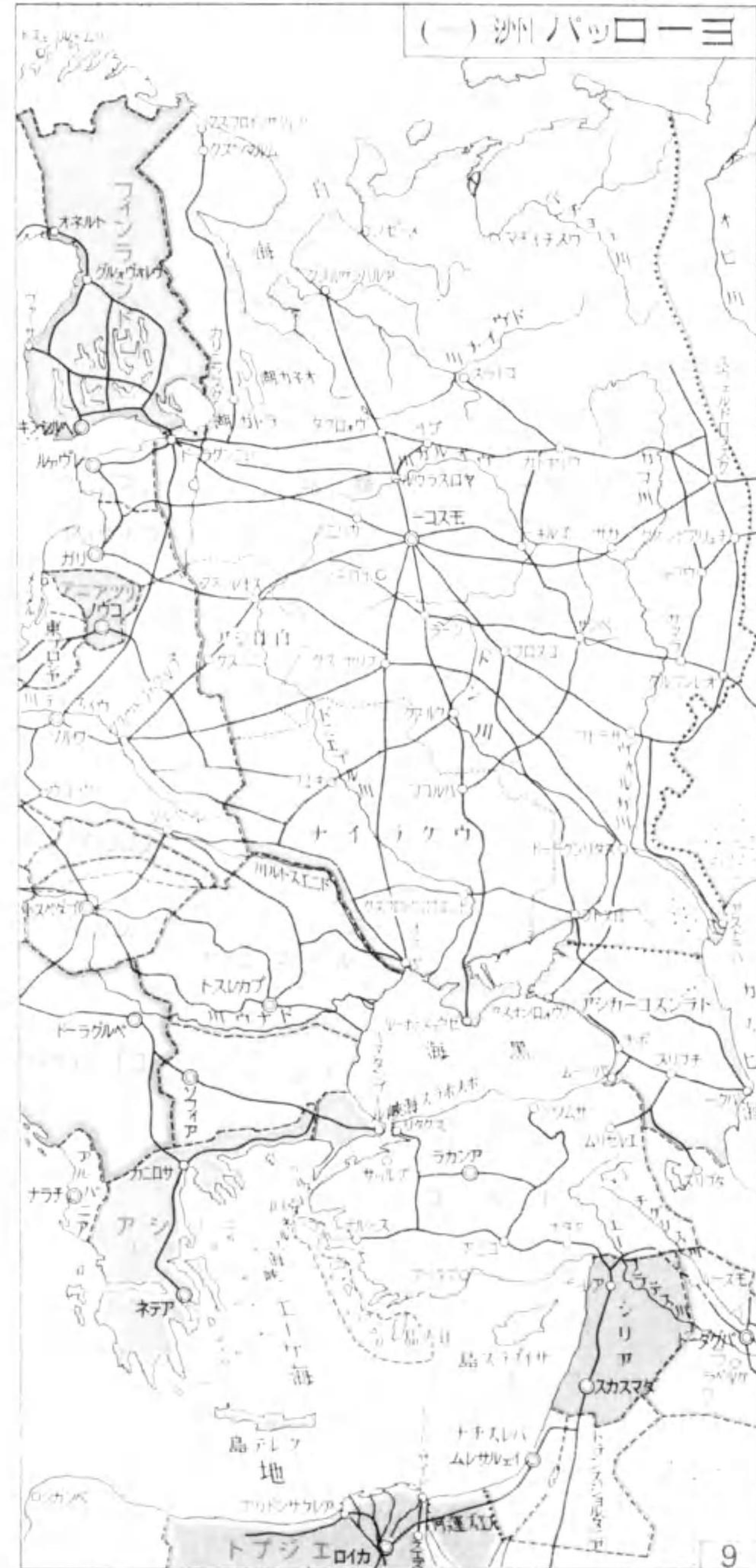
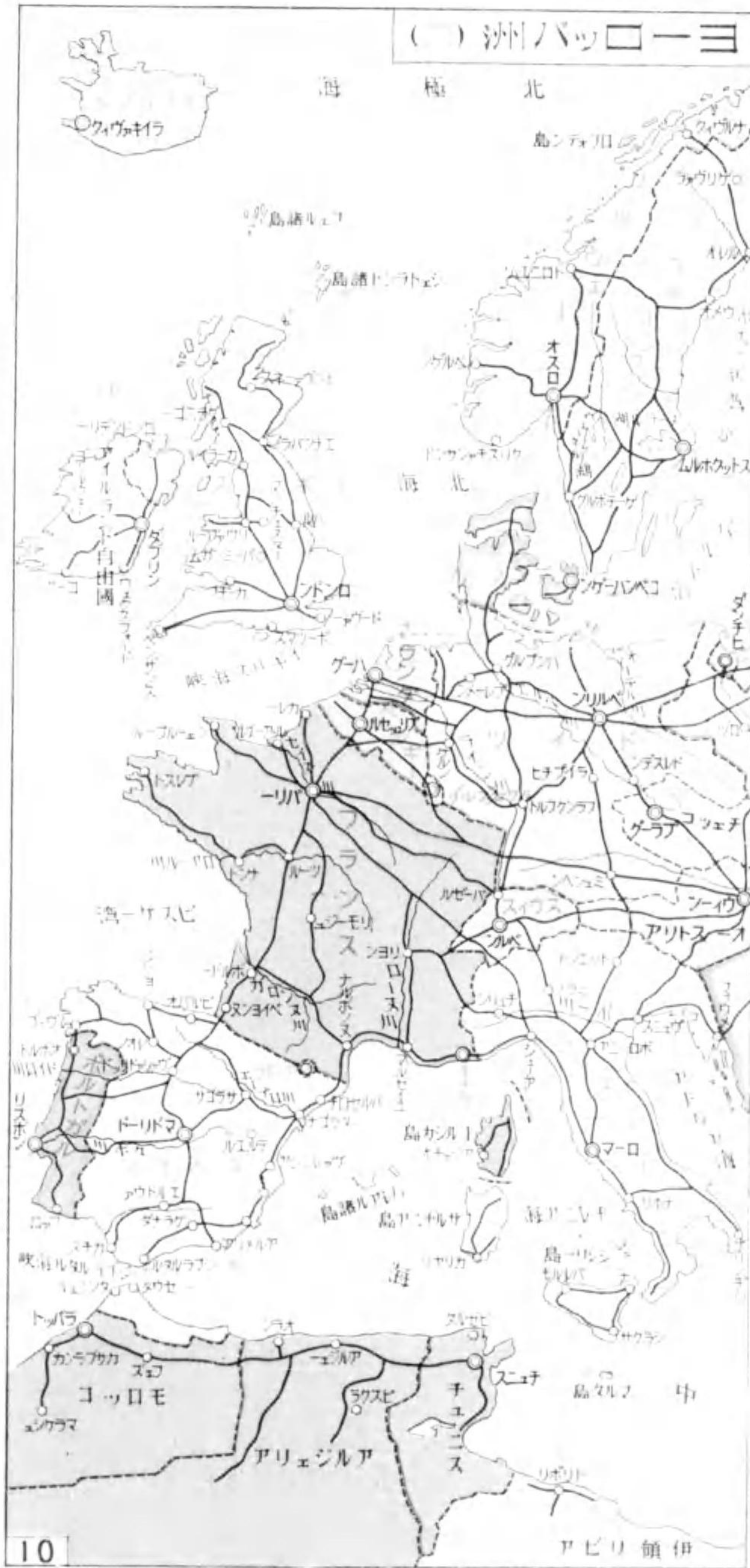


# 露光量違いの為重複撮影





# 露光量違いの為重複撮影



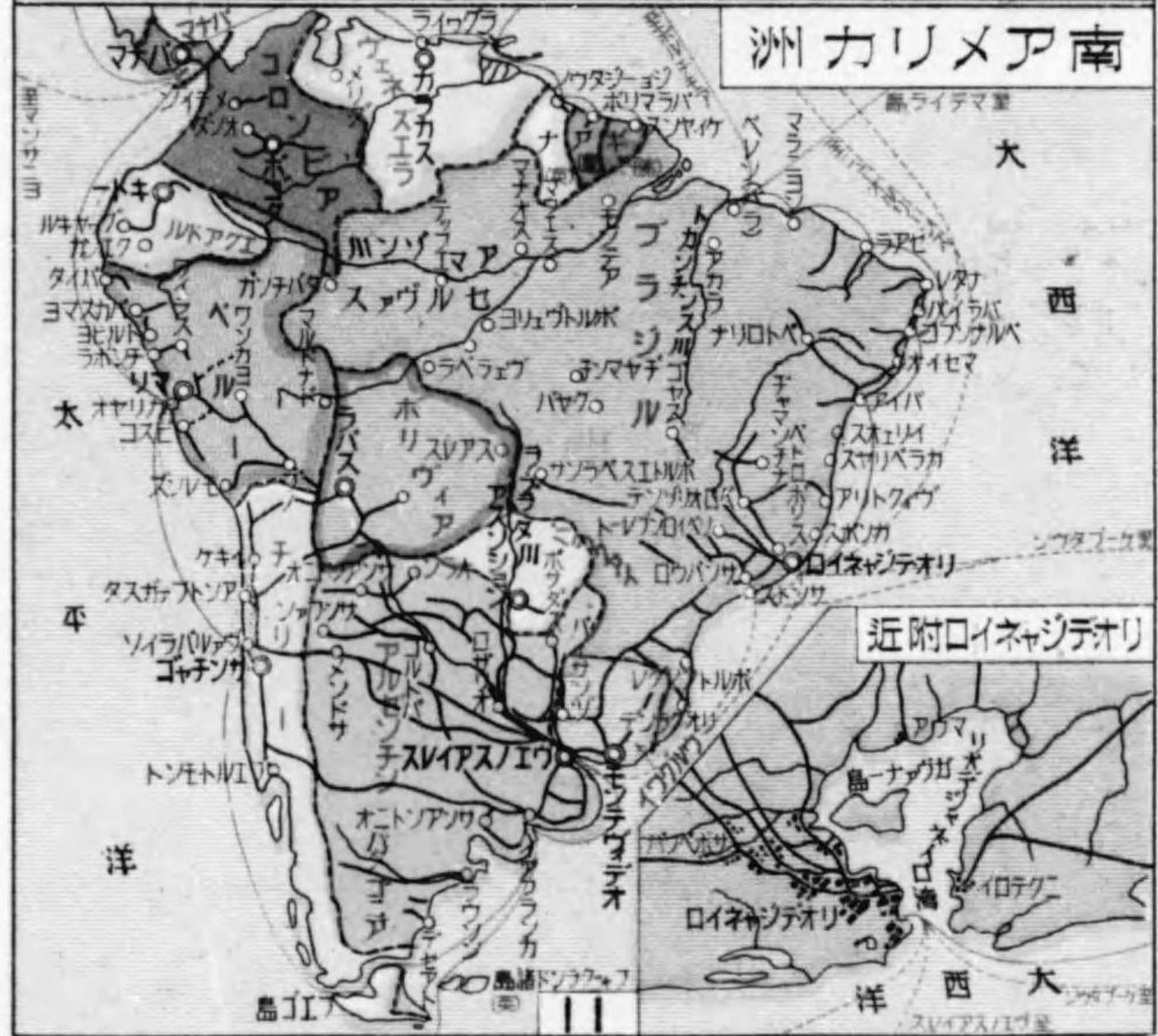


序

社会は極めて複雑多岐であつて、専門の知識はおるか、一通りの常識を持つといふことだけども、並々ならぬ難事である。

日々の新聞紙、日常平生の会話の中で、我々がよく判つたつもりで見聞きしてゐる言葉でもその内容をよくと検討してみると、少しも判つてゐない場合が幾らもある。例へば聖戦三ヶ年の経験を持ちながら、支那の主要都市の位置さへ満足に知らない人があるかと思へば、滔々數千言、世界の大勢を論じながらヴェルサイユ條約の何たるかさへ辨へぬ人もある。

殊に社会は刻々に進歩し變遷して行く。近年は特にその移り變りが多い。一日新聞を見ざれば一日社会におくれるといつた激しい時代である。だから我々は、殊に非常時に直面する我々



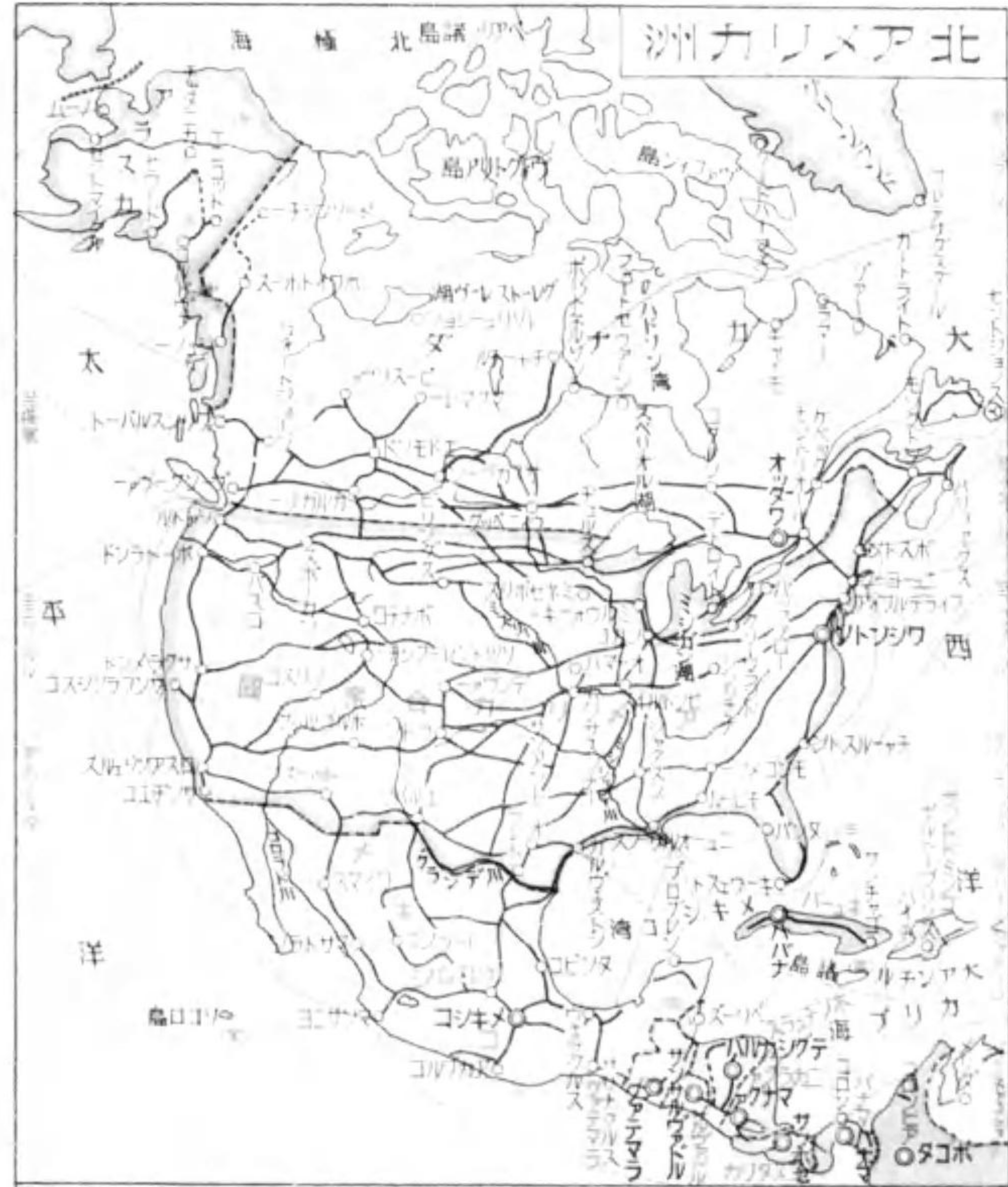


序

社會は極めて複雑多岐であつて、専門の知識はおろか、一ト通りの常識を持つといふことだけでも、並々ならぬ難事である。

日々の新聞紙、日常平生の會話の中で、我々がよく判つたつもりで見聞きしてゐる言葉でもその内容をとくと検討してみると、少しも判つてゐない場合が幾らもある。例へば聖戰三ヶ年の經驗を持ちながら、支那の主要都市の位置さへ満足に知らない人があるかと思へば、滔々數千言、世界の大勢を論じながらヴェルサイユ條約の何たるかさへ辨へぬ人もある。

殊に社會は刻々に進歩し變遷して行く。近年は特にその移り變りが多い。一日新聞を見ざれば一日社會におくれるといつた激しい時代である。だから我々は、殊に非常時に直面する我々





日本國民は、これらの言葉や出来事を十分理解し、群盲の象を評する怨みなきやう、正しい判断を持ち、處すべき手段を誤らぬやうにしなければならぬ。

弊社は先に、同様な意味に於て「最新百科大辭典」を出したが、これは主として社會百般に對する基礎知識を與へたものであつて、現實に起りつゝある生きた問題には餘り觸れなかつた。ところがその後支那事變が起り、世界の狀勢が切迫し來り、我々の身邊に起る諸般の問題が甚だ現實化して來た。よつて此の現實に即し、主として日々の新聞紙に取上げられてゐる言葉や問題の個々について生きた解説を加へたのが本書である。従つて前書が根であり幹であるならば、本書は花であり實である。兩者相俟つて社會現象の全體を正しく理解することが出來よう。座右の常識辭典として敢て諸彦にお薦めする所以である。

昭和十四年六月

編者識

### 凡例

一、本書は、上欄と本欄に分けたが、どちらを主とするわけではない。同様の事柄で、どちらかへ一つに收めるべきものでも、長い説明を要するもの、問題の複雑なもの、他の言葉と關聯させて同時に説明した方が理解に便利なるものは本欄に收め、比較的短い説明でわかるものや數字的なものを上欄においた。従つて兩者相俟つて完全なものたり得る。

一、本書は、日常話題に上り易い言葉の内容や意味を解説した。従つて言葉の個々に一貫した聯絡はないが、關係の深いものは、なるべく同じ所へ、順序よく配列して、理解を便にし、あはせて説明の重複を避けた。

一、社會の情勢は時々刻々に變つて行く。今日の現實も明日の現實たり得ない。殊に外交問題



に於て然りである。本書は、なるべく最近の事實に即しながらも、そのよつて來た原因の根本を解くことに力を注いだ。根本原因を知ればその後の變化も読み取り得るだらうからである。

一、我々に必要な常識を、どこまで容れるかはきりのない事である。本書は政治經濟に力を入れた。それは現下の國民に最も緊要なことだと考へたからである。

一、滿洲、支那等の地名や人名は、大體に於て日本讀みにし、上海、南京等の如く日常使はれてゐる特殊なものだけを支那讀みにした。

一、年號は大體に於て日本の年號を附し、滿洲や支那の年號及び西曆等を避けた。それは我々日本人に理解しやすいやうにと思つたからである。但し明治以前の年號は却つて理解を苦しめるから、さういふものには下へ皇紀または西曆を附けておいた。

現代常識新辭典 目次

對支時局解説 (本欄)

支那の政治事情	一	支那の抗日運動	一八	支那の海軍力	三五
支那最近の政狀	一	抗日教育の實例	二〇	支那空軍の兵力	三六
國民政府の組織	八	蘆溝橋事件の發端	二四	支那空軍の飛行機	三七
國民黨の組織	九	對支三原則とは何か	二六	列強の對支權益	四一
五中全會とは何か	一一	梅津・何應欽協定	二七	我國の對支權益	四一
三民主義とは何か	一一	支那軍の兵力	二六	我が在支紡績業	四四
事變勃發の原因	一三	支那軍の組織と兵力	二六	英國の對支權益	四六
何が事變を起したか	一三	軍長・旅長の資格	三〇	米國の對支權益	四八
支那の抗日團體	一七	第二十九軍の正體	三三	獨逸の對支權益	五〇
		支那共産軍の實力	三三	フランスの對支權益	五三
				各國の援蔣ルート	五三
				ソ聯の赤色ルート	五三



英米佛の援蔣ルート……………五五  
 佛領印度支那……………五八  
 ビルマはどんな所か……………五九  
 歐米の在支海軍力……………六二  
 シンガポール軍港……………六三  
 グアム島防備問題……………六五  
 米海軍の太平洋作戦……………六六

新支那建設の動き……………六六

中華民國臨時政府……………六六  
 新民會とは何か……………七〇  
 法幣とは何か……………七二  
 國幣とは何か……………七三  
 中華民國維新政府……………七四  
 中國政府聯合委員會……………七五  
 北支開發株式會社……………七六  
 豊富な支那の石炭……………八二

支那邊境諸省の事情……………九三

北支の鐵礦埋藏量……………八二  
 山東省の鹽田……………八三  
 北支開發四ヶ年計畫……………八四  
 北支の棉花產額……………八五  
 中支那振興株式會社……………八六  
 豊富な中支の物產……………八八  
 吳佩孚の和平運動……………九〇  
 外蒙はどんな所か……………九三  
 蒙古聯盟自治政府……………九五  
 蒙疆聯盟委員會……………九六  
 西康省はどんな所か……………九八  
 神祕の國西藏……………一〇〇  
 青海省はどんな所か……………一〇一  
 赤化した新疆省……………一〇三

支那事件の經過……………一〇四

支那事變一年の戰果……………一〇四

支那の一般常識……………一二五

浙江財閥とは何か……………一二五  
 華僑とは何か……………一二六  
 上海工部局の正體……………一二七  
 租界と租借地の相違……………一二八  
 海關とは何か……………一二九  
 藍衣社とは何か……………一三一  
 CC團の内容……………一三三  
 紅槍會匪の話……………一三三  
 紅卍字會とは何か……………一三三  
 青幫・紅幫とは何か……………一三四  
 支那地名の鎮と屯……………一三五

我が興亞政策……………一二六

東亞協同體とは何か……………一二六  
 近衛聲明と聖戰の意義……………一二八  
 滿洲事變の意義……………一三三  
 支變解決の根本策……………一三七

國際外交事情

歐洲外交界の展望……………一五二

歐洲各國の關係……………一五二  
 バルカン問題……………一五五  
 佛國と協商國の關係……………一五九  
 老獯な英國外交策……………一六三  
 英外交は何故軟弱か……………一六五  
 小協商國の去就……………一六九

東亞協同體の根本條件……………一四〇

王道政治とは何か……………一四一  
 國防の共同化……………一四三  
 日滿支經濟の一體化……………一四七  
 物資は自給自足し得るか……………一四九

國際關係の各種條約……………二〇九

ウクライナ問題……………一九五  
 チュニス問題……………一九九  
 コルシカ島の問題……………二〇二  
 デブチはどうなる？……………二〇三  
 スペインの内亂經過……………二〇四  
 パレスチナの問題……………二〇七  
 ヴェルサイユ條約……………二〇九  
 九ヶ國條約……………二一一  
 不戰條約……………二二三  
 門戶開放・機會均等……………二二四  
 國際聯盟の組織……………二二五  
 エスカレーター條約……………二二七  
 米國の中立法……………二二八  
 アグレマンとは何か……………二三〇  
 大使と公使の相違……………三二一

新ロカルノ條約……………一七三

埃國の獨逸併合理由……………一七三  
 チェッコの惱み……………一七五  
 ズデーテン問題……………一八〇  
 チェッコとハンガリー……………一八三  
 獨逸のチェッコ併合……………一八五  
 メーメル地方の問題……………一九〇  
 波蘭と獨逸の仲……………一九一



ユダヤ人問題 ..... 三三三  
 ユダヤ禍の正體 ..... 三三四  
 黃禍論の源泉 ..... 三三七  
 防共協定の内容 ..... 三三八

**歐洲各國事情** ..... 三三〇

ナチス黨の歴史 ..... 三三〇  
 ナチス黨の政綱 ..... 三三三  
 ワイマル憲法 ..... 三三四  
 突撃隊と親衛隊 ..... 三三五  
 ヒットラーニューゲント ..... 三三七  
 獨逸の經濟四年計畫 ..... 三三八  
 フアシスト黨の歴史 ..... 三四一  
 伊太利のバリラ運動 ..... 三四三  
 ソ聯の肅清工作 ..... 三四五  
 ゲ・ペ・ウの正體 ..... 三四七  
 三等大將とは何か ..... 三四八

ソ聯第三次五ヶ年計畫 ..... 三四九

**日ソ外交問題** ..... 三五三

日ソ漁業條約 ..... 三五三  
 安定漁區とは何か ..... 三五六  
 ルーブル換算率 ..... 三五七  
 北樺太の權益問題 ..... 三五八  
 ソ聯の不法壓迫 ..... 三六一  
 乾谷子島事件 ..... 三六四  
 張鼓峯事件 ..... 三六六  
 ソ滿國境問題 ..... 三六九  
 ソ滿國境の赤軍兵力 ..... 三七三

**國際報道網の色分け** ..... 三七四

世界の代表的通信社 ..... 三七四  
 世界の代表的新聞 ..... 三七八

**滿洲國事情** ..... 二八五

滿洲國の國家組織 ..... 二八五  
 滿洲國軍の兵力 ..... 二八七  
 滿洲國の人口と面積 ..... 二八九  
 日滿議定書とは何か ..... 二九一  
 協和會とは何か ..... 二九二  
 滿洲國の財政 ..... 二九四  
 滿洲國の國際收支 ..... 二九五  
 滿洲國の資源と産業 ..... 二九六  
 滿洲國産業五年計畫 ..... 三〇〇  
 滿洲重工業開發會社 ..... 三〇三  
 滿獨新貿易協定 ..... 三〇三  
 滿洲移民への補助 ..... 三〇四

**政治上の諸知識** ..... 三〇七

大本營とは何か ..... 三〇七  
 企畫院の仕事 ..... 三〇八  
 興亞院の組織 ..... 三一一  
 戒嚴令下はどうなる ..... 三一二  
 議會政治の適否 ..... 三二三  
 獨裁政治の内容 ..... 三二六  
 議會の議會とは何か ..... 三二八  
 帝國議會の組織 ..... 三二九  
 議會の交渉團體 ..... 三三〇  
 議會の堂々廻り ..... 三三一  
 國民投票の種類 ..... 三三一  
 高等官と勅任官 ..... 三三四

**政治法律の常識**

國務大臣と各省大臣 ..... 三三五  
 樞密院の使命 ..... 三三六  
 内大臣と宮内大臣 ..... 三三七  
 詔書・勅命の相違點 ..... 三三八  
 勅令とは何か ..... 三三九  
 緊急勅令の出る場合 ..... 三三〇  
 帷幄上奏とは何か ..... 三三一  
 錦鶏間祇候とは何か ..... 三三一

**軍人援護の諸法制** ..... 三三三

戦歿者の一時賜金額 ..... 三三三  
 戦歿者遺族扶助料 ..... 三三三  
 扶助料は誰に下るか ..... 三三五  
 傷痍軍人歸郷手當 ..... 三三六

**最近の社會的立法** ..... 三四六

傷兵保護院の仕事 ..... 三四八  
 軍事扶助法とは何か ..... 三四一  
 軍人援護資金 ..... 三四五

國家總動員法 ..... 三四六  
 總動員法第十一條 ..... 三四八  
 國民登録制 ..... 三五〇  
 どんな者は登録するか ..... 三五一  
 恩給金庫の貸付方 ..... 三五四  
 庶民金庫とは何か ..... 三五五  
 母子保護法 ..... 三五六  
 商店法の規則 ..... 三五八  
 國民健康保險法 ..... 三六〇  
 退職積立金と手當法 ..... 三六三  
 農業保險とは何か ..... 三六六  
 電力統制の影響 ..... 三六八



日常法律の知識

- 法人とはどんな人か ..... 三七一
- 法律上の無能力者 ..... 三七二
- 私有財産制度 ..... 三七四
- 懲戒裁判とは何か ..... 三七五
- 行政裁判とは何か ..... 三七六
- 警察の人事相談所 ..... 三七七
- 警察の三種類 ..... 三七八
- 瀆職罪と收賄罪 ..... 三七九
- 正當防衛の場合 ..... 三七八
- 禁錮と懲役の相違点 ..... 三八〇
- 無罪と執行猶豫 ..... 三八一
- 保釋と假出所の相違点 ..... 三八二
- 大赦と恩赦の違い ..... 三八三
- 時効になる年限 ..... 三八四

家庭上の法律知識

- 家督を譲るには ..... 三六六
- 家督相続人の順序 ..... 三六七
- 親の遺した借金 ..... 三六八
- 自由にならぬ遺産 ..... 三六八
- 遺言の書き方 ..... 三六九
- 嫡出子の権利 ..... 三九〇

財政經濟常識

- 財政上の知識 ..... 三九九
- 國家の豫算 ..... 三九九
- 我國の豫算額 ..... 四〇〇
- 豫算編成の仕方 ..... 四〇二
- 實行豫算とは何か ..... 四〇三

- 庶子と私生子の相違 ..... 三九一
- 内縁の妻の権利 ..... 三九二
- 自由結婚 ..... 三九三
- 離婚手續の仕方 ..... 三九四
- 夫婦間の權利義務 ..... 三九五
- 無籍者はどうなるか ..... 三九五
- 戸主権と親権の相違 ..... 三九七

- 責任支出する場合 ..... 四〇四
- 所得税の額 ..... 四〇四
- 酒税は幾らか ..... 四〇六
- 相続税 ..... 四〇七
- 直接國税と間接國税 ..... 四一〇
- 公債と社債 ..... 四一一

金融の基本知識

- 國債は幾らあるか ..... 四二二
- 赤字公債とは何か ..... 四二二
- 債券は公債か ..... 四二三
- 正貨準備は幾らか ..... 四二四
- 保證準備とは何か ..... 四二四
- 限外發行の限度 ..... 四二五
- 紙幣發行額は幾らか ..... 四二六
- インフレーション ..... 四二六
- デフレーション ..... 四二七
- オープン・マーケット・オペレーション ..... 四二七
- 兌換停止とは何か ..... 四二八
- 不換紙幣とは何か ..... 四二九
- 平價切下の場合 ..... 四三一
- インフレと物價 ..... 四三三

國際取引の關係

- コール・マネー ..... 四二四
- 爲替相場とは何か ..... 四二五
- 爲替ダンピング税 ..... 四二六
- 外國爲替基金勘定 ..... 四二七
- 輸入割當制 ..... 四二九
- 互惠・最惠・特惠條約 ..... 四二九
- 關稅自主權 ..... 四三〇
- クレジットと借款 ..... 四三一
- 貿易のバーター制 ..... 四三二
- リンク制とは何か ..... 四三三
- ウォール街 ..... 四三四
- ロンバート街 ..... 四三四
- 經濟思想の知識 ..... 四三五
- 好景氣は何時來るか ..... 四三五

我が國民の富

- 資本主義とは何か ..... 四三七
- 帝國主義と國粹主義 ..... 四三九
- 共產主義と社會主義 ..... 四四〇
- 國家社會主義と全體主義 ..... 四四二
- 全體主義と國粹主義 ..... 四四四
- マルクスの唯物史觀 ..... 四四四
- 唯物辯證法とは何か ..... 四四六
- 統制經濟とは何か ..... 四四七
- プロツク經濟 ..... 四四九
- 我國の財産總額 ..... 四五一
- 國民一人當りの富 ..... 四五三
- 國民一人當りの消費 ..... 四五三
- 世界各國の國富 ..... 四五四
- 各國の金保有量 ..... 四五五
- 我國の金産額 ..... 四五六



我國の郵便貯金額……………四五七  
 郵便貯金の利用……………四五八  
 農村の借金は幾らか……………四六〇

各種經濟團體……………四六二

産業組合中央金庫……………四六三  
 産青聯……………四六四  
 全購聯……………四六五  
 全産聯……………四六六  
 全販聯……………四六七  
 全農協……………四六八  
 信用組合の成績……………四六九  
 反産運動とは何か……………四七〇  
 五大電力とは何か……………四七一  
 カルテル……………四七二  
 シンジケート……………四七三  
 トラスト……………四七四

相場取引の知識……………四七三

相場は誰でも出来るか……………四七三  
 實物取引の仕方……………四七三

軍事上の知識……………四七三

兵器の一般知識……………四七七  
 軍用飛行機の性能……………四七七  
 イー十六型の性能……………四七八  
 マルチン重爆撃機……………四八五  
 ダグラス機の性能……………四八五  
 戦車の無敵ぶり……………四八六  
 装甲列車……………四八七  
 列車砲の威力……………四八八  
 高射砲の命中率……………四八九

清算取引とは何か……………四七四  
 先限・中限・常限……………四七五  
 相場の日歩とは何か……………四七五  
 代行會社の仕事……………四七六

高射機關銃の特長……………四九〇  
 迫撃砲の破壊力……………四九一  
 爆彈の降下法……………四九二  
 ダムダム彈……………四九三  
 大砲の壽命……………四九四  
 砲彈一發の値段……………四九五  
 武器は何が最も有効か……………四九六  
 煙幕の知識……………四九六  
 毒瓦斯の種類……………四九八  
 毒瓦斯の發射法……………四九九

毒瓦斯の防ぎ方……………五〇〇  
 燒夷彈の威力……………五〇一  
 燒夷彈の消し方……………五〇三  
 三八式・九一式の意味……………五〇四  
 軍用機と民間機の識別……………五〇五  
 戦艦陸奥の知識……………五〇五  
 軍艦の壽命……………五〇六  
 ポケット戦艦……………五〇七  
 航空母艦の收容力……………五〇八  
 母艦上の飛行機發着法……………五〇八  
 カタパルトの發射法……………五〇九  
 潜水艦の浮き沈み……………五一〇  
 潜水艦水中の速力……………五一二  
 軍艦と商船の噸數……………五一三  
 軍艦の排水量とは何か……………五一三  
 機雷の威力……………五一三  
 機雷原の掃海法……………五一四

軍事の一般知識……………五二五

機械化兵團とは何か……………五二五  
 戦略と戦術の相違……………五二六  
 ゲリラ戦……………五二七  
 トーチカの構造……………五二八  
 クリークとは何か……………五二九  
 マヂノ線とは何か……………五三〇  
 ジークフリード線……………五三一  
 海軍區の管區……………五三二  
 海軍々人になるには……………五三三  
 制海權の必要……………五三四  
 一箇師團一日の食糧……………五三五  
 金鷄勳章の知識……………五三五  
 軍旗は何時出來たか……………五三六  
 軍艦旗は何時出來たか……………五三八

列強の現有兵力……………五三〇

米國の陸軍現有量……………五三〇  
 英國陸軍の兵力……………五三一  
 フランス陸軍の兵力……………五三二  
 獨逸の陸軍兵力……………五三三  
 伊太利の陸軍兵力……………五三四  
 世界一の赤軍……………五三五  
 各國海軍保有量……………五三七  
 世界一を目指す米國海軍……………五三九  
 老朽の英國海軍……………五四〇  
 フランス海軍の兵力……………五四二  
 伊太利の海軍力……………五四三  
 再建急ぐ獨逸海軍……………五四三  
 潜水艦中心のソ聯海軍……………五四三  
 イギリスの空軍……………五四四  
 米國の空軍……………五四八



フランス空軍 ..... 五七七  
 獨逸の空軍力 ..... 五七九  
 イタリアの空軍 ..... 五八〇

ソ聯の空軍力 ..... 五八一  
 オソアビヤヒム ..... 五八二  
 米國の飛行機製造力 ..... 五八三

日常科學知識

天文と自然現象 ..... 五八五

地球の大きさ ..... 五八五  
 太陽は地球の何倍か ..... 五八五  
 恒星遊星衛星惑星 ..... 五八六  
 北極星が北にある譯 ..... 五八七  
 回歸線とは何か ..... 五八八  
 宇宙の廣さ ..... 五八九  
 地球を支へるもの ..... 五九〇  
 太陽が落ちぬ理由 ..... 五九二  
 太陽を構成するもの ..... 五九四

太陽の黒點の正體 ..... 五九四  
 地球の年齢 ..... 五九五  
 朝日が大きい理由 ..... 五九六  
 夕焼の出来る理由 ..... 五九七  
 朝夕の太陽の光 ..... 五九八  
 星は何故瞬くか ..... 五九八  
 日蝕月蝕の起る理由 ..... 五九九  
 月は何時も同じ顔 ..... 五九〇  
 月の満虧する理由 ..... 五九一  
 最も暑い時寒い時 ..... 五九二  
 気温と暑さの関係 ..... 五九三

生物學上の話 ..... 五八二

汗は何故出るか ..... 五七四  
 風は何故涼しいか ..... 五七五  
 暴風の豫知法 ..... 五七六  
 暴風雨標式の見方 ..... 五七七  
 天氣信號旗の見方 ..... 五七八  
 氣壓とは何か ..... 五七九  
 不連續線とは何か ..... 五八〇  
 夕風の起る理由 ..... 五八一

日常の物理學 ..... 六〇六

電氣の交流と直流 ..... 六〇六  
 電流と電壓の相違點 ..... 六〇七  
 テレビジョンの原理 ..... 六〇八

日常生理學の知識 ..... 六二四

ラヂオの波長 ..... 六〇九  
 ネオンサインの色 ..... 六一〇  
 眼に見えぬ光線 ..... 六一一  
 殺人光線はあるか ..... 六一二  
 飛行機はどうして飛ぶか ..... 六一三  
 飛行機の方角轉換法 ..... 六一五  
 茶碗が熱湯で破れる譯 ..... 六一六  
 鬼火はあるか ..... 六一七  
 幽霊は出るか ..... 六一八  
 靈魂は不滅か ..... 六一九  
 物の速度比較表 ..... 六二〇  
 大發見大發明の年代 ..... 六二二

男女の別の出来る時 ..... 六二九  
 動脈硬化と血壓 ..... 六三〇  
 脈搏と年齢の関係 ..... 六三二  
 人間の平熱は幾らか ..... 六三三  
 血液型とは何か ..... 六三三  
 血液型で親子鑑別 ..... 六三五  
 血液型で性格判断 ..... 六三七  
 老眼と遠視眼の相違 ..... 六三七  
 男の聲變りする理由 ..... 六三九  
 武者振ひの理由 ..... 六三九  
 欠伸は何故出るか ..... 六四一  
 何故喉喉が渴くか ..... 六四二  
 冬小便の近い理由 ..... 六四三  
 満腹すると眠い理由 ..... 六四三  
 足が冷えて眠れぬわけ ..... 六四四  
 食後の運動は毒か ..... 六四四  
 女は何故甘藷が好きか ..... 六四五



ヴイタミンの効力……………六四五  
 ホルモン作用……………六四六  
 夢は何故見るか……………六四八  
 寢言は何故いふか……………六五一  
 夢遊病者の不思議……………六五一

宗教と儀禮

二重人格とは何か……………六五三  
 生命は何處に宿るか……………六五三  
 優生學とは何か……………六五五  
 人口問題……………六五六

宗教上の知識……………六五九  
 人間は何故宗教を求めるか……………六五九  
 宗教とは何か……………六六二  
 宗教は何時起つたか……………六六三  
 佛教傳來の年代……………六六六  
 大乘と小乗の相違點……………六六七  
 佛教の根本的教義……………六六九  
 經文は八萬四千あるか……………六七三

如來や菩薩の意味……………六七四  
 大師・國師の意味……………六七五  
 本地垂迹説とは何か……………六七六  
 佛教各派の教義……………六七七  
 東本願寺と西本願寺……………六八四  
 寺の山號の起源……………六八六  
 珠數は何の意味か……………六八七  
 基督教と猶太教の相違點……………六八七  
 基督教傳來の年代……………六九〇

新教と舊教の相違點……………六九二  
 舊約と新約の相違點……………六九三  
 基督教の宗派……………六九五  
 洗禮は何の意味か……………六九六  
 救世軍は何時出來たか……………六九七  
 サンタクロイス……………六九八  
 回教の分布状態……………六九九  
 神道は宗教か……………七〇一  
 官幣社と國幣社の相違點……………七〇二  
 儀禮と習慣……………七〇三  
 日の丸の起源……………七〇三  
 滿洲國五色旗の由來……………七〇五  
 米國旗の星の數……………七〇六  
 赤色は何故危険か……………七〇七  
 國旗の掲げ方……………七〇八  
 弔旗と半旗の掲げ方……………七〇八

最敬禮の仕方……………七〇九  
 勅題詠進の仕方……………七一〇  
 萬歳の起源……………七一  
 外國の萬歳……………七二  
 「君ヶ代」の作者……………七二三  
 陛下・殿下・閣下……………七二四  
 三三九度の盃……………七二五  
 祖先は何年に祭るか……………七二六  
 忌日と服喪の期間……………七二七  
 法名と戒名……………七二八  
 熨斗は何の意味か……………七二九  
 贈物の器に入れる紙……………七三〇  
 長壽を祝ふ年……………七三〇  
 金婚式等の年數……………七三二  
 正月の飾物……………七三三  
 數入は何の意味か……………七三五  
 雛祭の起源……………七三六

日常社會常識

趣味と娛樂……………七三三  
 歌舞伎十八番……………七三三  
 歌舞伎狂言の立方……………七三四  
 芝居の二枚目三枚目……………七三四  
 俳優の屋號……………七三五  
 六法を踏むとは何か……………七三六  
 聲樂の聲の種類……………七三七  
 映畫一本の製作費……………七三六  
 洋畫は何故裸體か……………七三八

惠方とは何か……………七三〇  
 千社札の意味……………七三〇  
 土用丑の日の鰻……………七三一  
 南畫と北畫の相違點……………七四〇  
 將棋の段位と駒割……………七四一  
 圍碁の段位と手合割……………七四二  
 オリンピックの起源……………七四二  
 オリンピック開催地……………七四四  
 五輪旗の意味……………七四六  
 武藝十八般とは何か……………七四六  
 相撲の四十八手……………七四七  
 力士の階級……………七四八  
 相撲の年寄とは何か……………七四九



勸進元とは何か……………七五〇  
遞信關係の常識……………七五〇

郵便局のマーク……………七五〇  
切手と印紙の相違點……………七五一  
專賣特許と新案特許……………七五二  
約東郵便の手續……………七五三  
汽車へ電報うつには……………七五四  
電報の略記號……………七五五  
郵便局の等級別……………七五五  
放送局の呼出符號……………七五六  
J O A Kは何の意味か……………七五九  
日本標準時と各國時差……………七六〇  
社會常識一班……………七六二  
新議事堂の豪華さ……………七六二  
航研機の性能……………七六五

コンドル機の性能……………七六七  
世界的大型飛行機……………七六八  
嘘を見分る器械……………七六九  
地圖の種類……………七七〇  
USAは何の意味か……………七七一  
ソ聯とは何のことか……………七七二  
S O Sの信號……………七七三  
攝氏と華氏の相違點……………七七四  
時計のFとS……………七七五  
磁石のSとN……………七七六  
磁石は何故南北をさすか……………七七六  
エレベーターのBとR……………七七七  
鉛筆のHとB……………七七八  
船脚の赤いわけ……………七七八  
汽船の行先……………七七八  
皇紀と西曆の基礎……………七七九  
日本人一年の喫煙量……………七八〇

活字の大きさ……………七八一  
活字の書體……………七八三  
綿糸の番手とは何か……………七八六  
改名するには……………七八七  
姓名の起源……………七八八  
花押とは何か……………七八九  
落款の捺し方……………七九一  
家の紋章の起源……………七九一  
「有卦に入る」とは何か……………七九二  
「石の上にも三年」……………七九三  
「日の下開山」とは何か……………七九四  
マダムとミセス……………七九四  
「雪は豊年の貢」……………七九五  
七福神の起源……………七九六  
十二ヶ月の略名……………七九七  
十人扶持とは幾らか……………七九八  
三國一の富士……………七九九

二業地三業地の相違點……………七九九  
「一富士二鷹三茄子」……………八〇〇  
相性は果してあるか……………八〇一  
厄年の災厄……………八〇二  
丙午の女の禍……………八〇二  
十千十二支……………八〇四  
まじなひは効くか……………八〇五  
「九字を切る」とは何か……………八〇八  
狐や狸は人につくか……………八〇八  
精神分析學とは何か……………八二〇  
(以上本欄)

上 欄 目 次

支那の國勢……………一  
支那の面積と人口……………一  
租界と租借地……………三  
支那の民族……………五  
在支外國人數……………六  
支那人の海外移住數……………七  
支那の財政……………八  
列國對支投資額……………一〇  
列國對支投資額別表……………一  
地域別對支投資額……………二  
列國對支貸付金……………三  
不確實擔保外債……………四  
支那主要輸出品……………五

支那主要輸入品……………一五  
主要國別貿易額……………一六  
我が對支輸出品別……………一七  
我が對支貿易地域別……………二〇  
支那農産高……………二〇  
支那鑛業産額……………二二  
支那石炭埋藏量……………二三  
支那鐵鑛埋藏量……………二四  
支那製鹽高……………二四  
北支の重要鐵鑛……………二五  
北支の重要炭坑……………二六  
北支の羊毛産額……………二八  
北支省別農産額……………二八



支那主要鐵道	三三
全支鐵道營業	三四
國別船舶出入數	三五
支那の航空事業	三六
支那の教育施設	三七
<b>支那主要地名</b>	四三
<b>支那要人略傳</b>	二二
<b>世界人名辭典</b>	一九〇
<b>日本の人口</b>	二四四
帝國總人口	二四四
内地本藉人口	二四五
昭和十二年推計人口	二四六
市の推計人口	二四九
人口の密度	二五七

出生率・死亡率	二五九
<b>日本の土地</b>	二六二
帝國の面積	二六三
道府縣別面積	二六四
島の面積	二六六
主なる湖沼	二六九
主なる河川	二七二
主なる高山	二七七
主なる火山	二七八
大原野の面積	二九六
高原の面積	三〇〇
<b>世界地理概要</b>	三〇三
世界の面積	三〇三
世界の人口	三〇四
世界の島嶼	三〇四

世界の湖沼	三〇八
主なる海洋	三一〇
世界の高山	三一三
世界の火山	三一七
世界の大瀑布	三三二
世界の主要河川	三三五
世界大都市人口	三三九
<b>帝國經濟統計</b>	三四〇
重要輸出品	三四〇
重要輸入品	三四四
國別輸出入額	三四六
工業別工場生産額	三五五
鑛産額	三五七
農家戸數	三五九
耕地面積	三五九

林野面積	三六〇
地方別米産額	三六一
米收穫高	三六四
麥收穫高	三六五
繭産額	三六七
水産物價額	三六八
<b>列國重要資源生産高</b>	三七〇
<b>帝國の交通</b>	三六六
國有鐵道線路	三六六
私有鐵道線路	三九〇
道路延長	三九一
鐵道大隧道	三九一
國鐵大鐵橋	三九三
本邦船舶數	三九三
東京市よりの距離	三九四
定期航空路	三九六

飛行場所在地	三九七
日本航空記録	三九九
世界航空記録	四〇〇
<b>我が教育界</b>	四〇三
學校生徒數	四〇三
入學志願者數	四〇八
學齡兒童就學率	四〇九
幼稚園兒童數	四一〇
<b>官廳會社所在地</b>	四一〇
官公署	四一〇
學校一覽	四一五
各種主要團體	四二六
全國主要會社	四四七
全國主要銀行	四四五
東京主要銀行	四七〇

主要日刊新聞社	四七一
主要通信社	四七三
主要雜誌社	四七三
<b>相場經濟用語</b>	四七五
<b>故事と熟語辭典</b>	五三三
<b>俗語辭典</b>	六四八
<b>外來語辭典</b>	六七二
<b>スポーツ用語</b>	七三九
<b>郵便料金</b>	七五八
<b>鐵道料金</b>	七七八
<b>度量衡換算表</b>	八〇三
目次終	



## 支那の國勢

### 支那の面積と人口

正確な調査はないが昭和十一年國民政府内務部發表によれば次の通りである。但し人口は相當割引して考へねばならぬ。

省名	面積	人口
河北	五九、三二一	二八、六四五
山東	六九、一九八	三六、〇三九
山西	六〇、四九一	一一、六〇一
寧哈爾	一〇七、六七七	二、〇三六
綏遠	一一三、四九三	二、〇八四
北支	四〇九、一〇〇	八三、三九五
省計		

## 對支時局解説

### 支那の政治事情

#### 支那最近の政狀

支那は古來易世革命に基く君主政體で、從來の君主の力が弱つた時、勢力のある者が新しく出て古い君主を滅ぼし、新しい君主が立ち、國名をも改めて新しい政治を布くのであり、革命は支那四千年の歴史を貫く傳統的な政治である。近年は滿洲國から起つて全支を平定した愛親覺羅氏（現滿洲國皇帝の祖先）が清朝を立てゝるたが、積年の稅政に慊らず思つた漢人は、滿洲人の統治下から脱しようとして革命を起し、これに成功して共和政體の「中華民國」を建設した。これが明治四十四年十二月の第一次革命である。黃興が大元帥となり、孫文が大統領に當選し、翌一月



河南	六六、六七六	三、二九〇
江蘇	四一、八二八	三六、四七〇
安徽	五一、八八八	二三、二六五
浙江	三九、七八〇	二二、三三二
湖北	一〇五、四六七	二八、二九四
湖南	八〇、一六九	二五、五四二
江西	七七、二八一	一五、八二〇
福建	六一、二五九	一一、七五六
廣東	八三、九一八	三三、二九〇
廣西	三三、九八五	一一、三九五
雲南	一一三、五三九	一一、九九五
貴州	六九、二七八	九、〇四三
四川	一六六、四八五	五三、九六三
陝西	一四三、四五七	九六八
甘肅	七三、三三四	九、七一八
寧夏	一四五、九三〇	六、七〇五
青海	一〇六、二一五	一、〇三三

就任し、我が大正元年を以て支那では民國第一年とした。それより直ちに臨時憲法を制定したが、三月袁世凱が大總統となるに及び孫文等と意見合はず、廣東派は第二革命を起したが、袁軍に敗れ、孫文、黃興共に日本に亡命した。彼等は興中會を組織し、常に袁世凱政府に抗したが、袁世凱が皇帝たらうとして段旗瑞、吳佩孚等に反對され、その後國內の騷亂絶えず、北京では政權の爭奪を事としてゐたが、孫文等は廣東にあつて三民主義を唱へ、大正六年八月遂に廣東軍政府を組織し、孫文が大元帥となり、幾度か北伐軍を起したが、目的を果さなかつた。所が孫文の死後、昭和元年蔣介石は北伐軍を率ゐて廣東を出發し、長江に進出して遂に武漢政府を樹立した。併し武漢政府が共産黨と合同し、ソ聯の援助を受けてゐるのを嫌つた蔣介石は、翌年軍を進めて南京、上海を占領すると共に、國民黨を分裂して南京に新政府を樹立した。併し間もなく武漢、南京兩政府の妥協が成立し、蔣介石は下野し、南京政府に合體したが、その年十二月蔣介石は廣東にクーデターを行つて國民黨から全く共産黨の勢力を追出してしまひ、翌昭和三年には、北京の張作霖が爆死す

青海	二六九、二七	一、二九六
新疆	七〇五、七六九	四、三六〇
合計	二、九〇三、四七五	四二二、七〇八
外蒙古	六三五、七八三	二、七七
西藏	四六九、二九四	三、七三三
總計	三、九九八、五五三	四二八、五〇七

右の總面積は我が總面積の約十五倍、内地面積の約二十八倍、新疆、西藏、外蒙等の邊疆を除く支那本部のみでも我が内地の約十三倍ある。

租界と租借地

租界	名稱	設定年	面積
上海	共同	一八四五	六、七八二
	佛國	一八四九	九、〇〇〇

るに及び、北方と妥協して東三省及び滿洲をも國民政府の治下に收めてしまつた。併しこれで全く國民政府の力によつて支那が統一された譯ではない。張學良は國民黨内で優遇されてはゐたが、それは舊東北軍といふ相當強力な兵力を有し、北支及び滿洲に牢固たる地盤を持つてゐたからで、内實は機會さへあればその力を殺ぎ、眞に北支滿洲を國民政府の直轄下に置かうとしてゐたし、張學良の方でもまた、燃えるやうな抗日感情のため、暫く蔣介石と妥協し、その力を借りようと考へたに過ぎない。又、山西には閻錫山があり、今では昔日の反蔣運動を忘れて温順しくしてゐるが、山西モンロー主義を唱へて中央の勢力を一步も山西へ入れないし、山東には韓復榘があり、口では中央へ忠誠を誓つてはゐたが、山西同様、山東にモンロー主義をきめこみ、時々親日的態度を示して國民政府をいやがらせてゐた。又、南の方には、廣東に陳濟棠があつて中央に容喙させず、廣西の李宗仁、白崇禧は徹頭徹尾反蔣と抗日を唱へ、國民政府の者を一人も近づけない。従つて國民政府は、形の上では支那本部及び滿洲を統一してゐたが、實質的には南京を中心とする中支を僅



天津	日本	一八九八	三三
天津	佛國	一八六一	四三九
天津	伊國	一九〇三	四〇
漢口	英國	一八六一	?
漢口	日本	一八九八	二二五
蘇州	佛國	一八九六	一〇〇
蘇州	英國	一八九七	九六
杭州	佛國	一八九六	一三〇
重慶	佛國	一九〇二	一五五
沙市	佛國	一八九八	二一七
福州	佛國	一八九九	二〇〇
廈門	佛國	一八九九	二〇〇
廣州	佛國	一八九九	二〇〇
東莞	英國	一八六一	?
東莞	佛國	一八六一	?
租借地	面積		
廣州灣	佛國	一八九八	三五

かに勢力圏としてゐたにすぎない。然も一方には共産黨といふ厄介者が居り神出鬼没のゲリラ戦を以て國民政府を悩まし続け、浙江から福建、江西、湖南、四川と、だん／＼各地に地盤を固めて行つた。かういふ外患のある上に、蒋介石の足元それ自身さへ甚だ不安定なものであつた。即ち黨内の大先輩汪兆銘は事ある毎に反蔣態度をとるし、孫文の遺子孫科等は容共主義を振りかざして國民政府を悩まし、孔祥禧や宋子文等の歐米派は抗日を唱へて、やゝもすれば親ソ派や張學良の肩を持たうとする。蒋介石はこれ等の内憂外患に煩はされて幾度か下野しようとしたが、流石にそれは國民黨が許さなかつた。

かういふ中であつて滿洲事變が勃發した。抗日意識に燃える張學良は遂にその火蓋を切つたのである。だがその夢は無慘にも破れて滿洲を追はれ、僅かに北平に逃げて東三省を守らうとした。然し我が軍はこれを許さなかつた。蒋介石は祕かに喜んだ。張學良の力を殺ぐのは此の時とばかり、舊東北軍を陝西省に退かせ、その上張學良に共産黨討伐といふ厄介な仕事を與へた。地盤のない陝西省にやられ

香港其他英國 一八九五 三五五  
マカオ 葡國 一八八七 二

支那の民族

漢族、滿洲族、蒙古族、トルコ族、西藏族を主とし少数民族としてモン・クルメ系、シヤン系、ビルマ系等あり、漢族が最も多く、文化の中心をなす。

漢族は我が民族に似たるも系統は全く異り、昆崙系人に屬し、大和族、朝鮮族、滿洲族、蒙古族、洪牙利族、トルコ族、フイランド族等は共にウラル・アルタイ系なり。

た張學良は慘目であつた。昔日の勢力は何處へやら、もうその存在すら認められぬほど無力となつた。併し蒋介石の前には新たな厄介者が立塞がつてゐた。それは宋哲元を委員長とする冀察政務委員會である。また小さいながらも冀東地區に出来た冀東自治政府である。これ等には我が國の力が大きく働いてゐた。そのために冀察政務委員會の中には親日の空氣が多分に流れてゐるばかりか、まご／＼すると獨立政府さへ樹立しかねまじい形勢にあつた。宋哲元は固より親日家ではない。だが國民政府治下から獨立することは決して悪くないとも考へたに相違ない。そこで國民政府は杭州會議や廬山會議や西安會議に於て冀察の親日傾向を阻止する方策を決議し、その中央化に努力した。蒋介石は先づ昭和十一年廣西の白、李兩氏と妥協して後顧の憂ひを絶ち、西安に行つて、冀察を牽制せよと云つて舊東北軍を喜ばせながら張學良と部下將領とを離反せしめ、舊東北軍を中央化して冀察を包圍する態勢を整へようとした。併しこゝに大きな冒険があつた。自己の凋落を挽回しようとして焦つてゐた張學良は、秘かに共産黨と通じ、蒋介石を監禁して、即時容共抗日の



在支外國人數

(昭和十一年現在)

日本	八七、二三
内地人	六一、七五七
臺灣	一四、二三
朝鮮	二、三五三
英國	三〇、八三九
白系露	三、二九九
赤系露	一、五三八
米國	一〇、八三九
葡國	八、三五六
安南	八、三三八
佛國	五、二六〇
獨逸	三、八二一
印度	三、一八四
伊太利	一、三〇七
波蘭	一、〇八八
西班牙	七三三

強行策承認を迫つた。これが西安事件である。國民政府は愕然とした。そして止むなく張の主張を容れた。併しそれは蔣介石救助の窮餘の便法だと考へてゐたが、張の背後には海千山千の共産黨及びソ聯が控えてゐたので、最早一時逃れは云つてゐられず、のつびきならぬ羽目になつて容共抗日策をとる事とした。

一體蔣介石は昔から共産黨が嫌ひだつた。彼は國民黨から共産分子を追出すために凡る努力を拂ひ、四六時中共産軍討伐のために力を費してゐた。そのために近年になつて中國共産黨の勢力は非常に衰へ、陝西の山奥に氣息奄々たる有様になつてしまつた。これは蔣介石の大なる成功といへる。又蔣介石は、心からの抗日家ではなかつたかも知れぬ。彼は日本で教育され、我國に多くの知己を持ち、相當に我國を理解してゐる筈である。彼が抗日政策を取つたのは、國內統一の一手段にすぎなかつたかも知れぬ。若し國內を統一し終つたならば欣然として我と提携したかも知れぬ。それ故にこそ彼は親ソ派や即時抗日の張學良、李宗仁等を壓へ、知日派の汪兆銘等と提携し、昭和十一年十一月には腹心の吳鐵城をして抗日救國團體に大彈

支那人の海外移住數

(昭和八年現在)

白耳義人	六五四
比律賓人	六三七
デンマーク人	六〇五
瑞西人	五五一
其他共總計	一五三、一九四
日本	八七、二三三
其他外國人	一〇四、九六一

右の内英國人の半分及びポルトガル人の四分の三は香港にあり。

移住先人數

臺灣	三、四〇〇、〇〇〇
シヤム	二、五〇〇、〇〇〇
英領馬來	一、八〇〇、〇〇〇
蘭領東印度	一、二三三、九〇〇

壓を加へ、その巨魁を一網打盡にさせ、孫文の未亡人で自分の義姉である宋慶齡をさへ逮捕させた事もあつた。併し方便かも知れなかつた抗日政策も十年一日の如く續けてゐては藥が効きすぎる。今はもう蔣介石の力を以てしてもこれを止めることが出来なくなつた。然も國民黨内部は複雑であり、歐米派、親ソ派が勢力を張り、自分の妻宋美齡までが歐米派の先頭に立つて抗日を叫び、今また共産黨にまといつかれては、蔣介石と雖も思ふにまかせなかつたのかも知れぬ。蔣介石の矛盾、支那の悩みは此處にあつた。協和の精神を忘れ、頼むべからざるものを頼む霸道の政治は何時かは破れる。彼の抗日策は、我が明治維新史の研究から出たといはれてゐる。所が彼の研究は足りなかつた。わが明治維新の志士元勳も攘夷は唱へたが、その主體は勤王にあつた。王政復古にあつた。王道の政治は何時でも邪道を捨て去れる。此處に大きな相違がある。大調和の根本精神を忘れた抗日は兩刃の劍となつて蔣介石を苦しめ、つひには、嫌ひな共産黨にまで乗じられ、十年の功を一箕に缺いてしまつたのである。



香港	六二、三〇〇
比律賓	三〇〇、〇〇〇
英領ボルネオ	一六〇、〇〇〇
北米	八八、〇〇〇
キニューバ	八五、〇〇〇
カナダ	五〇、〇〇〇
太平洋	四五、〇〇〇
歐洲各國	三〇、〇〇〇
日本内地	二八、〇〇〇
朝鮮	一四、六二四
南阿聯邦	一七、六〇〇
其他共總計	一〇、八九三、四二四

### 支那の財政

一九三六年（民國二十五年、昭和十一年）國民政府豫算

### 國民政府はどんな組織か

「國民政府ハ中國國民黨ノ指導監督ヲ受ケテ全國政務ヲ掌理ス」とは國民政府組織法の第一條に規定された條文であり、國民黨あつての政府であり、國民黨が亡びれば國民政府も滅亡する。これによつて見ても國民政府は支那の國家的な政府でないことが判る。さて現在の國民政府は民國十四年即ち大正十四年六月十四日、廣東に於ける國民黨中央執行委員會政治委員會第十四次會議に於て決定され、七月一日に樹立され、民國十六年四月十八日、蔣介石の率ゐる國民革命軍の北伐成功により南京に移轉し、昭和十二年（民國二十六年）南京陥落後に重慶に移つた。初めは軍事、外交、財政の三つの行政機關しかなく、民國二十年フランスの制度に則つて修正し、更に翌年三月再修正して今日の組織となつた。政府には主席及び委員があり、政府主席は他國の大統領に等しく、共に、黨中央執行委員會によつて選任される。委員會は院と院との間で解決不可能な事の生じた場合にこれを解決する。

### 歳入

關稅	三六九、二六七
鹽稅	二三八、六三三
統稅	一七五、六七一
煙酒稅	二二、〇四六
印花稅	一一、三〇〇
鑛業稅	四、七五一
交易所稅	一七〇
銀行稅	一、六〇〇
所得稅	二五、〇〇〇
遺產稅	二、〇〇〇
國有財產收入	四、一四三
國有事業收入	二四、一三四
國家行政收入	一三、八四七
國家營業純益	一六、〇七三
地方政府分擔金	三、六八〇
其他	九、三九一

政府は立法、司法、行政、考試、監察の五院に分れ、行政院は國民政府行政の最高機關で我が内閣に相當し、行政院長は内閣總理大臣に當る。行政院の下には内政、外交、軍政、財政、經濟、教育、交通の七部があり、部長は各省大臣に相當する。だから國民政府主席は大統領に相當するわけである。所が政府主席は政治上の責任を負はず、政府は政府主席に對して責任を感じず、黨中央執行委員會に對して責任を負ふのだから、大統領は飾り物にすぎず、眞の實權を握るものは黨であり、黨の總裁たり黨軍事委員長たる蔣介石である。即ち昭和十二年までの支那は蔣介石の獨裁する國であつた。國民政府の昭和十三年末の要人は、政府主席林森、立法院長孫科、司法院長居正、行政院長兼財政部長孔祥熙、考試院長戴天仇、監察院長干右仁、行政副院長張群、內政部長蔣作賓、外交部長王寵惠、軍政部長陳誠、經濟部長翁文灝、教育部長陳立夫、交通部長張公權である。

### 國民黨はどんな組織か



計	1,000,649
歳出	
國民黨費	七,三二一
國務費	一七,九六三
軍務費	三九二,四九九
行政費	一四二,七三六
補助費	三二,〇一五
建設事業基金	七〇,〇〇〇
債務費	三四,六九三
撫卹救災費	九,六七八
豫備費	四,七五一
計	1,000,649

列國對支投資額

(リーマ教授調査)

英國	六〇七・五三七	一、一八九・二三六
大正三年	昭和三	六
昭和六年		

支那の國民黨は生みの親孫文が組織したもので、「中國國民黨總章」に定める所のものが根幹をなしてゐる。それによると全國代表大會が國民黨の最高機關であり、その決定を執行するものが中央執行委員會である。中央執行委員會には委員及び常務委員があり、平素は常務委員によつて執行される。その下には中央政治委員會があり、黨と政府との聯絡を計る機關であり、國民政府は要するに黨の中央執行委員會の定めた方針に従ひ、實際的な事務に當る。全國代表大會は、各省代表者、特別市代表者、海外支部代表者、軍部代表者、海員鐵路特別黨部代表者等から構成せられ、省黨部には全省代表大會、省執監委員會あり、その下に縣や市の代表大會、區の代表大會等がある。特別市も海外も同様である。全國代表大會は二年に一度づゝ開催することになつてをり、第一期は大正十三年に、第二期は昭和元年に、第三期は同四年に、第四期は同六年に、第五期は同十年に、第六期を同十三年三月二十九日に開催した。國民黨は孫文歿後は長く總裁を設けず、最近まで汪兆銘が主席となつてゐたが、此の全六大會で蔣介石を總裁に推戴した。

五中全會とは何のことか

四中全會とか五中全會とかいふのは、支那の國民黨中央執行委員全體會議のことである。五中全會とは、第五次中央全體會議のことである。執行委員會は平常は常務委員會に於て黨務を執行してゐるが、必要に應じて中央執行委員全體を召集して會議を開く。これを三中全會、五中全會等といふので、實質的に最も權威ある會議である。全國代表大會はその上に回數を附けて、五全大會、六全大會といふ。

三民主義はどんな主義か

支那國民政府が唱へる三民主義とは、民族、民權、民生の三つを合せたものである。民族とは、支那は國土が餘りに廣く、ために種々な民族を包含し、漢人、滿洲人、蒙古人、西藏人、新疆人、青海人等があり、みな言語、風俗、性質を異にしてゐる。最も多くて中央に勢力を張るのは漢人であるが、同じ漢人でも北と南では全

日本	二九・六一三	一、一三六・九三五
露國	二六・九三六	二七三・二一八
米國	四九・三三三	一九六・八六六
佛國	一七・四一〇	一九二・四六六
獨逸	二六・三六一	八七・〇二二
白國	三三・九一	八九・四二二
伊國	一・四	四六・四一一
和蘭	一	二八・七・九
其他	六・七一	二・九・一
計	一、六一〇・三	三、二四二・五

(×印は支那本部に對する分)

列國對支投資額

(昭和十二年・單位百萬元、東亞經濟調査局調査)



國別	金額	割合
英國	三、四一・四	五・〇
日本	一、三〇八・七	二・五
米國	五、六七・〇	九・三
佛國	三、三六・七	五・三
獨逸	二、七〇・〇	四・四
白耳義	一、四一・七	二・三
和蘭	二、六・四	〇・六
ソ聯	二〇・七	〇・三
伊太利	一、四・七	〇・二
其他	八・七	〇・一
合計	六、一〇六・〇	一〇〇・〇

地域別對支投資額

(昭和十年頃)  
單位：億圓

日本	二
英國	三
其他	一

く異り、北方人がユツタリとして大陸的であるのに反し、南方人は敏捷で激越である。それは兎もあれ、漢人は太古に絢爛たる支那文明を築き、この大國を建てた優秀な民族であるが、度々北方の他民族に征服せられ、近くは滿洲人に征服せられてきた。清朝は即ち現滿洲國皇帝の祖愛親覺羅氏が漢民族を征服して建てた國である。そこで漢民族は三百年の間被征服民族たることを甘んじてゐた。廣東に生れた漢人孫文はこれを口惜しく思ひ、三民主義の旗印の下に革命軍を率ゐて度々清朝に反抗し、彼の在世中は成功を見なかつたが、黃興、汪兆銘、蔣介石等がその遺志を繼ぎ、蔣介石は遂にこれに成功したのである。而して孫文が建てた三民主義中の第一たる民族とは、支那全土の中から蒙古、西藏、滿洲、新疆、青海等は暫く措き、漢民族の住む中央を中心として支那を統一し、漢民族による新支那を建設しようといふのであつた。民權といふのは、民族國民の權利を尊重し、帝國を排してデモクラシー、即ち民主政治を布かうといふと共に、列國の支那に於ける侵略的特權を排除して對等條約を結ばうといふのである。民生とは、國民の文化を進め、品性を高め、生活

國別	一般借款	鐵道借款	合計
英國	三、五一・八	三、三一・四	六、七三・二
佛國	二、二八・七	六、五・三	二、八四・〇
白	二、三三・四	一、七三・〇	一、九六・四
日	八三・七	九五・〇	一、八二・七
米	一、三三・五	三三・五	一、五七・七
獨	九七・七	—	一、五七・〇
和	—	六七・九	五七・九

右を百分率にすれば、英

列國對支貸付金

(昭和十二年七月一日現在)  
經濟調查局調査

を向上させるために産業を興さうといふのであるが、この中には多分に社會主義的思想を加味してゐる。そこでこの三民主義を我が國の言葉に翻譯すれば、漢民族を中心として國家社會主義による強力な新國家を建設しようといふことになる。國民黨及び蔣介石はこれを金箇玉條とし、途中一度は極端な容共政策を排して本來の三民主義に歸つたが、今や全く容共主義の虜と墮してしまつた。

事變勃發の原因

何が支那事變を起さしめたか

それは、悉く蔣介石による國民政府の誤れる觀念による。國民政府は早くから以夷制夷、遠交近攻の外交策をとり、抗日思想を國民の間に宣傳する事によつて全支の統一をはかつて来た。彼等は云ふ「日本が僅々四十年にして國內を統一し、世界の一等國となり得たのは、明治維新の元勳達が尊王攘夷を旗印として國論を統一し、



は四〇・九、佛は一七・三、白耳義は一一・九、日本は一一・二、米は九・四、獨は五・九、和蘭は三・五となる。但しそれは東亞經濟調査局の推計による。猶このほかに不確實擔保外債がある。

不確實擔保外債

國別	金額	國別	金額
英	五・四	獨	〇・二
佛	二六・六	和	一・七
日	三九・七	伊	三〇・七
米	四八・七	他	三・〇
		計	六〇七・八

舊政權たる幕府を倒し、これに成功するや直ちに攘夷主義を一擲して諸外國と親善關係を結び、巧みに波に乗じたからである。故に支那も、先づ抗日を旗印にして國內を統一し、成功の曉は日本とも提携するのだ」と。併しそれは強辯に過ぎぬ。彼等の革命の當初は日本と提携し、大いに日本の助力を借りた。日本の助力なくして孫文等の革命はあり得なかつた。然るに蔣介石は、革命に成功すると同時に日本を離れ、金のある英米と結んだ。そして英米の睿智により日本排斥に一路邁進し、國民に抗日教育を施し、抗日團體を指導して事毎に反日氣勢を煽つた。これに對し當時の我が對支外交は甚だ決斷を缺き、消極的であつて、度重なる反日行爲や權益侵犯にも拘らず更に斷乎たる態度に出ないので、日本くみし易しと見た彼は、抗日反日が募つて毎日の態度に出て來た。殊に昭和十一年八月の西安事件以後は、蔣介石は支那共產黨の虜となり、その手先に躍るやうになり、抗日侮日の行爲は日に日に多くなつた。昭和十一年八月の成都事件、同年九月廣東省北海での邦人虐殺事件、同月十日上海での邦商襲撃事件、同月十七日汕頭での邦人への投彈事件、翌十

支那重要輸出品

品目	金額(元)
紡績纖維	一三、三七、二四
動物及産品類	一四、四九三、九七六
油類	一七、〇三九、九〇二
鑛砂金屬類	一〇二、四三三、六〇五
綿糸類	四八、六九六、三九二
種子	三五、八八〇、九六四
生皮・皮革	五三、七八五、三三六
茶	三〇、七八七、二七四
雜貨	二七、六五七、一九三
穀類及製品	一五、一六九、七七八
其他總計	八三六、三五五(千元)

支那主要輸入品

品目	金額(元)
金屬・鑽石	一三、一三七、三三七

九日官莊新店での掠奪事件及び豐台での支那兵の我が兵への暴行事件、翌十九日漢口での我が巡查射殺事件、同月二十一日上海での邦人侮辱傷害事件、同廿三日上海での我が水兵射殺事件等、僅か一ヶ月の間にさへこれほど多くの事件が頻發したほどで、後は推して知るべしである。

このやうに國民政府が攻勢に出て來るやうになつた理由は、(一)知日派の汪兆銘が政權を退き、歐米派、親ソ派が政權を握つたこと、(二)モスクワの第三インタナショナルが従來の方針を捨て、所謂人民戰線主義により支那共產黨を國民黨に歩み寄せ、國共合作に成功し、抗日の條件に相當の援助を約したこと、(三)北支自治政權(冀察政務委員會、冀東防共自治政府)の出現に對し益々反日的空氣を激化したこと、(四)蔣介石の全支統一が大體成功し、英國の援助による銀國有と法幣の實施が成功し、自己の力を過信したこと、(五)我が國が五・一五事件、二・二六事件等により何となく國內が騒がしく、ために對外的に國內不統一の觀を與へ、その上累年の財政的行詰りのため國力衰弱の感を與へ、蔣介石をして少なからず我が



各種油類	一二八、五五六、二八一
雜貨	九、八二四、七六〇
機械工具	六五、〇三三、一〇六
書籍地圖	六五、三三二、〇〇四
棉花綿製品	三七、五六二、九四二
化學製品藥品	六一、二八二、一四
車輛船舶	四三、一一二、一〇三
雜穀及粉	五八、五五五、六〇三
雜金屬製品	四一、四三七、八八六
其他總計	九三三、三八六(千元)

主要國別貿易額

(昭和十一年)  
(單位千元)

相手國	輸出	輸入
英國	六四、八八四	一〇、四九七
英印	一八、六八五	二四、七一九
シンガ	一五、六五五	一〇、八三七
ポール		

國力を輕視せしめたこと等である。然も蘆溝橋事件起るや我が駐屯軍は一旦反撃はしたが、我が政府が不擴大、現地解決の方針をとり、出兵の御裁可を得ながら、更に出兵しようともしなかつたので、愈々日本の腰弱しと見て攻勢に出で、梅津・何應欽協定を破つて中央軍その他を續々河北省及びその周圍に集中し、連日挑戰的態度に出で、戰備全く成るや七月二十五日夜半、郎坊の第三十八師第二百二十六團は我が通信隊及びその掩護隊に不法射撃を加へた。茲に於て天津駐屯軍司令官香月中將は第二十九軍長宋哲元に最後通牒を發した。然も彼は何等悔ゆる事なく、二十六日には我が廣部部隊を北平廣安門内に封鎖し、城壁上から手榴彈・機關銃等で突如猛射した。故に我が軍も二十八日を期し斷乎独自の行動を開始し、見る見る蘆溝橋、南苑、西苑、清河鎮、馬村等で二十九軍を完膚なきまでに叩きつけ、疾風迅雷永定河を渡つて長辛店を占領し、殘敵を掃蕩し、八月三日には早くも平津一帯を確保した。併し猶も支那軍の抗日の夢は醒めず、遂にこのやうな大事に立至つたのである。

支那の抗日團體

支那の抗日團體には左翼と右翼の二種がある。共産黨及び共産青年團の指令に躍るものには、學生救國聯合會、民族解放先鋒隊、文化界救國聯合會、婦女救國會、文藝座談會及び各種労働團體があり、民族解放先鋒隊は共産青年團の直接指揮下にあり、昭和十年北平の學生が北支自治反對大示威運動を起した際、南下宣傳隊を組織して北支の各農村に抗日宣傳隊を送つた。學生救國聯合會は、各大學内の救國會を統一したもので、學生及び教育界の赤化を目的とし、文藝座談會は文藝を通じて抗日赤化をはかり、文化界救國會は人民戰線派に屬する各大學の教授連で組織されたものである。右翼の抗日團體としては、藍衣社、CC團、鐵血青年團を初め、青幫、紅幫などの俠客的團體があるほかは、團體としては餘り活潑な活躍をしてゐないが、時に應じて忽ち大衆運動を起し得るやう、不斷の教育が國民一般に施されてゐる。

我が對支輸入品別

(昭和十二年度)

實綿線綿 二二三、六一〇

濠洲	六、〇八一	一五、九九〇
佛國	三〇、三八九	一八、三八一
佛印	九、八九四	一八、〇四八
獨逸	三八、一七四	一五、二三八
ソ聯	四、二二〇	六五五
伊國	三、三八九	一一、二二五
米國	一八六、三三一	一八五、五二二
比賓	六、一〇三	四、〇一九
日本	一〇三、三六七	一五三、五七七
朝鮮	九、七六二	二、九四〇
臺灣	四、八四六	三、二五一
關東州	一八、〇二二	一一、三九七
蘭印	四、七四六	七四、三九七



絹織物	六八
羊毛	三八二
石炭	一六、二七九
木材	八二六
皮革	一〇、〇七〇
豆類	三、六三五
探油	一四、〇九三
牛肉	四、〇三八
牛乳	三、九五八
油類	六、一四三
麻・纖維類	五、一二七
其他共總計	一四三、六三六

我が對支輸出品別

品目	金額(千圓)
總品	一、〇二五
總織物	一一、一九六

支那の抗日運動

支那の排日、抗日運動は、明治四十一年に初まつて以來、滿洲事變の起るまで二十三年間に八回の大きな運動があつた。小さな運動はその間にもあり、彼等は勝手に國恥記念日を幾つも設け、毎年その日になると何かしら排日行爲を行つた。併しそれは餘り大きくもならず、時には排日を全く忘れたかに見えた時代もあつたが、滿洲事變後は何回といふことなく、のべつ幕なしに抗日運動を續けて來た。その方法は、

- 一、日本品を賣買せず、その使用や運搬をも禁じた。
- 二、日本人との一切の取引を禁じ、日本人の銀行・倉庫・水先案内・辯護士・仲買人・醫者等とも關係を持つことを禁じた。
- 三、既に出來た取引契約を破つたり、債務を履行しなかつた。
- 四、日本人に雇はれてゐる支那人を脅迫したり、日本人の家に出入する商人を監視したり、郵便までも妨害したりした。

人絹織物	一、三三四
人絹糸	四、六二九
毛織物	三、八二三
水産物	三、四一八
メリヤス	二〇七
鐵製品	二、六六八
木製品	二、九五一
機械部分品	二四、一五二
麥酒	九四四
罐詰類	八五四
陶磁器	一、一四五
紙類	六、九四〇
小麥粉	一五、二四九
糖類	一、八八四
精糖	八、二九八
ゴムタイヤ	二、一三二
眞鍮	一、五一三
石鹼	四三二

五、日本人の生活必需品の供給を拒絶したり、住居を妨害壓迫したり、通行人に罵詈、侮辱を與へたり、時に殺傷したりした。

六、支那國産品を故意に奨励した。

七、抗日規約に違反した者に私刑を施した。

八、抗日思想を國民の間に執拗不斷に宣傳した。

九、學校でも抗日教育を施し、抗日訓練をした。

これらはみな國民政府及びその他の地方政權の指令によるもので、蔣介石多年の抗日教育により支那民衆の間はかなり徹底し、殊に廣東などでは日本人は一人歩きが出来ぬほど危険で、突然唾液を引つかけられる位は平常のことであつた。廣西は殊に抗日思想が徹底してゐた。蔣介石もさうであるが、李宗仁、白崇禧等は殊に抗日を國內統一に利用しようとした。白崇禧は云ふ「日本も明治維新前には攘夷論と勤王論を結びつけて國論統一を圖つて成功したではないか。我々は日本の故智に倣



其他共總計 一七九、二五一

### 我が對支貿易 地域別

昭和一十一年度	輸出	輸入
北支	六〇、一三一	六九、六三八
中支	九六、〇一	七三、七四三
南支	三、五四九	一三、四六八
合計	一五九、六一一	一五七、八三八
昭和十二年度	—	—
北支	八、八二五	七、五三三
中支	九五、二五三	五三、六五八
南支	二、一八三	一六、四五五
合計	一七九、二五一	一四三、六三六

### 支那農産高

(單位千擔)

種別	一九三五年	一九三六年
米	一三三、五	一三三、〇〇三
糯米	八八、一六一	八七、二九六
小麥	四三六、〇五三	四六一、五五五
大麥	一五八、一一二	一六三、七四八
高粱	一三三、〇五一	一五三、五三二
粟	一三一、〇九八	一三五、四八七
黍	三三、七六六	三三、四六七
玉蜀黍	二九、九四七	一三三、六〇二
甘薯	三六九、四五九	三四一、七九七
燕麥	一七、四四四	一八、〇三六
豌豆	六六、九〇一	六九、〇九六
蠶豆	六三、四四二	六三、二五三
大豆	一一、三一一	一一八、二二〇
油菜	四九、七四九	四九、五七三
落花生	五〇、三五五	五三、六三三
胡麻	一五、六四〇	一七、三〇〇
棉花	一四、五六六	二〇、六三九

つてゐるのみだ」と。若し國內統一を成就すれば抗日も撤回すると云ふ。或はその氣持もあつたであらうが、彼等の執拗な抗日政策が共産黨と結びつくに至つては、最早事終れりである。

### 抗日教育の實例

或る國民が他の國家に反感を抱くことは止むを得ない。だからと云つて責任ある政府がこれを國策として取上げ、これを公然と指導することは由々しき大事である。蔣介石は未だ抗日運動を指導したる事なしと抗辯するが、國家が編纂した學校の教科書及び學校内に公々然と抗日態度を持たしめることは辯解の餘地なきものである。支那の小學校へ行くと、何處の學校にも「國恥二十一條」としてその條約文を大書して壁に貼つてある。二十一條とは日獨戰爭後山東半島の利權に關し、獨逸が持つてゐたものを日本が繼承した條約である。これを假に支那の國恥條約であるとしても、それはその後の九ヶ國條約により殆んど大半は効力を失つてゐる。に

も拘らず猶存續するかのやうに二十年一日の如くこれを掲載してゐる。又、教科書の中には、歴史で事實を曲げて教へるばかりでなく、地理、理科、讀方、算術の類に至るまで、或は露骨に、或は巧妙に取入れて純眞な子供に抗日思想を植付けてゐる。例へば、琉球は所屬が判然しなかつたものを、江戸幕府時代に協商によつて我が國の領土たらしめたものであり、臺灣は日清戰爭の結果、關東州は日露戰爭の結果、果圓滿に我が有となつたものであるのに、支那の教科書によれば、これ等は悉く日本が無理無態に掠奪したことになり、朝鮮までが支那領土であつたと強辯してゐる。算術の問題にしても、熱河戰で五十萬の日軍を三萬の支那軍が撃破した。一人當り何人の日軍を破つたか、などといふ途方もない問題を出してゐる。このやうにして仔細に檢べると、教科書の内容の二割は抗日記事であり、他にも他國に反對する内容のものが少しはあるが、その數は抗日記事の十分の一にしか當らない。最も露骨な例に「革命日讀」といふのがある。濟南事件當時山東省歷城縣の各小學校で毎朝始業前に教員が問ひ、兒童が和して次のやうに答へるのである。



葉煙草 一一、二九四 一三、六七三

支那鑛業産額

(昭和九年)

種別	鑛區數	産額
石炭	八五三	二〇、四九三
鐵鑛	四九	一、三六〇
銑鐵	一	一、五六〇
滿鐵	三	二
斯塔	一八	六
アモ	一八八	一四
鉛鑛	三	七
錫鑛	四七	一八
砒素	四	一
石青	五	六
明礬	一	六

- 汝等は何國の者か？
- 中國の者であります。
- 何等は中國の何省の者か？
- 中國の山東省の者であります。
- 汝等は山東省の地と河と人を愛するか？
- 何物よりも愛します。
- 山東省と中國の最大の敵は誰か？
- 日本であります。
- 朝鮮、臺灣、琉球は誰のものか？
- みんな中國のものでした。
- 誰が奪つたか？
- 三つとも日本が奪ひました。
- このやうな日本の侵略に對して吾等はどうすればよいか？

天然曹達	一	一六
硫黃	三	三
硝石	一	五
螢石	七	五
金	五	千
銀	八	千

支那石炭埋藏量

(單位百萬噸)

省別	埋藏量	省別	埋藏量
山西	一、三七一	綏遠	四七六
山東	一、三三九	安徽	三六〇
河北	三、〇七一	江西	九三二
察哈爾	五〇四	寧夏	四八八
四川	九、八七四	湖北	四四〇
陝西	七、九五〇	福建	三九六
貴州	一、五四九	廣東	四三二
河南	七、七六四	廣西	三〇〇

- 日本打倒あるのみであります。
- 汝等は如何にして日本を打倒するか？
- よく勉強し、革命に精進し、死んでも日貨を買はず、死んでも日本に食糧を賣りません。
- 汝等のその氣持は一時の昂奮ではないか？
- いゝえ、堅忍以て子々孫々まで忘れません。
- 日本の人口は幾らか？
- 六千萬人あります。
- 中國の人口は幾らか？
- 四億二千萬人で日本の七倍に當ります。
- 日本は土地も狭く人口も少い。それなのに汝等は日本を恐れるか？
- 決して恐れませんが。
- よし。日本を打倒し、中國の恥を雪ぐことは汝等に與へられた最大の任務で



雲南	一、六二七	浙江	一〇〇
湖南	一、七六四	江蘇	二二七
甘肅	一、五〇〇	計	二、三三三、五五九

支那鐵鑛埋藏量

(單位一萬噸)

省別	埋藏量	省別	埋藏量
河北	三、二〇〇	河南	一、四三〇
山西	五〇〇	湖北	九、一六四
山東	七〇	湖南	一、〇七〇
察哈	一、五〇	浙江	九、五〇
綏遠	三、〇〇〇	福建	一、九八一
江蘇	四〇〇	四川	二、五〇〇
安徽	四、六四四	廣東	一、四〇〇
江西	二、四三四	計	三三、八七四

支那製鹽高

(昭和十一年・單位千噸)

ある。

—さうです。吾々の任務であります。私達は一分一秒たりともこれを忘れませ

ん。からうして三百六十五日繰返し、吹き込まれた思想がどんな結果を生むかは云ふまでもない。支那事變の勃發したのも當然である。

蘆溝橋事件は何から勃發したか

昭和十二年七月七日午後十一時頃、豊台の西方約三里の蘆溝橋附近で、我が豊台駐屯軍の一部隊が夜間演習をしてゐると、突如支那軍が發砲して來た。何かの間違ひだらうと隠忍してゐたが、間違ひにしては餘りに繁く、餘りに意識的に發砲して來る。蘆溝橋北方龍王廟と蘆溝橋附近の部落との二方から射撃して來た。故に我が軍は直ちに演習を中止し、本隊に通報して指揮を待ち、猶も隠忍してゐたが、支那軍は益々射撃の度を高めて來たので、今は我慢し切れずこれに應戰して彼を沈黙せ

産地	産額	産地	産額
長蘆	四一八	兩浙	二二二
山東	三七六	福建	九一
海州	三五〇	廣東	二六二
淮南	一〇八	其他	五四四
松江	二九	計	二、四一一

北支の重要鐵鑛

(最近の推定)

鑛山名	鑛質(%)	埋藏量
山西		
平孟	赤	三六
晋城	赤	五七
保晋	赤・褐	四〇
陰城鎮	褐	五二
高平縣	褐	四・五
隰縣	赤・褐	五
計		三〇、〇〇〇千噸

しめ、豊台の我が殘存部隊もまた支那兵營近くに集結した。翌朝三時半、寺平大尉、櫻井顧問、冀察政務委員會代表委員林耕宇の一行が現場調査のため北平を出發したが、五時二十分になつて支那軍は再び發砲し來り、再び砲火を交へるに至つた。六時に至り戰鬥行為は一ト先づ中止されたが、その時北平、天津間の我が軍用電線は切斷せられ、北平の朝陽門は閉鎖されて我軍の北平へ入ることを阻むなど、一片の誤解でなく、連絡ある計畫的行為であることが了解された。

一體我が駐屯軍が夜間演習をしたことは此の時が初めてではなく、殊にその頃は第二期檢閲期のこととて連日行はれてをり、蘆溝橋附近一帯を演習地として使用することは我に許された權利である。然るにこの射撃を受けたことは全く支那側の不法行為によるものである。發砲して來た支那軍は馮治安の率ゐる第二十九軍第三十七師の約二ヶ中隊であり、中には共產黨系の將校もあり、抗日思想甚しき部隊であつた。時に我が損害は、戦死下士官三名、兵七名、計十名、負傷二十名であり、支那側は死傷百餘名であつた。かくて九日正午過ぎ、我軍の嚴重な抗議により、こ



陽曲西赤	六五
臨縣	一
察哈爾省	
龍烟赤	五〇
綏遠省	九一、六四五
白雲山赤・磁	四九
山東省	三四、〇〇〇
金嶺鎮磁	五五
北支	一三、七〇〇
全支	二〇〇、〇〇〇
	三三〇、〇〇〇
鐵山名理藏量從來出炭	
山東省	千萬噸
中興	三〇
華豐	一七〇
	一〇

北支の重要炭坑

(最近の推定)

の支那軍は永定河右岸地區にまで撤退したが、その後も意識的不法行爲がつゞけられ、これが支那事變の導火線となつたのである。

廣田外相の對支三原則とは何か

滿洲事變以來、支那國民政府は事毎に我が國に楯突くやうになり、權益を冒し、條約を無視し、暴言を吐き、聯盟その他に哀訴して以夷制夷の外交策をとるほか、抗日團體を使嫉して我が居留民及び駐屯軍等に不法暴行を取へて來た。茲に於てこれ等の問題を根本的に解決するには、對支外交に一定の方針を樹て、これに一路邁進するに然かずとなし、岡田内閣時代の外相廣田弘毅氏が樹てたのが對支三原則である。

第一、兩國は積極的に親善提携に向つて協力すべきこと。

第二、滿支關係の正常化は、支那をして先づ滿洲を承認せしめ、滿支の友好協を圖ること。

第三、支那を赤化の危険より免れしむること。

併しこの三原則は悉く國民政府の反對に遭ひ、却つて逆効果しかなかつた。

梅津・何應欽協定とは

支那事變勃發當初に於て問題となつた梅津・何應欽協定とは、昭和十年春、當時の我が支那駐屯軍司令官梅津美治郎中將と、當時北京にゐる北平軍事分會委員長をしてゐた蔣介石の股肱何應欽との間に成立した協定のことである。内容の骨子は、「一切の中央軍の河北省撤退及び反滿抗日策動の禁絶」である。當時支那は、滿洲國內部の攪亂を期し、滿洲國內又は長城附近の義勇軍に官憲が援助を與へ、北平、天津等で抗日運動、抗日テロ等が續出したので、梅津中將は斷乎たる通告を何應欽に發し、遂に此の協定を見たのである。所が支那軍は、事變勃發に先立ち、中央軍第三十二師及び第五十八師の一部を保定に、主力を續々河北省南部に進入せしめ、第三十軍は正定に達し、明らかに梅津・何應欽協定を無視したのであつた。

華寶	五
新秦	四〇
沂洲	三〇
博山	四五
淄川	四五
彰邱	四三
山西	一、二〇〇
太原	八〇〇
河北	七〇〇
平定	三五
井陘	九〇
正豐	三〇
滋縣	六〇
開灤	四六〇
長城	一六
柳江	一五
門頭溝	三〇



齊堂	三
臨城	五
北支	一、三六〇億噸
全支	(全支の六割) 二、三〇〇億噸

北支の羊毛産額

(昭和九年度)

省名	産額
河北	三六、〇〇〇ピクル
山東	二〇、〇〇〇ピクル
内蒙	六四、〇〇〇ピクル
其他計	二五〇、〇〇〇ピクル
全支計	五四〇、〇〇〇ピクル

北支省別農産額

(昭和九年度)

支那軍の兵力

支那軍の組織と兵力

支那軍は他の國の軍隊のやうに、一國の中央機關の下に統一されてをらず、封建時代のやうに、各地に軍閥が割據して各自私兵にも近い軍隊を要し、中央の威勢が行はれない。従つてその軍裝も裝備も訓練も區々で何等の統一がなく、兵力に至つても時に多く、時に少く、正確を期し難い。併し蒋介石は多年苦心の結果、兎にも角にも全兵力を國民政府下に收め、支那事變の勃發を機として更にその統一を強化した。併し李宗仁・白崇禧等の廣西軍は傳統の反蔣氣分を清算し切つてはゐらず、四川軍も亦反中央の態度を捨てきらずに居り、事變當初には、山西の閻錫山軍及び山東軍また頗る曖昧な態度であつた。支那軍の兵力は我が陸軍省の調査によれば次の通りである。

系統	事變前の兵力(萬)	武漢攻略後の兵力(萬)	系統	事變前の兵力(萬)	武漢攻略後の兵力(萬)
中央軍	八六・〇	三九・〇	山東軍	五・二	二・〇
舊東北軍	一二・三	四・〇	廣東軍	八・〇	七・〇
北支諸軍	一四・六	五・九	廣西軍	七・二	五・〇
山西軍	八・〇	五・〇	各省軍	六三・九	二五・〇
合計	二〇五・二	九二・九			

その編成は、軍(五又は三師)、師(二又は三旅)、旅(二又は三團)、團(三營)、營(三連)、連(三排)、排(五班)、班(三伍)、伍(二人)となつてをり、即ち、師は我國の師團に相當し、兵力約一萬四千と號されてゐるが、中には二萬の兵を持つものがあるかと思へば五千位しかないものもあり、裝備は年々改善せられてはゐるが、昔ながらの綿服に唐傘を背負ひ、小銃も二人に一挺當りなどといふものがあるかと思へば、世界でも最優秀の機關銃・小銃などを全員が持つたものもある。その中で最

米	全支計	一、三六五
小	察哈爾	六七〇、六二〇
麥	綏遠	四〇、四四〇
大	山河	六七、八二一
	全支計	二五、五四一
	察哈爾	二、七五九
	綏遠	二、七七八
	山河	一八九、二七九
	全支計	四三五、一七五
	山東	五、〇二〇
	河北	八、六二九
	其他計	三、九三三
	全支計	一、二七五



麥	高	梁	落	花	生
察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全
支計哈	支計哈	支計哈	支計哈	支計哈	支計哈
爾	爾	爾	爾	爾	爾

四、一四五	三、九八〇	一六五、八八九	一九、五四九	三五、一九六	九、三〇〇	一、五五五	三、八二七	六九、四二七	一三七、二六三	一〇、九三六	一三、二五三	二一八	二四、四〇六	六六、二七九	三、〇六四
-------	-------	---------	--------	--------	-------	-------	-------	--------	---------	--------	--------	-----	--------	--------	-------

優秀な中央某軍の裝備をあげると、小銃約五千五百挺、輕機關銃約二百七十挺、重機關銃約九十挺、歩兵砲約三十門、迫撃砲約三十門、野山砲約三十六門、拳銃約四百挺であり、彈藥も豊富に持ち、訓練も行届き、軍規も厳正で、昔日の支那軍とは全く面目を一新してゐた。されば白兵戦となつては皇軍の前に問題とならなかつたが、銃火による防禦力は、歐米の軍隊に比して勝るとも劣らぬ頑強な抵抗力を持つてゐた。併し、今やその兵力も前表のやうに半減されてしまつた。

支那の軍長、旅長等は我が何に當るか

支那軍は軍、師、旅、團、營、連、排、班、伍と組織されてゐる。だから師長は我が軍の師團長、旅長は旅團長、團長は聯隊長、營長は大隊長、連長は中隊長、排長は小隊長に相當する。軍とは幾つかの師を集めたものだから、軍長は、北支派遣軍最高指揮官と云つたものと同格である。このほかに戦區を定めて、その總指揮官をおき、蔣介石は大元帥を稱してゐる。

棉	花	玉	蜀	黍	大	豆
察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全	察綏山河全
支計哈	支計哈	支計哈	支計哈	支計哈	支計哈	支計哈
爾	爾	爾	爾	爾	爾	爾

一、六五五	七二三	五、四三三	一四、八九五	二二、五三三	一六、六八五	五、六〇九	九四	二五三	四五、一六二	一六、二九八	七、一四八	三三、二七一	二、〇一九	三二八	七五六
-------	-----	-------	--------	--------	--------	-------	----	-----	--------	--------	-------	--------	-------	-----	-----

第二十九軍の正體

昭和十二年七月七日夜半、蘆溝橋で突如我が軍に不法射撃を沿せ、支那事件の火蓋を切つた支那の第二十九軍とは、宋哲元手飼ひの軍隊である。民國十四年(大正十四年)以來西北革命軍として綏遠・甘肅・陝西・河南の各省を流轉し、第二集團軍として馮玉祥麾下となり北代に参加した。その頃から宋哲元が指揮してゐたが、民國十七年宋哲元が陝西省政府委員代理主席となるや第二十九軍と共に陝西省に入り、翌十八年、馮玉祥が反蔣戦を起すやこれに加はつたが、中央軍のため一敗地に塗れた。併し宋哲元が馮玉祥の手を離れて蔣と結び、察哈爾省主席となるや二十九軍もそこへ行き、翌二十二年(昭和七年)三月全軍河北省に移つて、我が熱河討伐の際には長城線で激しく我軍に抗戦したが、停戦協定後は急に二倍の兵力を持つやうになり、四ヶ師三旅八萬の軍を擁し、昭和十年梅津・何應欽協定によつて中央軍が河北省から撤退し、宋哲元が冀察政務委員會委員長となるや、二十九軍は



全支計		察哈爾		綏遠		山西		山東		河北		全支計	
四、五二	二九、九三	六六七	一、六一	四八	九七	三〇	二、八五	五、五四	三〇、八八	三七、六六	一五、九〇	一、九四	四、一七
一四六、二六	九〇、三三	四、一七	一、九四	一五、九〇	三〇、八八	三七、六六	一五、九〇	一、九四	四、一七	九〇、三三	一四六、二六	四、一七	一、九四

完全に河北省全省を保有し、北平、天津等の要衝に據るやうになつたのである。併し膨脹した第二十九軍は決して昔日のやうな宋哲元手飼の軍隊ではなくなり、張學良系、中央系のものが混り、三派互ひに勢力を争ふ有様であつた。即ち馮治安の率ゐる第三十七師は馮玉祥時代からの董陶を受けて多分に赤化し、抗日思想が旺盛である上に、多くの中央軍系を擁してゐるので全く抗日の急先鋒であつた。蘆溝橋で事を起したのもこれである。張自忠の率ゐる第三十八師は天津を中心とし、比較的抗日気分は少かつた。この他第三百三十二師は蘆溝橋の南方長辛店方面にあり、第四百四十三師は北京の西北方南口附近にあり、宋哲元の威令は殆んど行はれてゐなかつた。

### 支那共産軍の實力

支那共産軍は現在には國民革命軍の第八路軍と命名され、蔣介石等の中央軍事機關の下に抱擁せられてしまつたから昔のやうな、共産軍といふ別箇のものはない筈で

### 支那主要鐵道

(一九三七年現在)

鐵道名	區間	哩數
京漢線	北京—漢口	七五〇
北寧線	北京—山海關	二六三
津浦線	天津—浦口	六二九
京包線	北京—包頭	五〇八
正太線	石家莊—太原	一五二
膠濟線	青島—濟南	一四五
同浦線	大同—蒲州	二五〇
京滬線	上海—南京	一九三
滬杭線	上海—杭州	一三三
道清線	道口鎮—清化鎮	九三
廣九線	廣東—九龍	二二
粵漢線	武昌—廣東	七四〇
南潯線	九江—南昌	七九
隴海線	海州—寶雞	一三五
漳厦線	崇嶼—漳州	三二

ある。だが第八路軍は相變らず共産軍の生みの親朱德に率ゐられ、殆んど中央の命に從はず幹部も悉く昔のまゝであるから、相變らずの共産軍と云つても差支へあるまい。共産軍は元は雲南にあり、朱德に率ゐられ、大正十五年蔣介石が國民革命軍を率ゐて廣東を立ち北伐に向つた時にも、朱德も失徳もその中に編入されて北上した。所が翌年國共が分裂した際、國民軍に討伐されて四散し、浙江・江西・福建等の山地に逃込んでしまつた。けれども軍事的天才といはれる朱德と、組織の天才と云はれる毛澤東との努力により、僅か數千にすぎなかつた共産軍は忽ち膨脹して四十萬と號するに至り、江西省の六割を蠶食してソヴェト地區としソヴェト政權まで樹立した。南京政府は度々討伐したが殆んど効を奏せず、いつも辛い目に逢つた。併し不斷の討伐によつて流石の共産軍も江西省に居たゞまらず、甘肅省へ逃込んだ時には主力は約十萬となつた。所が蔣介石は五十萬の兵を向けて自ら討伐したので、昭和十一年頃には共産軍も全く四散し、將に斷末魔に瀕した。所が陰謀の巧妙な彼等は張學良を煽動して西安に蔣介石を監禁せしめ、監禁の蔣に強談



杭江線 杭州—玉山 九  
右の各線路の資本系統を  
辿ると次の通りである。

京漢(佛白)北寧(日英)津  
浦(獨英)京包(支)正太(佛)  
膠濟(日)同浦(支)京滬  
(英)滬杭甬(英)道清(英)廣  
九(英)粵漢(英)南潯(日)隴  
海(佛)漳厦(英)

全支鐵道營業

(交通部發表)

營業 昭和六 昭和七  
路線(料) 九、三一 九、三一  
旅客(千人) 四二、八六九 三八、六二七  
貨物(千噸) 二五、〇〇五 二五、〇三三  
輸送

判して國共合作を具體化し、抗日戦を吹込んで遂に支那事變を勃發させてしまった。そして擧國一致日本軍に當るを建前として第八路軍となり、中央から多大の軍資を得て共產軍を再建し、陝西、甘肅、寧夏一帶に駐屯することとなり、一部は山西省に出て来て我が軍と交戦し、彼獨得の戦法により山西、河北の北部に出没してゲリラ戦を續行してゐる。以上は共產軍主力であるが、先に各地に分散した時のものはそのまゝ各地に残り、福建、浙江、江西、湖南、湖北、四川等の省境山地に蟠居し、所謂共產匪賊となつてゐる。中央共產軍の兵力は約十萬で、各地の共匪や不正規遊撃隊を合すると二十萬はあらう。中には十二三歳からの少年隊や婦女隊まで加はり陝西省北部の延安には紅軍大學、保安には紅軍步兵學校を持ち、軍事教育と共に共產主義政治教育を施してゐる。共產軍は六割まで農民であり、三割は勞働者である。その關係からか絶大な行軍能力を持ち、山地戦は殊に得意とされ、山地を猿のやうに馳け廻つて神出鬼没のゲリラ戦を行ふ。武器は舊式であるが無駄に射撃せず、狙撃を得意とし、軍規甚だ厳しく、侮り難い戰鬥力を持つてゐる。

營業 昭和十年度  
收入(千弗) 二六三、五八二 一〇一、五七八

國別船舶出入數

(昭和十年度)

國別	隻數	噸數
英國	一三、三四一	一八、四五二
日本	五、一〇五	九、一九七
支那	四七、一三三	七、六二三
米國	一、五五七	三、七二一
諸威	八八九	一、八三九
獨逸	四五七	一、八七一
和蘭	三九三	一、三五八
佛國	三七九	一、二五二
葡國	三、二五五	八二九
丁抹	三四七	八九八
其他	二四五	九八三
計	七三、二二一	四八、一〇五

支那の海軍はどの位あつたか

支那の海軍力は誠に微々たるもので、あの廣大な海岸線と大河を持ちながら不思議な位であるが、要するに支那の軍隊は大部分國內戦のためにあるものだから、對外的な海軍の必要は微弱だし、よし強大にしようとしても、海岸の要衝はみな列國の海軍に壓へられてゐるから意味がない。誠に己を知るものである。事變前の海軍力は巡洋艦九隻、二萬五千餘噸、砲艦六十餘隻、驅逐艦四隻、水雷艇二十八隻、以上合計七萬噸で、全部ひつくるめて漸く我が戦艦陸奥、長門の二隻にしか及ばない。巡洋艦海寧は支那海軍の旗艦で、昭和六年わが播摩造船所で造られた支那自慢の最新鋭であつたが、排水量二千四百噸、長さ百十米、幅十一米餘、備砲は十四種砲六門、高角砲六門、水雷發射管四門、水上機二機を搭載し、速力二十二節、乗員三百四十名で、我が一等潜水艦に少し毛の生えた位のものである。その大部分は今時事變で失つてしまつて、今は支那の海軍は皆無である。



### 支那の航空事業

支那には三つの航空會社がある。中國航空公司（資本金一千萬元、汎米航空會社投資）歐亞航空公司（資本金七百五十萬元、獨逸ハシザ會社投資）西南航空公司（資本金二百萬元、支那資本）で、米獨の壓倒的勢力下にあり、猶昭和十年より我が資本系統で北支に惠通航空公司が生れ、天津大連間、天津北京承德間、北京天津山海關錦州間、天津北京張家口張北間の四線がある。

### 支那空軍はどの位あつたか

支那空軍は、事變直前には次のやうな兵力を持つてゐた。

中央軍	— 十六大隊、十一中隊
偵察機	二百八十機
廣西軍	— 飛行機數 七十機
地方軍	— 飛行機數 五十八機
海軍	— 飛行機數 二十七機
合計	— 九百四十機

而して航空兵約一千名であるが、實際に技術を持つものは三四百名に過ぎず、他は外國人を傭ふ状態で、機あつて人足らざる有様であつた。事變後各國より數百機を購入したが、今や悉く我が荒鷲の好餌となり終つた。

社名	航空路	延長	機數
中國公司	六	五、四二七	一八
歐亞公司	四	五、三四一	二
西南公司	二	一、三三八	四
計	一二	一一、一〇七	二四

### 支那の教育施設

國民政府治下となつて學校數は非常に増加したが、人口に對してなほ極めて少く、小學校は六歳から十歳までを義務教育としてゐるが、小學校といつても寺小屋に等しいものが大部分で通學率甚だ低く、無學文盲の者が多い。

### 支那はどんな飛行機を持つか

空軍主力は、南京、廣東、杭州、南昌、漢口、西安、洛陽、廣東には高等飛行學校、南昌には飛行技術學校があり、飛行場は二十數ヶ所に散在してゐた。

支那の空軍は今や殆んど壊滅してしまつた。彼は必死になつて各國から買入れてゐるやうではあるが、輸送路もなく、買つても乗り手がなく、折角飛ばしても我が空軍の前には齒が立たないので何にもならぬ。支那空軍が嘗て持つてゐた飛行機は英米獨佛伊ソ等の世界各國から買集めたもので、實に多種多様、世界軍用機の展覽會みたいのものであつた。勿論それ等は各國が他國へ見せたくないやうな秘密の優秀機はなかつたが、中には新造機を飛ばしてみても秘かに實戰的性能を試験したと見るべき節もないではなく、相當な優秀機を持つてゐた。ダグラス機も飛んだ、マルチン機も現れた、ノースロップも、カーチスホークも、ボーイングも、エンカース



省別	專門以上	中等	初等
全國學校數			
江蘇	五	一七八	八、三四九
浙江	四	一三三	二、九三三
安徽	一	七六	四、一六四
江西	三	六六	五、一六六
福建	四	一六	三、三七八
廣東	七	三八	一、九〇二
廣西	一	二四	一、五九七
湖南	二	一七一	三、五九七
湖北	六	七三	三、三七八
四川	一	二九五	一、四七九
貴州	〇	二	七〇
雲南	〇	三〇	一、九八三
貴州	〇	七二	一〇、三八二
雲南	一	三三三	二八、六五二
河南	三	一〇九	一八、八七〇
河北	八		

も、ソ聯のイー十五、十六等も出て来ては我軍の餌食となつた。今支那空軍の持つてゐた各種飛行機の性能を擧げてみると次のやうである。

名稱 (國別)	速時 (料)	續航 (料)	上昇 (米)	上昇 (分)	機銃	搭載 (庇)
カーチスホークI (米)	三三六	七二二	九、三〇〇	—	固定二	三二〇
カーチスホークII (米)	三八七	九三〇	九、〇〇〇	三、〇〇〇	固定二	五四〇
ボーイング二八一 (米)	三七八	九二〇	八、六〇〇	三、〇〇〇	固定二	四六五
グロスタ・グラジエ (英)	四一五	八〇〇	一〇、〇〇〇	六、〇〇〇	固定四	五二〇
ファイアットCR三〇 (伊)	三七七	八〇〇	八、〇〇〇	四、〇〇〇	固定二	六二五
ファイアットCR三二 (伊)	三九〇	八〇〇	九、〇〇〇	六、〇〇〇	固定二	五二五
ブレダ二七 (伊)	三〇〇	七五〇	九、〇〇〇	五、〇〇〇	機銃二	五三〇

省別	中等	初等
山東	一四九	三三、一四〇
山西	八三	二二、六六一
陝西	三四	九、九四七
甘肅	三七	二、二九三
寧夏	四	二四六
綏遠	八	五八五
察哈爾	三三	二、一五六
青海	七	七二二
新疆	二	一五三
南京市	二五	一六七
上海市	二四	一、〇六五
北京市	一四	二七九
青島市	〇	一六七
威海衛	〇	二二一
總計	一〇四二、六八五	二四六、一四二
全國學生數		
中等學生	四〇、六三九	
初等學生		六九〇、六五五

名稱 (國別)	速時 (料)	續航 (料)	上昇 (米)	上昇 (分)	機銃	搭載 (庇)
イー十五 (ソ)	三五〇	八〇〇	—	—	固定四	—
イー十六 (ソ)	四五〇	八〇〇	九、六〇〇	五、〇〇〇	固定二	—
ユンカー (瑞)	三四	六七五	一〇、〇〇〇	—	固定二	六〇〇
デボアチンD五一〇 (佛)	四〇二	—	—	五、〇〇〇	機銃二	四九〇
カーチスシユライク (米)	三二五	七七五	六、七〇〇	四六八	五	八六二
ノースロップ2E (米)	三六五	三、一五〇	八、九三〇	三、〇〇〇	三	一、七〇〇
ベランカ二八 (米)	四五〇	一、二八八	九、二九六	四、五七五	三	一、二〇〇
バルテイVllGB (米)	三八〇	二、三二八	七、九四〇	一、七六九	五	一、三五四



浙江	三、八六八	六八三、六〇一
安徽	一三、〇六〇	二〇一、七二七
江西	一三、四一四	二〇七、七八三
福建	一五、四二六	二一四、七八三
廣東	六九、八〇二	一、一〇三、三四一
廣西	二〇、五七六	五四九、〇五五
湖南	三五、九八一	九六七、九九三
湖北	一七、二九一	一七四、三九〇
四川	五五、八〇一	八八二、〇八九
西康	六四	一、五三九
貴州	八、二五九	八一、五二九
雲南	二一、八四三	四四八、八六五
河北	三三、六四三	一、一四〇、〇九〇
河南	三一、五五三	七七八、九七八
山東	二六、二二九	一、二二一、七八七
山西	一三、二八一	八〇四、六〇八
陝西	六、〇六四	二七三、一六八
甘肅	二、六四四	八八、六七五

ファイアットBR3(伊)	二四六	一、二〇〇	五、六〇〇	二、〇〇〇	四	一、七〇〇
カプロニ111(伊)	三五〇	一、二〇〇	六、〇〇〇	—	四	一、五〇〇
カプロニ74(伊)	一九四	—	五、五〇〇	一、〇〇〇	四	二、三〇〇

重爆撃機

名稱(國別)	速時(時)	航(時)	上昇(米)	爆彈(担)	機銃	搭載量(担)
マルチン一三九(米)	三三〇	八四五	四、六〇〇	一、四〇〇	四	四、三九〇
ベランカ双發(米)	三〇五	二、四二三	七、六三〇	一、二八一	三	三、六七五
ダグラスDB一(米)	三六〇	—	—	—	—	—
カーチスライト(米)	二八八	二、二四〇	七、一六八	一、八〇〇	五	二、八四〇
ドルニエDO一七(獨)	四四〇	一、一五〇	六、〇〇〇	五二五	三	一、九九〇
S B 一〇(ソ)	四三五	二、一〇〇	—	六〇〇	四	—
T B 三(ANT六)(ソ)	三〇〇	二、〇〇〇	五、〇〇〇	三、〇〇〇	四	—

寧夏	四三八	八、二五一
綏遠	一、一〇三	二七、五五七
察哈爾	二、〇二二	八九、三四九
青海	六三六	三三、八九四
新疆	二二八	七、一六二
南京	七、〇五七	一九、一三九
上海	二八、三三〇	一三六、〇二〇
北京	二二、二九一	二六、七三五
青島	二、二五六	一九、四六五
威海衛	四六	一〇、三〇四
總計	五〇三、三三三	一〇、八七〇、四〇三

名稱(國別)	速時(時)	航(時)	上昇(米)	速上昇(分)	機銃	搭載量(担)
ポートコルセア(米)	二八四	八五四	六、一〇〇	四七一	二	六一〇
カーチス萬能機(米)	二五七	一、〇〇〇	四、五〇〇	—	二	四九一
ダグラス〇一二八(米)	三三八	—	六、一〇〇	三七八	三	六〇
チヤンハウ(支)	一九六	一、二六〇	四、二五〇	一四八	—	三六二
ニンハイ(支)	一七七	六七三	四、四〇〇	一五〇	—	一七三

列強の對支權益

我國の支那に於ける權益

我國と支那とは歴史的に極めて古い交際である。併し徳川幕府の鎖國政策は、古



どである。

### 支那主要地名

**厦門** 福建省。開港場。市街は厦門島南端より鼓浪嶼島に跨がり人口十二三萬。日英兩租界及び各國共同租界あり。我が臺灣の對岸で臺灣との通商盛にして、臺灣人の居住者八九千。華僑の本場として知らる。昭和十三年五月十一日わが海軍陸戰隊敵前上陸して完全占領す。

**安慶** 安徽省の首府。揚子江の左岸にあり、南京と漢

い友邦支那との交通をも自由にせず、自ら積極的に働きかけるなどいふ事は全くなかつた。そのために明治二十七八年の日清戦争までは殆んど權益らしい權益は持たず、日清戦争の結果得た遼東半島の租借權までも佛露獨の三國干涉のために放棄するの止むない状態であつた。それは我國がなほ大いに無力であつたのだから止むを得ないとはいへ、又一方、歐米諸國のやうに狡猾な利權獲得によつて支那を喰ひ物にしよふなどといふ邪心がなかつたからである。併し日清戦争では幾つかの小さな權益を得、その後義和團事件によつて列國と同様の權益を與へられた。即ち北京、天津地方の駐兵權、内河航行權、治外法權、内地旅行權、貿易の自由、開港場設定等であるが、更に我國特殊なものとしては、天津、漢口、重慶、沙市、蘇州、杭州、厦門等に租界を持つほか、明治三十一年に福建省を不割讓地とし、大正四年には福建省沿岸に外國に對し軍事施設を許さないやう誓約せしめ、十一年には、世界大戦によつて我軍の占領した青島の獨逸租借地を支那に還付した代償として、山東首を不割讓地と定めた。

口の間中に位し、人口五萬の小都會。商業も差して盛ならず、物産の見るべきものなし。附近に大觀亭、迎江寺等の名勝古蹟に富む。

**威海衛** 山東半島の北部尖端近くにあり。日清戦争の際我が艦隊が北洋艦隊を全滅せしめし所。明治三十年英國租借地となりしが、大正十一年華府會議によりこれを支那に返還す。されどなほ英人の土地永代租借權残り。人口十萬。開港場なるも貿易あまり盛ならず

**吳淞** 上海の東十八軒弱にある開港場で、上海に寄港

經濟方面では、米國ミシガン大學のC・Fリーマ教授の調査によれば、明治三十四年には百萬弗、大正三年には二億一千九百六十萬弗、昭和六年には十一億三千六百九十萬弗（これには對滿投資を含むから、それを除くと四億九千四百二十萬弗）となつてをり、列國總對支投資額の約三割五分を占め、英國とほゞ匹敵するものである。その後滿洲國が獨立したので、我が對支投資額は一時に減少したが、然も年々これを加へて行き、昭和十一年には十三億元となり、事變直前では十六億元に上り、英國に次ぐ第二位（約英國の半分）となつた。その中で十億四千萬圓が借款であり、更に内八億圓は我が政府及び銀行會社が中央政府に貸したものの元金及び延滞利息及び團匪賠償金、山東鐵道補償金、山東鹽業及び公有財産補償金國庫證券等である。この八億圓のほか、地方政府及び個人に貸したものが約二億四千萬圓あり、これを貸主で區別すると、我が政府持の分が約三億八千萬圓、民間持のものが六億六千萬圓である。このほか我が國民が支那に事業投資してゐるものは凡そ五億六千五百萬圓と推定せられ、そのうち商業貿易資金約二億四千萬圓、製造工業（主に紡



する船舶の碇泊地。砲臺あり、揚子江の支流黃浦口の出口を扼する要害の地。昭和七年の上海事變にも我軍に占領されたが、昭和十二年八月三十一日再び皇軍に占領さる。

雲南 昆明の項を見よ。

永定河 北京の西約十料の地點を南に流れ、天津西北方で白河に合し海に注ぐ。河幅は北京、天津の中間で河床七百米、水幅百米乃至百五十米。水浅く、流れ急で舟行なく、降雨の時は急に増水し屢々氾濫す。蘆溝橋はこれにかゝる橋である。

績業) 投資二億三千萬圓、金融業六千五百萬圓、航運業二千萬圓、鑛山業一千萬圓となつてゐる。これ等事業投資は事變によつて大損害を蒙つたが、その後着々復興してゐるのみか、北支、中支に新たに投資されたもの及びその豫定のもは莫大な數字に上り、こゝ數年を経れば英國の投資額を遙かに凌駕してしまふだらう。

支那に於ける我が紡績業

支那は綿布の大なる消費國である。故に英米獨は早くから紡績業をこゝに起す事に着目したが、我が國が初めて着手したのは明治三十五年である。三井洋行が支那人經營の大純紡績を買収し、これを上海紡績第一廠とした。その後支那内地に紡績工場を設けようとする者が我が國にも漸次増加したが、世界大戦の際これが一大飛躍を遂げた。即ち大戦中には、内外、上海、日華の三會社十工場にして四十萬鍾に過ぎなかつたが、大正十五年には十五會社百二十五萬七千鍾となり、その投資實に二億圓に達した。然もその後も益々發展の一路を辿り、事變前には二百三十餘萬鍾

が、この附近では河床が土地よりも二米高い。

海口 海南島の北岸にある港で島中第一の都會であるが、港内砂洲多く、航路狭く、ために旅客や貨物の揚卸が不便だが、他に良港もなく、支那大陸に近いので發達してゐる。

海州 江蘇省の北部黃海沿岸附近にあり、人口二萬。附近に連雲港あり、隴海鐵路の起點として發達し、棉花その他農産物の集散地たり。

開封 河南省の首府。隴海線に沿ひ、人口二十萬乃至

となり、我が在支投資事業中第一位を占めるのみか、支那資本をも壓して斷然紡績界をリードするに至つた。

昭和十一年度支那紡績業比較

	工場數	機械數	鍾數(千)	綿布製産額	割合
支那人經營	九三	二二、四六一	二、九五	九、二六五	三七%
日本人經營	四九	二一、四四三	二、二四三	一四、一九四	五七%
英國人經營	三	二、八九一	一八八	一、六七五	六%
總計	一四五	四六、七九五	五、三八二	二五、一三四	一〇〇%

此の我が在華紡二百三十餘萬鍾中、上海にあるもの百四十萬鍾、青島五十五萬鍾、天津三十六七萬鍾、漢口三萬鍾といふ分布であり、日本内地の紡績業を總計して我が資本系統にある總鍾數一千二百萬鍾に對し、在華紡は實に二割に相當してゐる。而して上海には、内外綿、大日本、上海製造絹糸、上海紡織、日華紡織、裕豐紡績、東華紡績、豐田紡績、同興紡織の九社あり、青島には、内外綿、大日本、上海製造



二十五萬。昔より魏、後梁、晉、漢、周、宋、金等はみなこゝを首都とす。城の内外に官衙、兵營、學校等あり、鐵塔寺、相國寺その他名勝古蹟多し。穀類、絹織物、綿布等を産す。

海南島 支那の極南雷州半島の先、南支那海中にあり廣東省に屬し、面積二百七十里、臺灣より約三百七十里、五指山を中央に馬鈴薯の形をし地は高くはないが一帶に山地をなし、森林深く、平地は海岸近くに僅かあるのみ。人口約三百萬人。山中に黎族、苗族等の

絹糸、上海紡織、豐田紡績、富士瓦斯紡績、長崎紡績、日清紡績の八社、漢口には泰安紡績等があり、そこで働く日本人従業員は、上海が男子千四百九十九名、女子九十五名、青島では男子六百七名、女子六十名、漢口では二十二名であるが、これ等は主として監督の地位にあり、職工の大部分は支那人であつた。これ等は一時破壊せられ、青島の如きは最も被害が大きかつたが、今や着々復興しつゝある。

英國の對支權益は何程あるか

英支を結ぶ最初のものは天保十一年から十三年(一八四二年)まで續いた阿片戰爭による。當時の清朝政府が國民を毒する阿片の輸入を制限しようとする、それまで印度の阿片を賣込んで巨利を博してゐた英國が怒つて戰爭を吹きかけた。隨分無茶な話だが、その結果として香港を割讓させ、上海、廣東、廈門、福州、寧波等を開港させた。次いで嘉永四年長髮賊の亂に乗じて上海その他の海關行政を獨占し、安政三年には商船アロー號國旗侮辱事件に借口して英佛聯合軍を送つて廣東、

先住民族約二十萬あり他は漢人。米は年に二度産し、鹽一十萬元産出。金、銀、鐵、錫、アンチモニー、石炭等の無盡藏の鑛山あるも未だ殆んど採掘せず。カリ、紫檀、黒檀、チーク等の硬質木材全島を蔽ふ。北に海口、南に榆林等の港あり。明治卅一年佛國との間に不割讓條約、大正五年米國との間に鐵道建設先取權等の條約あり。南支作戦上重要な島なるを以て昭和十四年二月十日皇軍海口、榆林の一部を占領す。

開灤 河北省東北開平附近にある炭坑。埋藏量三億

天津を占領し、芝罘、汕頭を開港させ、治外法權などの權益を得た。次に萬延元年香港の對岸九龍半島を租借し、天津を開港させ、明治三十年には威海衛を租借し、義和團事件には更に上海、廈門の共同租界及び駐兵權、内河航行權を得、なほこの他に天津、廣東、蕪湖の租界、舟山列島、雲南省西南部のメコン河左岸各地及び揚子江流域を不割讓地とする等の權益を得た。このうち威海衛は昭和五年に支那に還付し、小さな所の租界も二三返したが、なほ今日でも政治的權益の多いことでは列強中第一である。従つて經濟的對支投資もまた第一である。リーマ教授の調査によれば、明治三十四年には二億六千萬弗で列國總投資額の三割三分に當り、大正三年には六億七百萬弗、昭和六年には十一億八千九百萬弗(三割六分)に上り、我が東亞經濟調査局の調べでは、昭和十二年に三十四億千四百四十萬元(五割六分)に達してゐるといふ。今リーマ博士の調査のみで云へば、十一億八千九百萬弗中、借款は二億二千五百餘萬弗、事業投資が九億六千三百餘萬弗である。そのうち借款は八千萬弗が一般目的のもの、六千餘萬弗が廣九、京滬、滬杭、道漢、京漢、津浦、北



噸、年産額五百萬噸。製鐵用として良質なり。我國は毎年百萬噸を輸入す。事業は英支合辦なるも、近くわが北支開發會社の支配下に移る筈。

岳州 湖南省の東北部、洞庭湖と揚子江の合流點にある開港場で粵漢線に沿ふ。昔岳陽と呼ばれた古都で、人口三萬餘。鐵、絹、茶等を産し、武漢より奥地への中繼市場として榮え、年二千數百萬兩の貿易を營む。昭和十三年十一月十一日皇軍入城す。

嘉定 上海附近にあり、道

寧、粵漢線等の鐵道借款であり、事業投資は、貿易に二億四千萬弗、不動産に二億二千萬弗、製造工業に一億七千五百萬弗、運輸業に一億三千四百萬弗であつて、支那事變に對し英國が神經過敏になるのも肯けるわけである。

### 米國の對支權益

嘉永六年米國は我が國の浦賀に黒船を持つて來た以前から支那と貿易し、我が國に來たのも、要するに支那貿易の中間的足場を求めた意味に他ならなかつた。所がその後米國は南北戦争といふ國內戦争のために海外に手を出してゐる餘裕がなく、それが治まつて漸く眼を海外に向けた頃かの有名な國務長官ジョン・ヘイが支那に於ける門戸開放と機會均等を列國に主張したが、一八九九年、明治三十二年、要するに列國が支那を分割しようとするのを獨り指をくはへてゐるに忍びず、一寸容喙してみたまでであつて、猶米國自身が新しく支那に權益を求めようとする積極的な氣持はなかつた。それは一言に盡せば、まだ海外に手をのばす餘裕がなかつたから

路四通發達し、交通上の要衝なり。人口五六千。珍しき圓形の城廓に圍まる。

漢口 揚子江を溯る六百餘海里の上流の左岸にあり、長江を隔て、武昌、漢水を隔て、漢陽と鼎立する開港場で、人口約百萬、支那本部の中心に位し、支那有數の大都會。京漢線の終點にして水陸兩用の運輸交通の便あり。事變前には邦人千七百餘名、外國人約四千名あり。市街は長江に沿ふて細長く連ること五哩、南端に外國租界あり、我が租界内には總領事館、居留民團、明治小學校、商業會議所、

である。米國は當時まだ歐洲諸國から資本を借入れて國內の資源開發に忙しく、新しい産業から得た利潤も國內で消費してしまひ、外債を返す餘裕がなかつた。従つて英佛獨露等が或は租借地を得、或は鐵道を敷き、貿易上でも多くの利益を擷取してゐたのをも拱手傍觀せざるを得なかつた。日露戦争に際し米國が我國に對し異様な好意を示したのも、弱きに味方するヤンキー氣質もさる事ながら、日本の力で支那に於ける露西亞の勢力を壓迫し、その隙に乘じ込まうとの魂膽であつた。故に彼は戦後滿鐵が我が有に歸するや直ちにその買収に乗出し、將に目的を達しようとしてさへした位である。併し當時なほ米國は積極的に支那へは働きかけなかつた。立ちおくれた相撲で、割込む餘地がなかつたからである。従つてジョン・ヘイの提言にも拘らず、それを楯に列國に容喙することもなかつた。所が歐洲大戰で一度に外債を返した上、なほそれに數百倍する金を歐洲諸國に貸すやうになり、經濟的に斷然實力を持つやうになつたので、戦争のため英佛等が支那から一時後退した隙に乘じ、ダン／＼支那に金を注込んで幾多の利權を得た。彼は今更領土的によい土地もなく、



漢口クラブ、日本病院、日清汽船その他銀行會社の支店あり、古くから中支に於ける邦人發展の據點たり。昭和十三年十月廿七日皇軍占領。

**廣東** 廣東省の首府、南支第一の都會。實の名は廣州市といふ。人口七十萬餘。州政府、市政府等の諸官衙及び飛行學校、飛機製造廠、飛機修理廠、廣東行營、海軍根據地等あり。市中英佛租界及び諸外國領事館軒を連ぬ。國民黨發祥の地にして孫文在世時代長く國民政府あり、その後胡漢民等南方派の廣東政府が置かれた

鐵道も數く餘地がないので、専ら文化事業に投資した。即ち病院、學校、教會等の公益事業から、金融、通信、航空、自動車路の建設開拓に力を盡し、その投資額は、公益事業に三千五百萬弗、銀行、交通、貿易、製造等に一億數千萬弗、合計一億五千五百萬弗（昭和六年現在、リーマ教授の調査に依る）である。併してこれは英國投資の六分の一、我國投資の五分の二にしか過ぎず、その對支貿易も合計一億三千八百萬弗（一九三六年）あり、列國を通じて我國に次ぐ第二位を占めてはゐるが、米國の全貿易に對しては僅かに5%にしか當らず、對日本貿易の三分の一に過ぎない。また政治的にも上海、鼓浪嶼兩地に共同租界を有し、義和團事件により天津地方に駐兵權を有し、一般的治外法權、内河航行權等を僅かに有するのみで、立ち後の觀は蔽ふべくもなく、だからこそ米國はちかごろ新しい勢力扶植にヤツキとなつてゐるのである。

**獨逸の持つ對支權益**

由緒深い地。開港場なるも今は香港に繁榮を奪はれて昔日の倂なし。併し粵漢線と廣九線の連絡地點でもあり、對外、對内貿易が盛なり。

**漢陽** 漢陽は漢水が揚子江に注ぐ合流點にあり、武昌と共に歴史上名高い都。人口四十萬と稱するも實際は十萬内外しかなく、今ではその繁榮を漢口に奪はれたるも、なほ商工業地として名高く、殊に漢陽製鐵所、及び支那第一の兵工廠等があり、軍事上重要な地。昭和十三年十月二十七日皇軍に占領さる。

獨逸が支那に働きかけたのは約七十年前からの事で、明治二十八年に天津、漢口に租界を持ち、同三十年に膠州灣を占領して青島一帯を租借し、津浦、膠濟、粵漢等の鐵道にも投資し、世界大戰前には英國、ロシアに次ぐ第三位の經濟的進出（投資額二億六千三百萬弗）をしたものであるが、世界大戰の時支那から宣戰を布告され、租界や租借地の權益を全く失つたばかりか、内河航行權、治外法權まで放棄するの止むなき状態となり、經濟的利權も次々に失つてしまひ、昭和六年頃には、米國のC・F・リーマ教授の調査によれば投資總額八千七百萬弗、列國投資額の二分七厘にしが當らぬ状態となり、内一千二百萬弗は政府借款であり、他は事業投資であつた。所が最近になつてメキ／＼とその額を増し、活潑に材料借款を行ふ側ら、歐亞航空公司を設立する等、昭和十一年には二億七千萬元の投資額で、列國總投資額の四分四厘となり、更にその後二億マルクの借款をして日英兩國に次ぐ第三位の投資國となり、上海の德華銀行を中心到大活躍を開始してゐたが、事變後は徒らに自國の權益を守らうなどとはせず、悉く我國の行動を支持してゐる。



**咸陽** 陝西省西安の西北にあり、渭水に沿ひ、秦の始皇帝が一時都を置きし所に於て大道四通し、四川、甘肅兩省の物産を集散するに便す。大道の兩側に柳を植ゑ、翠色滴る如し。「渭城の朝雨輕塵を過し、客舍青青柳色新なり、君に勸む更に一杯の酒を盡せ、西陽關を出づれば故人無し」の名詩はこれを謳つたもの。人口三萬。漢代渭城と呼ぶ。

**綏化城** 綏遠省綏遠の東北約一里の所にあり。人口十萬。古來商業極めて盛にして、その年貿易額三千萬圓

フランスの在支既得權益

フランスは英國が天保十三年（一八四二年）に阿片戦争で支那に乘出したのを羨み、安政三年（一八五六年）フランス宣教師殺害事件その他に名を借りて英佛聯合軍を以て廣東、天津を占領し、天津條約を結んで布教の自由、内地旅行の自由、貿易保障、開港場設置等の權利を得、その頃屬領とした印度支那を足場として南支に利權と富源を漁り、明治三十一年廣州灣を租借し、天津、廣東、漢口、上海等に租界を設け、治外法權、内河航行權を得たほか、海南島及び廣東、廣西、雲南三省を不割讓地たらしめた。一方經濟的にも大いに進出をはかり、英國の活躍を牽制すべく、ロシア、ベルギー等と連繫して各種政治借款や鐵道借款をし、世界大戰前には一億七千萬弗、列國投資額の一分に當る投資をし、猶大いに進出しようとしたが、大戰のため日米に追越されてしまひ、昭和六年にはリーマ教授調査によれば一億九千二百萬弗（約六分、世界第五位）で、内九千七百萬弗は政府借款、残りは津

に上り、内蒙第一の市場たり。

**九江** 江西省の北端にあり上海より四百四十五浬溯つた揚子江の右岸に臨む開港場にして、江西省の門戸をなす。市街は城の内外及び舊英租界より成り、人口五六萬人。事變前には邦人も七十名ほど居住し、我が領事館あり。南昌に通ずる南潯鐵路の起點をなし、仲繼貿易盛にして、揚子江中二三位の貿易港たり。南潯鐵路とは九江、南昌間の鐵路にして、潯とは九江の事。昔この地を潯陽と稱す。白樂天の琵琶行に「潯陽江頭

浦、正太、隴海、滇越等の諸鐵道及び鑛山關係に投資してゐる。その後その投資額は昭和十一年には三億二千六百七十萬元にまで増加し、最近も大いに進出しようとしてゐるが、國力の衰退に厄ひされて思ふにまかせぬものゝやうである。

各國の援蔣ルート

ソ支を結ぶ赤色ルート

ロシアと支那とを結ぶ道は、その昔は東支鐵道と南滿洲鐵道とであつたが、日露戦争の結果滿鐵が我國の所有となつたので、東支鐵道の使命は著しく減少した。然も滿洲國が獨立してしまつては、東支鐵道は愈々存立の意義を失つたので、ソ聯はそれを潔く滿洲國に賣つてしまひ、滿洲方面からの支那への道は全く斷念してしまつた。併しソ聯が支那に南下しようといふ事は帝制時代からの傳統的國策で、ソ聯も革命直後の忙しい中から支那に手を延ばし、國民黨と握手して支那革命を成



夜客を送る」とあるは此地の事なり。白樂天の詩に因める古蹟多く、附近に廬山ありて遊客また多し。

**九龍** 廣東省九龍半島の尖端にある小市街にして英領香港の島と相對す。萬延元年（一八六〇年）北京條約によりて英國に割讓されしが、明治三十一年に至り、その附近一帯の半島（九龍より三十五軒北の深洲附近まで）及び附近の島嶼と共に九十九年間英國の租借地とせり。市中港灣あり、香港と連絡し、廣九鐵路の終點にして、香港に輸入せら

就した。これは蔣介石のクーデターによつて中斷された形であつたが、ソ聯はなほ残る中國共產黨及び共産軍を手がかりに支那全土赤化の手を弛めず、不屈の努力を續けた。そのためには支那本部への聯絡路を作らねばならぬので、先づ外蒙古を手に入れ、これをソ聯の屬國同様にしてしまひ、こゝを縦斷して支那への道をつけた。第一はシベリヤ鐵道中バイカル湖東方のウラングダから外蒙の首都庫倫（ウランバートル）に出で、南下して内蒙に至り、これを東に横斷して察南の張家口から北京に出る道である。なほこの道は内蒙古の途中から岐れて山西省の北、黄河河畔の包頭に出で、黄河の水運によつて南下し隴海鐵路に連絡しようといふものである。この道はなほ一方、外蒙の東部から岐れて外蒙を横斷し、ソ聯内に入つてトウルクシプ鐵道の要衝セミパラチンスクに達してゐるが孰れも支那への出口は同じである。併しこれ等の道は、支那事變勃發以來、皇軍によつて瞬く間に張家口も包頭も占領せられ、完全に道を遮斷されてしまつた。第二の道は、トウルクシプ鐵道のセミパラチンスクから少し南下し、セルキオボルから東に向つて外蒙の塔城に入り、東進

れた物資を支那内地に集散する門戸をなす要衝たり。

**居庸關** 河北省北部、北京の西北に位し、南口の北五哩の地にあり、萬里の長城に近く二つの大山聳え立つ中に一本の細い道ありて僅かに察哈爾省に通ずるのみにして、此の天嶮は古來一夫關に當るや萬夫も開くなしと稱されし所。然るに皇軍は昭和十二年八月攻撃一日にしてこれを抜く。

して虜化を通り、天山山脈北路を通つて甘肅省に入り、蘭州を通過して陝西省の西安に出るもので、これこそ現在殘されてゐる唯一の赤色ルートである。この道は延長四千三百九十一軒（約千百里）あり、昔は駱駝しか通らなかつた道であるが、ソ聯は數年來銳意道路建設に努力し、遂に自動車を通じ得る軍用道路を完成したのである。これが出來てから陝西省に逃込んだ支那共産軍は急に活氣を呈し、張學良をそののかして西安事變を起した後、遂に西安を赤色の都として自から尻を落着けてしまつた。故に我が空軍は此の赤色ルートを壊滅すべく、連日のやうに西安や蘭州を爆撃してゐるのである。

英・米・佛の援蔣ルート

ソ聯は別とし、國民政府を援助するものは英、米、佛の三ヶ國である。事變直後にこれ等三國が用ひた援蔣ルートは、第一に上海であつた。上海にはフランス租界があり、英米等の共同租界がある。支那事變は宣戰を布告してないから、我が海軍



て外蒙赤軍の根據地たり。ソ聯はバイカル湖の東方ウラングデより此處に通ずる鐵道を計畫し目下着々工事中。外蒙古に於ける政治的軍事的、經濟的中心地たるのみならず、ソ聯が支那本部に延ばす魔手の本據地とする所なり。

桂林 廣西省東北部に位す宋代より省城のありし所に於て、省政府を南寧に移され、省政府を南寧に移されてより政治の中心地たる位置を失ふ。されど人口十萬あり、廣西省第一の都會にして商業極めて盛なり。黃河 北支第一の大河。源

が非常な努力を拂つて全支沿岸を海上封鎖したと云つても、明らかに第三國の汽船はその航行を止めるわけに行かない。船内を検査する權利もない。また租界を封鎖することも出来ない。こゝが彼等の附目である。彼等は上海のフランス租界を根城として盛に武器彈藥を支那軍に供給した。そして戰線が南京から漢口にまで擴大しても猶且揚子江の航行を自由にせよとタワゴトを云つてゐる。これは我國の斷乎たる拒絶にあひ、今は全く上海の道は封じられてしまつた。

次には香港である。これは英領の島ではあり、對岸の九龍半島も英國で租借してゐるので、各國は香港から廣九鐵道及び粵漢鐵路によつて武漢へ武器を運んだ。だから我が海軍航空隊は、或は廣東を、或は粵漢鐵路を連日爆撃したが、彼等は次々に修理しては貨車を通した。そこで終に我國の南支作戦となり、廣東及び廣九鐵路沿線を占領して、この道を遮斷した。そこで止むなく次に考へられたのは佛領印度支那の河内から廣西省に入る道と東京地方を横斷して雲南省に入る道とである。前者は廣西省及び湖南の長沙には行けるが、廣西省は今なほモンロー主義の空氣

を青海省バインカラ山脈の北麓に發し、甘肅省に入り寧夏省を縱斷北流して綏遠省に入り、東流して包頭に至り、此處より直角に南流して陝西省と山西省の境を下り、山西省の西南端で更に直角に屈折し汾水を併せながら河南省との省境を東に進路を變へ、山東省の中央を貫いて渤海灣に注ぐ。その全長四千三百餘里、世界第十二番目の大河なり。本支流合せて流域の平野九十六萬方里に達し、北支一億の人口を養ふ。北支の文明は太古よりみなその流域

が濃厚であり、長沙は支那軍が自ら焼き拂つて撤退したので、國民政府に直接響く所が少い。だから後者をとつて雲南省の昆明に出、北上して重慶に至る自動車路をとるより仕方がない。フランスはこれ等の道に鐵道敷設の權利を得、工事にかゝつたとか掛らうとしてゐるとかいふが、なか／＼早急の間にあふものではない。然も我軍の海南島占領で河内や廣州灣にまで睨みを利かされ、形勢頗る不利となつてしまつた。

第四の道はビルマである。その南端のラングーンに陸揚げし、鐵道で北上し、マシダレーを通つてミツキナルに出で、こゝから東して雲南省に入り、大理を経て昆明に出ようとする道である。英國は五十萬磅のクレジットを設定し、ミツキナル昆明間の鐵道敷設の權利を得、既に着工したといふが、これまた容易なことではない。目下は自動車路によつて懸命に貨物を輸送してゐるやうであるが、雲南へ入つてからの道路は甚だ狭くて悪く、到底多くの貨物自動車を通す力はないといふから、如何に躍起になつてもその輸送能力は知れたものであるらう。



に淵源を發し、夏、殷、周より漢、唐、清に至るまで悠々三千年の歴史は此處に生長す。河北、河南、山東、江蘇、安徽等の平野は實に黄河の流せし土砂の堆積によりて生ぜしものにして、その昔太平洋の波は山西の山々に打寄せたりと云へば以て黄河が支那文明及び支那富源の生みの親たるを知るべし。八十年前までは開封より東北に屈折せず、眞直に東流し、山東半島の南方、江蘇省の中央を横斷して黄海に注ぎしものにして今猶その跟踪を止む。水は西方の黄土を流して黄色

### 佛領印度支那はどんな所か

皇軍が廣東を占領すると、今迄の武器輸入路香港との連絡を斷たれた支那は、佛領印度支那の北部河内から廣西または雲南省への武器輸入路を求め、佛國又大いに肩を持つてゐるといふ。一體この佛領印度支那は、昔は支那の勢力圏にあつた安南國が中心をなしてゐたが、佛國は一六八七年に通商を結び、うまく取入つたり武力で脅かしたりした揚句、先づ南端の交趾支那を奪ひ、續いて北方の東京地方を取り安南、カンボジア、ラオス等を併せて今日の佛領印度支那聯邦を組織したのが一九〇七年（明治三十九年）である。支那の南からシヤムの東に當り南北に延びた土地で、面積七十四萬平方キロで、我が全領土にもう一つ北海道を加へた位の大きさである。人口二千百餘萬人、そのうち安南人が千五百萬人で、他にカンボジア人、タイ族、インドネシア族、支那人、シヤム人、印度人等がある。南部は米を豊富に産し、中部は肉桂、砂糖、茶の産多く、北部は石炭、亜鉛、錫、タングステン、金、銀、

を呈し、海をも黄に染め、黄河、黄海の名を得しものにして、黄土層の堆積は農作物を無限に養ふに足り、天然の肥料と稱さる。但し黄河一度氾濫すれば數十萬の人命を奪ひ、數萬方料の沃野を一望の泥海と化し去る故に古來黄河を治むる者は支那を治むと稱され、歴代の政府その治水に力を注ぐと雖も猶よく目的を達し得ず。徐州の敗戦に亂心せる蔣介石は昭和十三年六月黄河の堤防を破壊して我軍の進撃を阻み、ために難民十萬に達す。國民政府漸く民心を離るゝも亦黄河を治め

銅、アンチモニー等の鑛産物及びチーク材、紫檀、黒檀、カリン等の硬質木材が産する。米は百三十八萬噸、輸出品の最高位を占め、石炭は無煙炭が多く平産二百萬噸、その三分の二は輸出する。佛國はサイゴンに印度支那總督をおき、大體に於て自治制をとらしてゐるが、我が支那大陸進出に對しては、皇軍がこゝまでも進むかのやうに宣傳して反日宣傳をするので、住民の反日氣分は濃厚である。

### ビルマはどんな所か

ビルマは東をシヤム、支那の雲南省等に接し、西は印度に連なり、北は支那の西康省と境してゐる。面積六十八萬平方キロ、我が國の總面積とほぼ同じ位である。大體菱形であるが、東南の一部分が馬來半島となつて細長く南に延びてゐる。土地は幾條かの山脈が南北に縦走して西康省にまで延び、その間を幾條かの川が北から南へ流れてゐる。人口は約千五百萬人で、アジャ人種のビルマ人九百萬、印度人百萬、その他シヤム人、雲南人、支那人等種々な種族が住んでをり、佛教を信仰してゐる。



得ざりしに因る。

杭州 上海の西南、杭州灣の西奥に位す。浙江省の首府にして錢塘江及び大運河に臨み、市街は城内、城外、外人居留地より成り、人口三十萬。蘇州と共に養蠶の中心地を周圍に持ち絹織物の産額多く、綿糸布、雜貨、米等の取引盛なり。明治二十九年より開市場となり、我が領事館あり。滬杭甬鐵路の終點にして又杭甬鐵路の起點たり。昭和十二年十二月皇軍これを占領す。

農産物は、米、棉花を主とし、兩方とも相當產出し、棉花は所謂印棉と稱して我國に輸入される。鑛産物には、鐵、マンガン、亞鉛、鉛、錫、タングステン、砂金、石油等があり、いづれも相當豊富な埋藏量を持ち、鐵、石油は殊に多い。ビルマは目下英領である。英國がこれを手に入れたのは約五十年前の一八八六年である。彼は一八二六年頃からビルマに働きかけ、幾度か戦ひ、六十年かゝつて漸く併呑し、英領ビルマ州として印度の一部分のやうに取扱つた。併し印度とビルマでは人種が違ひ、宗教も違ひ、政治、經濟、文化共に相違點が多いので、ビルマ人は早くから印度と分れる運動を續けてゐたが、世界大戰後は殊に猛烈になつたので、大正十二年漸くビルマを印度の自治州とした。けれどもビルマ人は此のやうな胡麻化しに満足せず、頻りに分離を主張し、昭和十二年四月、遂にその目的を達したのである。併し彼等の眞の目的は印度からの分離だけにあるのではなく、完全な自治、或は獨立にあるので、昭和十三年來度々猛運動を繰返し、昭和十四年になつて騷擾事件を起してしまつた。其處には英國がビルマを援蔣ルートとした事に反對する意味も含

まれてゐるから面白い。目下は自治領と植民地との中間にあり、印度同様に總督が英國から派遣されてをり、國防、外交、その他重要な事に關しては拒否權を持つてゐる。ビルマと我國との關係は決して悪くなく、彼の棉花、鐵、マンガンを買ひ、我が綿布、人絹、雜貨等を賣つてゐるが、それは三對二の割合で、我方の輸出超過である。昭和十二年には印度同様に割當制を實施され、綿布四千二百萬ヤードの輸出に對し、棉花七萬俵を輸入することになつてゐる。

### 歐米の軍艦は支那にどの位ゐるか

第一に擧げるべきは英國で、支那艦隊、長江方面河用砲艦隊、及び東印度艦隊の三つを持つてゐる。支那艦隊は巡洋艦五、驅逐艦十、潜水母艦一、潜水艦十五、スloop艦といつて通報その他の任務に當るもの五、航空母艦一、他に特務艦數隻で、香港とシンガポールを根據地としてゐるが、現在は上海、香港、廣東、厦門、汕頭、閩江、威海衛、芝罘、青島方面に配備されてゐる。長江方面河用砲艦隊は十八隻の

漏斗形の灣にして、灣口に舟山列島あり。灣の奥に錢塘江流入す。河口と灣内の水位に大差あり、爲に定期的に大海嘯を起すことにて有名なり。灣内は概して遠淺にて大船を入るゝに便せず、その上潮の干満甚だしく潮流また速し。されど皇軍は昭和十二年十一月五日北岸に奇襲上陸を敢行し、上海の背後を突きてその陥落を速進せしめたるほか、南京に直進してこれが占領の因をなす。

膠州灣 山東半島の南岸にあり。青島の項を見よ。



廣州灣 廣東省南部雷州半島の中央東岸にあり。明治三十一年フランスの租借地となる。

黃浦口 江蘇省南部を流る揚子江の支流にして、下流に上海あり、揚子江との合流點に吳淞砲臺あるを以て名あり。

昆明 雲南とも云ひ、雲南省の首府。昆明湖に臨み、海拔千九百二十米の高原にあり。市街は城壁に圍まれ内外に十一二萬の人口を擁す。官衙、學校、軍事機關等あり、我國を初め、英佛伊等の領事館あり。開市場

砲艦から成り、南京、通州、九江、漢口、長沙、宜昌、重慶等に配備され、東印度艦隊はセイロン島のコロンボとツリソコマリに根據地を置き、巡洋艦三、スループ艦四と數隻の特務艦から成り、印度方面の警備に當りながら極東に眼を光らせてゐる。なほこの他、一朝有事とあらば直ぐ馳せつけるものに、オーストラリアの艦隊がある。これは巡洋艦四、驅逐艦十、水上機母艦一、その他二あり、ニュージールランドに巡洋艦二、スループ艦二、水上機母艦一がある。

米國のアジア艦隊は根據地をフィリッピンのマニラに置き、甲級巡洋艦一、驅逐母艦一、驅逐艦十三、潜水母艦一、潜水艦六、補助航空母艦、水上機母艦、特務艦等數隻あり、別に支那沿岸警備のために砲艦三、河用砲艦八、ヨット一を持ち、上海、南京、九江、漢口、重慶、廈門、汕頭、廣東等に配備されてゐる。フランスの極東艦隊は、巡洋艦二、砲艦八、河用砲艦十、その他八から成り、サイゴンに根據地を設け、上海、南京、漢口、重慶、廣東、香港、塘沽等に配備されてゐる。

にして商業また盛なり。蔣介石の最後の逃場として、河内及びビルマ等からの英佛の援蔣ルートとして最近その名を知らる。

濟南 山東省の首都。黃河右岸に臨み、周圍六里餘の外城に圍まれ、八つの門によりて外部に通ず。城内官衙、軍事機關、學校等あり人口四十萬。商業盛にして事變前には邦人三千人が居住せり。津浦線に沿ひ、膠濟線の終點たり。韓復榘この地に據り長く山東モンロー主義を唱へたるも、遂に我に抗し、昭和十二年十二

イタリーの極東艦隊は、巡洋艦一、砲艦一、河用砲艦一である。ソ聯は浦鹽に極東艦隊の根據地をおき、潜水艦七十、驅逐艦數隻、海防艦二、その他五十、高速艇約八十を持つと云はれるが、確かな所はわからない。これ等全部を合せても我が海軍に及ばない。因に支那の海軍は今や皆無である。

### シンガポール軍港の使命

シンガポールは馬來半島とスマトラ群島とによつて太平洋と印度洋とを遮斷した極く僅かな通路の中央に立塞がる島であつて、英領海峽殖民地の首府であり、太平洋航路隨一の要港である。太平洋から印度洋へ、歐洲やアフリカへ、歐洲、アフリカ、印度等から太平洋へ出ようとするには、どつしても此處を通らねばならず、その八割は必ずシンガポールに寄る。かういふうまい所に英國が大軍港を建設した。軍港は前からあつたが、大正十二年に大擴張計畫を樹て、その後屢々計畫を變更し、變更する度に大規模なものとして行き、兵器を除いて、一千百萬磅の豫算を計



月皇軍に占領さる。  
**沙市** 湖北省の中央、揚子江に臨み、漢口より更に溯りたる所にして、開港場なり。人口十數萬を擁し、米、麥、棉花、桐油、綿布等の集散地として重要な地位を占む。  
**關北** 上海の北停車場及び商務院附近一帶支那人街の名にして共同租界の北にあり、日本人街に極めて近く北四川路、わが海軍陸戰隊本部等最も近し。なほ關北内には日本人工場、日本料亭六三花園、日本人墓地等あり。市街の道路複雑を極

上し、更に二千萬磅を追加し、合計三千百萬磅（邦價の五億二千萬圓）の巨費を投じて建設した。起工以來十五年、まだ完成に至らないが、間もなく完成する筈で、昭和十三年二月には米國の巡洋艦三隻を迎へて盛大なる大船渠完成式を舉行し、なほ陸海空三軍合同の立體的演習を行つた。軍港のことはもとより秘密であるが、五萬五千噸の巨艦を收容し得る浮ドック、及び五萬噸の巨艦を收容し得る乾船渠を二つ持ち、港内には英國の全艦隊が悠々眠り得るだけの廣さを持ち、巨大な砲臺を背景に持つことは云ふまでもなく、近くのセラター村に空軍の大根據地を設け、彈藥庫、石油タンク、格納庫、兵營等は悉く地下に埋藏し、陸軍の大部隊をも收容し得る設備を整へたらしい。こゝは前述のやうな要路にあるので、東から西へ通らうとするものを遮断するばかりでなく、屬領オーストラリア、ニュージラランド、南洋諸島、香港、印度等を守るばかりでなく、極東をも睥睨してゐる。擴張に次ぐに擴張を以てした英國の眞意が那邊にあるか、然も船渠完成式にわざわざ米國軍艦を招いた眞意が那邊にあるか、蓋し想像に難くない。

グアム島の防備問題

め、建築物堅牢にしてトーチカの用をなし、再度の上海市街戦に我軍の最も苦戦せる所なり。  
**三亞** 海南島南端にある地にして榆林港に近く、昭和十四年二月十四日我軍こゝに上陸占領す。  
**山海關** 河北省東北隅にあり、海に面し滿洲國と境する所。萬里の長城これより起るを以て有名なり。又歴史上に聞ゆる天嶮の古戰場なり。  
**上海** 江蘇省にあり。揚子江の下流に注ぐ黃浦口を溯ること十三哩の左岸にある

米國では五千萬弗の巨費を投じてグアム島の防備を強化する案を樹て、議會の承認をもとめた。これはどんな意義があるか？ グアム島は我が委任統治地たる南洋マリアナ諸島の眞只中にある面積二十六平方哩、我が隱岐の島に毛の生えたほどの小島であり、昔はスペイン領であつたが、米西戦争の結果二千萬弗で買受けたものである。米國は此處に砲臺を築き、海兵隊兵營、海軍病院、小修理工場、貯炭貯油所、軍用無線電信及び海底電線を設け、若干の海軍航空隊も置いてゐる。併し砲臺は極めて舊式のものであり、港は到底大艦隊を入るゝに足らず、軍事的意義は極めて薄弱である。それを米國は二千萬弗も支拂つて何故これを手に入れたかといへば、米國西海岸からハワイ、フィリッピン、支那へと飛ぶのに、ハワイから比律賓までに、ミッドウエー島、ウエーク島の飛石があるが、もう一つ飛石が足りないのので、その一つとして買ったものである。これに如何に巨費を投じて全島をベトンと鋼



國際都市にして支那第一の貿易港たり又金融文化の中心地たり。市街はフランス租界、日英米等の共同租界を中心とし、これに連なる支那人街、舊市街の南市等を加へ、更にこれに吳淞市、寶山縣をも加へて大上海といひ、總面積八百九十三平方哩、その中に大場鎮も廟行鎮も眞茹も含まれ、外國租界はその中三十三平方哩なり。上海は昔は滬城と呼ばれ、周圍三哩の城壁に圍まれ七ツの門を有せしも、外國租界を設くるに及び、此の城壁は悉く撤去せられ西洋風の近代都市を形成す

鐵で堅めてみても、到底我が海軍に對抗し得る力はないのであるが、然も米國が敢へて巨費を投じて防備強化を圖る理由は、我が對支政策へのいやがらせ、若干の牽制であると共に、對支外交に無關心たり得ないといふ米國の感情を表現したものである。而してこれは軍事的には大した價値はないとはいへ、小笠原まで八百料、東京まで千三百六十料だから、航續力三千料以上の米空軍爆撃機を以てすれば、東京は爆撃圈内にある。その意味で、眼の上のニキビ位の價値はあらう。

### 米海軍の太平洋作戦

大正十三年、當時の米國海軍作戰部長エベリー提督は、米國のモンロー主義を擁護するためには防禦的海軍で足りるが、門戸開放主義を遂行するためには大海軍を保持たねばならぬと云つた。これこそ米國海軍及び米國外交の偽らぬ方策である。世界大戰前及び直後は米海軍は主力を大西洋に置いてゐた。所が滿洲事變以後は急に太平洋へ主力を移し、カリフォルニア、アラスカ、ハワイの三角地點の防備を強化

るに至れり。上海は天保十三年（一八四二年）阿片戰爭の結果開港せられ、弘化二年（一八四五年）初めて英國租界が設けられ、その後米國、佛國等が各自の租界を設け、爾來歐米人の居住者多し。安政元年（一八五四年）長髮賊の亂起り賊徒上海に迫りたるも英軍よく租界を守護せるを以て、爾來支那人にして租界内に安全なる居住を求むる者多く、ために租界は大いに繁榮す。慶應二年英米佛三國は各自租界を併せんとせしも佛國のみ反對し、英米の共同租界よりフランス租界

し、サンフランシスコを太平洋作戦の基點とした。即ち、世界最大の石油産地を背後に控へてこゝに大軍港を建設し、南にサンチアゴ及びパナマ、北にビューゼットサウンド、ダツチハーバーの軍港要港を配し、西に進攻して、ハワイの眞珠灣には米國の全艦隊を收容し得る巨大な軍港を作り、前進根據地としてミッドウエー島、ウエーク島、グアム島及び比律賓のマニラを持つ。然も彼はパナマ運河を極度に活用し、昭和九年の大演習には百十一隻の大艦隊を僅か二日間に通過せしめ、なほ一晝夜で通過し得るやうにと計畫してゐる。その事は太平洋、大西洋いづれへも睨みをきかせるものであるが、殊に太平洋への道に重點を置いてゐることは明らかである。米國がこのやうに太平洋岸に海軍力を集中してゐるのは云ふまでもなく消極的な防備のためではない。米海軍は常に大艦隊を以て渡洋攻撃する演習に浮き身をやつしてゐる。主力大艦隊を以て輪型陣を布きながら堂々渡洋する。その假想敵が何處であるかは云ふまでもない。然も米海軍は味方が絶對的優勢とならない限り手出しをしない。優勢艦隊を以て一擧に雌雄を決するといふのが傳統的作戦である。彼



のみ獨立す。その後租界の繁榮に伴ひ双方とも漸次その範圍を擴張し明治三十四年頃には最初の四十倍となり、共同租界二十二平方哩フランス租界十一平方哩に及ぶ。されど猶狹しとなし大正五年より越界路を作り漸次これを擴め、現在は越界路地區は租界より廣しといふ。人口三百五十萬、その中外國人六萬八千にしてその半數は日本人なり。支那人中支那街に住む者二百二十萬、租界内に住居を持つ富豪要人その他百二十萬あり。支那街は市政府が行政を掌るも共同租界内は工

が大艦巨砲主義をとり、爆撃空軍を養成し、前進根據地の強化を圖るのも、目的はこゝに歸一する。而して彼の砲口は我が方に向いてゐるが、舳は支那に向いてゐるのである。

### 新支那建設の動き

#### 中華民國臨時政府の成長

昭和十二年七月七日夜半蘆溝橋畔に銃聲が響いてから有史未曾有の大事變の幕は切つて落され、皇軍は僅かな兵力を以て東奔西走し、半月を出でずして支那第二十九軍を京津の野から驅逐したが、皇軍聖戰の眞意を解した住民は直ちに我が家に歸り、生業に従事した。そこで治安の維持と統治を必要とする所から、先づ北平には江朝宗を中心にして北平治安維持會が生れ、續いて天津にも高陵爵を委員長として治安維持會が生れた。その後戦果が擴大し、各地に治安維持會が成立し、十一月二十七

部局、フランス租界内はフランスが行政に當り、全く支那官憲の行政權外にあり我國は明治二十九年專管租界を設くる權利を得たるも適當の地なきため、同三十二年英米共同租界を擴張してその中に加入することとし、邦人は主として舊租界内に多く居住せり。京滬線、滬杭甬線の起點にして、海陸兩用の便あり、支那貿易の半分を取扱ふ。

重慶 四川省南部にあり。揚子江の河口より二千五百料の上流に位する開港場にして、人口六十萬、四川第一の大都會なり。附近物資

日には早くも河南自治政府が、十二月十日には山西臨時政府が誕生し、民衆の間には、もつと強力にして統一ある政府の出現を要望する聲が日に日に強くなつた。そこで各地の治安維持會等は寄々協議を重ねてゐたが、この機運を察した元中國銀行總裁王克敏は、十二月七日突如北京に現はれ、即時新政權樹立を提唱し、江朝宗、高陵爵、湯爾和、王揖唐、朱深、董康、齊燮元等の巨頭人士を説いて準備を進め、同月十四日遂に中華民國臨時政府樹立の大典を北京の居仁堂に擧げ、中外に宣言を發し、五色旗を以て國旗と定めた。宣言には國民黨十有餘年の暴政を痛罵し、「黨權は一切の上にある」との一黨一派の專政壟斷を排し、併せて容共政策の誤謬を指摘し、東亞古來の道義を發揚し、世界友邦との親睦協力によつて新支那の再建をはかるとの主張を明かにした。而して議政、行政、司法の三委員會を設けて三權分立の組織とし、議政委員會には陽爾和、行政委員會には王克敏、司法委員會には董康が委員長に就任し、中央集權とし、各省には省長を置いて自治を與へ、北京と天津を特別市とし、先づ河北、河南、山西、山東に省長を、北京、天津、青島、芝罘



の重要集散地にして、工業また盛なり。我國は此處に租界及び專管居留地を持つも、行く者殆んどなく、事變前は漸く二十九人の居住者を見しのみ。南京を追はれし國民政府は臨時首都を此處に移し、漢口陥落後は全く重慶に移りしも、最近我軍連日の猛爆に、再度遷都するものゝ如し。

**娘子關** 山西省と河北省の省境にあり、正太線に沿ふ。萬里の長城を連ね、山高く谷深く天然の要害をなすも皇軍の前には膝を屈す。  
**徐州** 江蘇省西北部徐州平

に市長を置いた。この宣言を見るや冀東地區にあつた自治政府もこれに合流し、北支四省は大體その統治下に入った。(北支五省中の察哈爾省は蒙古聯盟自治政府の統治下にある) 續いて新民主主義による新民主會が十二月二十四日北京に誕生し、臨時政府の補助機關として表裏一體となつて理想の實現に邁進することとなり、一方北支産業の開發及び財政經濟の確立のため、最高指導機關として日華經濟協議會が設立せられ、會長に王克敏、副會長に平生鈞三郎が就任した。かくて天津海關、青島海關を初め治下の海關を全部完全にその手に收め、昭和十三年三月我が援助を得て資本金五千萬元の中國聯合準備銀行を設立し、國幣を發行して舊法幣を廢し、元を我國の圓にリンクせしめて着々實力を發揮し、一ケ年足らずにして通貨を安定し金融を統制するに至つた。他方統治の實は着々揚がり、南京の維新政府とも屢々連絡し、今や新支那の統一中央政府樹立に邁進してゐる。

### 新民主會とは何か

新民主會とは、北京の中國臨時政府と表裏一體となり、新民主主義によつて新支那を再建し、日滿支三國の共榮を圖るために出來た民衆教化の團體で、政治には成るべく口を出すまいとの建前にある。その使命は、(一)新政權を擁護し民意の暢達を圖る。(二)産業を開發し民生を安んじる。(三)三民主義を排し東方古來の文化道德を發揚する。(四)剿共滅黨の旗の下に反共戰線に参加し國民黨を撲滅する。(五)有隣締盟の實現に邁進し人類の平和に貢獻する。この趣旨の下に昭和十二年十二月二十四日、先づ北京に中央指導部を開設し、各地に指導部、辦事所、塾等を設け、精神工作、文化工作、復興工作、指導教化工作、宣傳工作等の部門に分けて着々實行に移し、青年運動までも活潑に起してゐる。會長は王克敏。

### 法幣とは何か

支那の通貨は、國民政府多年の努力にも拘らず確立せず、頗る不安定なものであり、紙幣の如きは各省で隨意に發行され、亂脈極まるものであつたが、一九三四年

野の中心に位し、津浦線上を天津より四百二十哩、上海の對岸浦口より二百十哩の地點にあり、猶隴海線と交叉す。人口四萬、麥、豆、高粱、落花生の集散地として知らる。その昔楚の項羽がこゝに都し漢の高祖と附近の九度山に於て戦ひ、清朝の復辟を謀つた張勳が大軍を擁して天下に呼號せし事等に有名なり。國民政府また李宗仁をして此處を守らしめ、最後の大決戦を試むと號したが、皇軍は南北から進みて大包圍戰を展開し、昭和十三年五月十九日完全にこれを占領す。



眞茹 上海附近にあり、有名なる大無電臺を有するを以て名を知らる。

信陽 河南省南部にあり、京漢線沿線中の主要驛として知らる。北京より六百零八哩南、漢口より百三十五哩北にして、附近の平野に産する棉花、大豆、牛皮等を集散す。人口三四萬、殷盛を極む。

綏遠 厚和豪特を見よ。

崇明島 揚子江の河口にある大三角洲なり。昭和十三年三月十八日皇軍これを占領す。

末、中央、中國、交通の三銀行の貸出による金融界救済を機として金融の全國的統制に乗出し、例の有名な英國人リース・ロス氏の助力を得、一九三五年英米の援助の下に從來の銀本位制を一擲し、外國爲替を基礎とする管理通貨制を取り、中央、中國、交通、中國農工の四銀行にのみ銀行券發行を許し、これを以て法幣と定め、四銀行に爲替操作上の特權を與へ、既設銀行券を回収して統一を圖つた。これは一時全國的に動搖を起したが、英米の積極的な支持により大體その目的を達した。併しそれは要するに英米が金力により支那經濟を制覇し、以て支那全土を事實上支配しようとしたものである。故に支那事變が勃發し、法幣の發行高は日と共に増加し、外國にある正貨準備は武器購入のために殆んどなくなり、(一九三七年五月には、紐育に一億二千萬ドル、ロンドンに一千五百萬ポンドあつた)法幣の發行高は一九三八年初に於て十六億九千七百八十八萬七千八百四十三元に達し、尙救國公債の發行は躍進的に増加し、法幣相場は當然下落しなければならぬにも拘らず、大した動搖を見せないのは、一に英米が不斷に支持を與へてゐるからである。中國臨時政府は、

汕頭 廣東省東方にあり、福建省に近く、厦門へ三十二哩、香港へ百七十六哩、廣東に次ぐ大都會で、支那屈指の開港場たり。港内水深く五六千噸の船を入るゝに足る。香港及び臺灣との貿易盛なり。人口十萬。事變前には臺灣人も含めて邦人六百人が居住し、わが領事館あり。附近の物産を集散し、殊に麻の輸出港として名あり。又華僑の本場にして年々十萬人を海外に送り出すと云はれ、その送金また大いに汕頭を濕ほせり。従つて抗日氣分盛なり。

西安 陝西省の中央に位す

蔣政權の否定は先づ法幣の否定にあるとし、昭和十三年三月北京に中國聯合準備銀行(資本金五千萬元、政府と民間の折半出資)を創立し、日滿支三國の圓ブロックによる新しい銀行券を發行して舊法幣の驅逐に着手し、六月十日には舊法幣の流通禁止を告諭して對抗した。この事業は當初は極めて困難であり、天津租界等の外國銀行は國幣を相手にしなかつたが、その後臨時政府の基礎愈々強固なるにつれ、新法幣を認めざるを得なくなり、舊法幣は北支から漸く力を失ひつゝある。併し猶對外的には動搖は極めて僅少である。

### 國幣とは何か

國幣とは北京の中國聯合準備銀行が發行してゐる紙幣のことである。支那事變後北支に新しく中國臨時政府が樹立し、抗日容共の國民政府の政策を捨て、日支提携による新支那再建に邁進することになつたが、新支那の復興は先づ經濟からといふので、昭和十三年二月十一日北京に此の銀行の創立を見た。資本金五千萬圓(半額



る省首府にして人口十五萬乃至二十萬。うち五六萬の回教徒あり。昔長安の都と呼び、周、秦、漢、西晋、西魏、北周、隨、唐など八代に亘り千數百年間都せし地にして秦の始皇帝が造りし阿房宮、太秦景教の寺院景教寺等を初め史蹟極めて多し。明治三十三年の義和團事件の時清朝の蒙塵せし事あり。張學良及びその麾下の舊東北軍こゝに屯し、昭和十一年蔣介石を監禁して所謂西安事件を起せし事にて有名なり。今は共產軍こゝに入り、宛然赤都の感あり。附近に雜穀、棉花、

拂込)で、中國臨時政府が半分出資し、半分は民間出資とし、北支の金融を統一する中央銀行で、紙幣の發行權はこゝのみに許してある。國幣には一圓、五圓、十圓、百圓の四種があり、我が圓と同價でリンクされてゐる。この發行により、從來の一切の銀行券の流通を停止し、一定規程中新國幣と引換へた。舊法幣も勿論六月九日限り流通を停止されたが、尙多く所有するものがあるので、その平價を一割下げ、昭和十四年二月二十日からは更に四割切下げ、三月十日限り一切流通を禁止する強硬方針を取られたので、この爲舊法幣は全く威力をなくし、國幣が日に日に信用を高めつゝある。

### 中華民國維新政府の誕生

中華民國維新政府は、上海、南京陥落後に南京に出來た政府である。初め昭和十二年十二月五日、浦東の蘇錫文が大遼市政府を組織し、同月九日には上海市民協會が成立し、協力して上海附近の治安維持に當つてゐたが、昭和十三年一月二日には

鐵、銅、毛皮、毛織物等を産し、その集散地として知らる。隴海線はこゝを過ぎ目下西方の寬鶏まで通ず。將來は甘肅省の蘭州に通ずべく、赤色ルート的重要地點たり。  
正定 河北省中部にあり、京漢線に沿ひ、正太線の起點として知らる。城市は正太線驛の東方二軒にあり、周圍四里の城廓に守られ、人口五萬、穀物、果實、棉花、石炭、鐵等附近の物産を集散し、商況殷盛をきわむ。古來名勝古蹟多く、附近の隆興寺には七十三尺の大佛立像あり大佛寺の緯名

南京自治委員會が出來、他の江南各地にも相次いで治安維持會が出來た。そこでこれ等のものが相集り、明朗な中支の建設と東亞平和の確立を目指して新政府を作らべく奔走した。中支にそんなものを樹立されては困るので、國民政府は盛に刺客を送つて妨害を試み、ために新政府設立委員の一人周鳳岐は兇彈に墮れてしまつた。併し要人達は少しも屈せず、三月二十八日遂に南京の舊國民政府内に中華民國維新政府の成立式を擧げ、北支の臨時政府同様五色旗を懸へした。組織は大體北京の臨時政府と同様の三權分立とし、行政院長に梁鴻志、立法院長に溫宗堯が就任した。(司法院長は空席)而して江蘇、浙江、安徽の三省に省長を置き、南京、上海、杭州を特別市區とし、上海市長に蘇錫文が就任した。

### 中華民國政府聯合委員會とその將來

新支那には北支に臨時政府、中支に維新政府の二つの政府が並立し、更に内蒙には蒙盟聯合委員會がある。同じ政策と目的を持ちながら、かうして二三の政府が



を以て知らる。  
 成都 四川省の首都。省の中央に位し、人口五十萬。西部屈指の大都會なり。周圍に川を巡らし、延長十九軒の城廓は市街を包み、要害天下に開ゆ。その昔蜀漢の劉備が諸葛孔明を擁して都せし地にして其の古蹟多く、南門外の丞相祠堂はこの二人を祀り四時參詣人を斷たす。水陸の交通發達して西藏、陝西、甘肅等に到るべく、附近成都平野の物産を集散して商業盛なり。四川省は米麥、茶、阿片、養蠶、馬牛、羊豚、松、杉、柏、楠等を産し、竹は世界

分立してゐるのは決して望ましいことではない。これは將來適當な時期に合同して眞に強力な中央政府を樹立すべきものである。そこでその準備のためと、將來への決定と、尙その上、目下の現實問題としても幾多の協力を要するので、その緊密な聯絡と統合をはかるために結成せられたのが中華民國政府聯合委員會である。これは近き將來に於て蒙藏政府も參加するだらうが、先づ北京と南京の政府だけで成立させ、昭和十三年九月二十二日北京の勤政殿で盛大な祝典を擧げ、宣言を發表し、翌日本會議を開いて仕事を決定した。即ちこの委員會は兩政府の上立つものではなく、兩政府が對等の地位にあつて共通の事項を協議し、その決定方針に基いて各政府が適當に處理すべきものであり、會議は双方から三人づゝの委員を出し、毎月一回づゝ北京に開催し、その間常務委員會を設けて事務を掌らせることになつた。而して臨時政府からは行政委員長王克敏、内務部總長王揖唐、司法部總長朱深の三氏が、維新政府からは行政院長梁鴻志、立法次長溫宗堯、内政部長陳群の三氏が委員に擧げられ、主席委員には王克敏が、事務部長には維新政府の外交部長陳籙が就

に名だたり。なほ鑛産物も無き物は殆んどなく、埋藏量極めて豊富にして、若し各省より封鎖さるゝも絶對に物資に缺く事なしと稱さる。背後にこの豊富なる資源を擁する成都に對し、國民政府が最後の逃避所とせるも亦宜なり。  
 青島 山東半島の南岸にあり膠州灣に臨む開港場なり清朝時代早くも此處に砲臺を築きしも、一寒村に過ぎず。然るに明治三十一年獨逸が附近一帯を租借してよ此處に獨逸式の市街を建設し、港灣を設備し、要砦

任した。そして先づ幣制、財政、交通、通信、教育等に就いて議した。即ち臨時政府は既に國幣を發行し、舊法幣を廢して着々實果を擧げてゐるが、維新政府の方はまだ舊法幣を廢するまでに至つてゐない。併しこれは早晚廢すべきものであり、統一された通貨を持つべき性質のものだから、國幣に合流すべく決定せられた。交通は、津浦、京漢兩線が連絡開通してゐるのだから勿論共通ならしめねばならず、通信事務また元よりのことである。教育の事は極めて重大であり、早く抗日教科書を廢して完全な新教科書を編纂せねばならず、これが統一は肝要なことである。財政のことも外交も内治も統一すべき幾多の問題に遭遇してゐる。斯くしてこれが統一され、ばされるほど兩政府が分立してゐる意義は少くなり、自然の流れとして中央政府がその中から誕生するだらう。  
 その後漢口、南昌は陥落して維新政府の統治區域は愈々擴大し、南支の廣東にも治安維持會が生れ、占領範圍は擴大しつゝあるので、中央政府の必要と要望は漸く高くなり、既にその形態に就いても略々意見の一致を見るに至つた。即ち聯邦共和



を築き、小ベルリンの稱ありし程の都市建設をなせしより一躍黄海沿岸第一の重要市場となる。その後大正三年の日獨戦争の結果その租借権等一切を引継ぎしも大正十一年九ヶ國條約により支那にこれを還付し、代償として山東半島一帯を不割譲地たらしむ。昭和五年支那政府は青島を特別市とし、政府行政院直屬市とせり。人口三十萬。邦人の居留者は事變前一萬三千餘人なりしも、事變後は直ちに數倍せり。市街も我が同胞の手により舊獨逸市街の約二倍に達し、商工業盛んに

政體とし、各地方の實狀に従つてかなり高度の地方自治を認め、中央政府は軍事、外交、經濟、財政、交通、通信、教育等の統一的なことを掌り、各省から代表者を中央に集めて民意を反映せしめる方針であるといふ。

北支開發株式會社の事業

北支開發株式會社は、昭和十三年三月帝國議會の協賛を得て四月二十八日公布し、十一月七日創立されたもので、北支の經濟的開發を全般に亘り、一つの統制の下に行ひ、日滿支三國の經濟的提携を密接不可分ならしめ、圓ブロックを強固にすると共に、戰禍に疲弊した支那良民の福利を増進し、彼等に安居樂業の途を與へ、以て精神的に強固な關係をも保たしめようといふ一大國策會社である。資本金三億五千萬圓、その半額は日本政府が出資し、半額は民間に出資せしめ、一株五十圓とし、先づ四分の一拂込をする。然して民間の持株に對し年六分の配當に達するまでは政府持株は無配當とし、尙配當を確實ならしめるため、初營業年度より五年間は政府

て落花生油、麥、豆、葉煙草、牛皮、牛肉、棉花、鶏卵等を輸出す。郊外には邦人經營の大紡績會社多く、領事館、小學校、中學校、女學校、商業學校等あり。これ等は事變後殆んど破壊されたるも、今や大部分復興し、發展目覺し。膠濟線はこゝに起る。

石家莊 河北省中部にあり京漢線に沿ひ、正太線の分岐點たり。人口一萬なれども商業盛なり。正太線開通以後發達せる街なるを以て他の都市の如く城廓なく、近代的相貌を帶ぶ。

より一定の補給金を出す。尙會社は拂込資本金の五倍まで社債を發行することが出來、社債の元利支拂は政府が保證する。この會社は本社を東京に置き、原則として自ら事業の經營をせず、多くの子會社に融資することを目的とする。而して子會社は事業の性質上、日支合辦とし、支那に籍を持つ法人として設立することを豫定されてゐる。

子會社の事業を大別すると、交通、運輸、港灣、通信、發電、鑛産、石炭、製鹽及びこれ等の販賣や利用である。

北支の鐵道は經濟開發と密接な關係があるから、港灣事業と共に一元的に統一されるべきである。北支開發會社の傘下にある新しい鐵道會社の設立を豫想されてゐる。その下に統轄されるべき鐵道は、京山、京漢、津浦、京包、正太、同蒲、膠濟等の既設線の外、事變後我が方の手で新設された通古線（通州—古北口間）、石家莊から滄州に至る滄石豫定線及び膠濟鐵道の延長線である。

港灣問題としては北支には、青島、天津、秦皇島、芝罘、威海衛、龍口等がある



**蘇州** 江蘇省太湖の東に位し大運河と京滬線蘇嘉線に沿ひ水陸兩様の便あるを以て附近商業の中心地たり。絹織物、殊に金欄を名産とし、漆器、銅、象牙、銀細工また名あり、米、雜穀、茶、紙等の取引盛なり。されど蘇州は今は政治方面を南京に奪はれ、商業方面を上海に持去られて昔日の佛なく、寧ろ水の古都、寒山寺、姑蘇山、楓橋等の名勝古蹟にて名あり、大小橋梁三千六百、遊子甚だ多し。昭和十二年十一月三十一日皇軍これを占領す。

**太沽** 河北省天津より三十

が、青島以外は満足なもの一つもなく、殊に天津は白河の放出する泥のために數哩を隔てた河口にすら大船を入れることが出来ぬので、この泥に影響されず、最も天津に近い場所に新しく築港をすることが焦眉の急とされてゐる。

北支の通信事業は、昭和十三年七月三十日、北支那電信電話株式會社が設立せられ、資本金三千五百萬圓、そのうち臨時政府が現物及び現金で一千萬圓、日本側は開發會社及び關係事業會社で二千五百萬圓を出資した。これは地上の電信、電話、有線、無線は勿論、海底電線をも有し、北支の一切の通信機關を包轄し、歐米各國との通信も取扱つてゐる。

北支の電燈、電力の供給事業は從來不振を極めてゐたが、それは充分な資本と優秀な技術に缺けたがために會社運営が合理的に行はれず、料金が高いために申込者も少く必要な鑛山、工場等では自家發電をしてゐるので會社は愈々窮境に陥つてゐた。併し北支の豊富な石炭を利用して火力發電をする一方、灤河や黄河の水を利用して水力發電を行ひ、百に餘る自家發電をも併せて行つたならば必ず採算はとれる

七裡下りし白河の河口にあり、對岸の塘沽と共に所謂天津港の一部をなす商港なり。その昔砲臺あり、北清事變の際各國聯合軍がこれを攻略せる事で有名なるも今は砲臺なし。

**太原** 山西省の首府。同浦線の中位にあり、河北の石家莊に通ずる正太線の分岐點たり。附近は海拔千二百尺の高原にして、周圍四里高さ四丈、幅二丈の堅固なる城壁に守られ、城内に省政府、兵營、學校等あり、政治、軍事、經濟、文化上山西の中心地たり。人口二

管だといふので、目下着々調査が進められてゐる。

**豊富な北支の石炭**

目下北支の石炭産地として最も有名なのは河北省の開灤炭礦で、その埋藏量は三億噸以上と稱され、年産額四百六十萬噸乃至五百萬噸、製鐵用として非常に良質なので、我國では年々百萬噸は輸入してゐたが、これは英支合辦事業だから、當分北支開發會社の傘下に入ることはあるまい。併し北支には至る所に炭山がある。山東省には合計十五億噸以上の石炭を埋藏し、現在に於ても既に、博山炭田は年額百五十萬噸、淄川炭田は七・八十萬噸、章邱炭田は二十萬噸、坊子炭田は四、五萬噸を産し、そのうち博山、淄川、坊子は以前から日支合辦であり、博山は殊に良質のものを産してゐる。又、徐州の東方、臺兒莊の北方には年額百七十萬噸の中興炭礦があり、正太鐵道沿線には年額九十萬噸の井陘炭礦がある。山西省の石炭に至つては無盡藏といふことが出来、大同に百億噸、汾臨に三百億噸を埋藏し、其他山西の



十五萬。閻錫山は永く此地にあつて山西モンロー主義を唱へ、模範省として治績を見るべきものありたるも、皇軍一度到れば忽ち馬脚を現はし、昭和十二年十一月九日遂に城を捨て、逃る。大行山脈 山西省の東部を南北に縦走する山脈にして河北省との省境をなし、海拔一千里乃至二千五百米あり、北部に三千米の名山五臺山あり。更に北方に連なつて八達嶺、居庸關等の天險を作り、南方は幾つかの山脈に分れ、平行して南に走り黄河北岸に達す。東の省境には山中を萬里の長

平定、太原、山東の新泰、沂川、華豐、華寶、河北の磁縣、臨城、齊堂等、既に知られてゐる炭山だけでも、北支のみ合して全支の五割乃至七割に當る千三・四百億噸を埋藏してをり、然も現在の出發高は僅か千五百萬噸だから、これを數倍にする事は易々たるべく、大同のみでも年産二億噸は出し得るといはれ、猶地下に眠る未發見のものが幾らあるか知れないのだから、誠に力強い限りである。従つてその液化學業も發展の可能性が充分であり、油田を持たぬ東亞新ブロックもこれで大いに緩和されよう。

### 北支の鐵鑛はどの位あるか

支那全體の鐵の埋藏量は三億五千萬噸で、そのうちの二億噸は北支にあるといはれてゐるが、目下生産してゐるのは極く僅かである。北支最大の埋藏箇所は察哈爾省の龍煙で、約八・九千萬噸と稱される。これは既に掘られたこともあり、北京附近の石景山に熔鑛爐を一基持つてゐるが、今では休業してゐる。山西省には約三千

城が起伏し、密林は共產軍を隠してゲリラ戦に便するも、皇軍の前には威力なく全く征伏せらる。台兒莊 徐州の東北方にある地。昭和十三年三月我軍が徐州包圍戦に移る時、戦略上一時退陣せしを見て支那軍は、支那軍大勝せりと逆宣傳し大いに得意になりしを以て聞ゆ。大場鎮 上海北停車場より東北の地點にあり、人口四萬の小都市。上海包圍戦の壯烈なる激戦地として知らる。大同 山西省なるも今は晋

萬噸の鐵が埋藏されると云はれ、小規模ながら太原及び陽泉に熔鑛爐を持ち、太原には製鐵所もあつたが、埋藏箇所が地下深い所にあるので早急な開發は望めない状態にある。山東省には日支合辦の魯大公司が經營した金嶺鎮鐵鑛があり、埋藏量千三百萬乃至千五百萬噸と稱されてゐるが、餘り富鑛ではないので目下休鑛状態にある。併しこれ等を適當に開發すれば、北支の自給自足を行つて猶餘りあらう。

### 山東省の鹽田

北支は古來鹽に恵まれ、山海關から黄河々口に至る延長四百料の海岸線から産する長蘆鹽、及び黄河々口から山東沿岸をめぐつて青島に至る海岸の山東鹽は年額百萬噸(全支の約三割)といはれてゐる。これは従來山東條約によつてその一部を我國に輸出するほかは殆んど輸出を禁じられ、然も高率の鹽稅が課せられる關係上無暗に生産することも出来ず、何十萬噸といふ過剩鹽が海岸に打捨ててあるといふ不合理的な取立てしてゐたほどであるから、鹽稅を低くし、輸出を緩和したならば、増産



北自治政府の管轄區域に屬す。京綏線に乗りて北京より約十時間にて達し、距離二百二十九哩餘あり、同浦線の起點たり。海拔三千五百尺の高地にあり、周圍に城壁を圍らし人口五六萬。附近に鐵、銅、石炭等の鑛山多く、その集散地として知らる。西方七哩の郊外に石佛寺あり。天然の岩に彫刻せる佛像大小無數に並び壯觀を呈す。

**大別山脈** 河南省の南部の相柏山を起點として河南湖北の省境を東南に走り、安徽省に入る山脈にして、

の餘裕綽々たるものがある。一體我が國では年々食料として八十萬噸、工業用として百五十萬噸を消費し、丁度工業用の分だけ外地から移輸入してをり、關東州、滿州、臺灣、佛領印度支那、瓜哇等の近海鹽から、アフリカのエリトリア、ソマリランド、エジプト、スーダン、アデン等の遠海鹽を移輸入してゐた。この中に山東鹽十萬噸も入つてはゐるが、若し山東鹽及び長蘆鹽の輸出を緩和するならば、敢へて遠海鹽を輸入するまでもないことにならう。工業用鹽は目下九十五%まで曹達工業に用ひられ、その半ばは人絹及びスフの製造に用ひられてゐるのだから、人絹及びスフ工業の必要が叫ばれる時、山東鹽等に待つこと多大であり、北支開發會社もこれに非常に力を入れてゐる。

### 北支開發四ヶ年計畫

北支經濟開發に關しては日支兩政府の最も力を注ぐ所であり、我國が北支開發株式會社を設立し、これを中心として計畫を進め、臨時政府は日華經濟協議會を興し、

中に皖山、龍眼、窺雲等三千尺以上の高峯あるも、大體千六百尺ほどにて、谷深く、樹木繁り、漢口攻略戰に際し、南進せんとする我軍を大いに阻みし山なり。**大冶** 湖北省の東部、武漢の東南部にあり。附近一帯六七十哩平方に亘りて尙大なる鐵鑛區あり。明治二十三年初めて發見されしより鑛石を漢陽製鐵所に送り、漢陽の工業を發達せしめし因をなす。漢冶萍煤鐵公司の經營にして、明治三十年より我國と特殊關係を結び四千數百萬圓の借款に應じ鑛石を我が八幡製鐵所に供

更に我が東亞農林協議會も協力して日滿支一體經濟の確立につき研究を進め、その結果北支開發四ヶ年計畫を樹立して、交通、通信、製鐵、炭業、電力、鹽業、石炭液化の七部門に亘つて計畫を立てた。例へば鐵鑛では昭和十六年末に原鑛石二百萬噸、鐵鑛六十五萬噸、鋼材五萬噸、内鉄鐵三十萬噸は日本に輸出する。(現在は産額合計約十七萬噸)發送電では火力四十五萬キロにする。石炭は生産二千二百萬噸、内六百萬噸は日本に輸出する。鹽は二百五十萬噸、棉花は一千萬ピクル、内三百萬ピクルを日本に輸出する如きであり、これらの所要資本金は十四億二千萬圓乃至十六億五千萬圓とし、企業は一業一社を最終目的とし、石炭液化、製鐵炭業は各一億五千萬圓、電力會社は一億圓、鐵道會社は三億圓、鹽業は三千萬圓の資本を與へて一業一社にするといふにある。

### 北支の棉花産額

支那の棉花の産地は、河北・山東・山西・江蘇・湖北・河南・陝西・浙江等であ



給せり。埋藏量一千百萬噸乃至二千五百萬噸と稱され支那第二の大鐵山にして年産額七十萬噸に及べり。鑛質は磁鐵鑛、赤鐵鑛、雲母鑛にて、中には六割五分の鐵を含む素晴しく良質のものさへあり。昭和十三年十月二十日皇軍これを占領す支那軍は退却に先ち専門家の手にて鑛山の心臓部その他を有効に破壊せるを以て直ちに役立たざるも、これが復舊は我國に光明を齎すものなり。

**芝罘** 山東半島の北岸にあり渤海の咽喉を扼する要港にして、人口二十萬。北支

るが、中でも河北省は最も多く、一九三五年に於ては次のやうである。

省別	作付面積	産額
河北	六、三一六 <small>千畝</small>	二、一六六 <small>千擔</small>
山東	一、八〇一	四〇七
山西	一、〇六七	二五二
計	九、一八四	二、八二五
全支	三五、〇二二	八、一三九

故に作付面積では全支の二六%、産額では三四・五%であるが、猶耕作法の向上によつてはズツと増産し得る見込があり、九ヶ年計畫により從來の三倍の一千萬ピクルを得る方針を樹てたから、中支の棉花と共に相當有望視されてゐる。

### 中支那振興株式會社の使命

中支那振興株式會社も、北支開發株式會社同様、同時に出來た國策會社で、資本

諸港中稀な不凍港として知られたるも、青島の發展に勢力を奪はれ今は甚だ振はず。されど各國領事館なほ有り、商業機關も多し。

**中山陵** 南京市の東部城外紫金山の中腹に築きし孫文の大陵墓なり。白色燦然たる數百段の石段の上に純支那式の大樓門あり、その奥に白色圓頂のドームありて革命の父孫文の靈柩を安置す。南京市を眼下に眺め、石段下より眞直に西に向ひたる大道は南京城の入口中山門に通ず。南京攻略の時皇軍これを傷つけざらんとして苦心せる效あり。彈痕

**金一億圓**。前記會社同様の特殊な政府補助等がある。鐵道・バス・通信・電氣・水道・鑛山・水産・その他一般産業振興に資する事業を助成するため、多くの子會社を持ち、それに資本を融通することを事業とする。鐵道の方け目下あるものを修築し、輪轉材料を整備し、運轉數を増す事を第一とするが、別に新市街を建設したり、新線を敷いたりする計畫もある。通信事業は、昭和十三年七月、既に資本金一千五百萬圓の華中電氣通信株式會社が設立され、振興會社から六百萬圓、通信關係事業會社から四百萬圓、維新政府から現物出資で五百萬圓を出して活動を開始してをり、放送事業も近い將來に於て合併される筈である。電氣事業に關しては、資本金二千五百萬圓の華中電業株式會社が設立され、振興會社から七百五十萬圓、各有力電力會社から二百五十萬圓、支那側から電力、水道合せて現物出資で一千五百萬圓出し、上海附近及び蘇州・南京等の各會社を合併して經營してをり、漸次中支全股に及ぼすはずである。鑛産事業は、昭和十三年四月に華中鐵鑛株式會社が設立せられ、差當り日本側から一千萬圓出資し、そのうち四百五十萬圓を振興會社が持ち、



一つなく完全に残る。  
**長安** 陝西省西安のこと。  
**張家口** 察哈爾省の南部、萬里の長城内にあり、察南自治政府の首都たり。蒙古名をカルガンと呼び、外國にはこの名にて聞ゆ。北京より百十六哩西北方にあり三面山迫り海拔三千七百尺長城は市の北門を中心として走る。人口七萬餘。古來蒙古と支那との物資を仲繼する市場として知られ、夏期はその取引のため市場股賑を極む。

支那側は現物出資してゐる。これ等の將來は極めて輝かしいものがある。

**豊富な中支の物産**

中華民國維新政府の統治區域は、皇軍の戰果の發展によつて漸次擴大して行き、何處から何處までと區切ることは出来ないが、揚子江を中心とし、北は河南・湖北・江蘇、南は安徽・浙江の五省が目下の統治區域である。勿論まだその全省に亘つてゐないから、物産の全部が維新政府治下の物とはいへないが、大半はさうだと考へても差支へない。此の地方は氣候よく、地味も肥え、曠漠たる平野が連なつてゐるので、農産資源は實に素晴しく、昔から「江浙穫れば天下餓えず」といはれたほどである。

米は五省とも非常に多く、江蘇省だけでも年三千七百萬石とれ、安徽省の蕪湖には全支第一の米の大取引市場がある。麥・玉蜀黍・大豆・粟・高粱・菜種・茶・棉花・甘蔗・落花生・葉煙草等もまた實に豊富で、河南の葉煙草・麥は全支第一とい

沿ひ、岳州と共に省内唯二の開市場なり。人口三十萬政治、經濟、文化上省内の重要都市たると共に商業又盛なり。南京を落ちし國民政府は交通部を此處に移すされど漢口及び岳州陥落に亂心したる支那軍は昭和十三年十二月自ら火を放つて全市を焦土と化し去る。

**通州** 同名の地各省にあるも我等には河北省の通州最も聞ゆ。北京の東六哩の地にあり、人口二萬、城内人家稠密して商業極めて盛なり。冀東自治政府の所在地なりしも、昭和十二年七月二十九日、石友三麾下の保

はれ、棉花も江蘇省のものは通州棉と云つて良質であり、二百萬擔を産し、湖北省また同額ほど産する。これ等の棉花は上海に集つて上海の紡績工業を賑はしてをり、綵棉の年産額も二百萬ピクルと稱されてゐる。他の三省も棉花の産額はなかく、多い。茶も此の地方で全支の産額の大部分を産出し、安徽省だけでも全支の三分の二を産する。浙江省の果實は種類の豊富と産額の多いことで全支第一といはれ、蔬菜もまた一二を争ふほど豊富である。支那の蠶蠶は我國と共に世界屈指であるが、その大半は中支に産し、江蘇に十萬擔、浙江に十五萬擔を産する。なほこのほかに、竹、樟腦、木炭等があり、浙江の木炭は全支第一の産額を示し、家内工業として製油、製革等の業も盛であり、大工業としてマツチ、紡績、織布、製粉等が發達してゐる。

礦産物としては、石炭・鐵等が第一であり、石炭は河南省に六十六億二千四百萬噸、湖北省に四億四千萬噸、江蘇省に二億一千七百萬噸、安徽省に三億餘噸を埋藏し、合計七十六億噸餘となり、山西に次ぐ全支第二の埋藏量を持つ。但し現在はまだ



安隊が騷擾して邦人鑿殺を企て長恨を遺す。

鄭州 河南省北方にあり、京漢線と隴海線の交叉點として知らる。人口二萬。鐵道と黄河の水運により附近の物産たる雜穀、棉花、毛皮、羊皮等を集散し商業頗る盛なり。

迪化 外蒙古西部の中心都市にしてソ聯より支那に通ずる赤色中央ルートの要衝なり。

天津 河北省の東北部にある大都會にして、白河市中心を貫流し、面積千三十餘萬坪、周圍十五哩。支那街と

だ餘り採掘されてをらず、河南から二百五十萬噸、湖北から二十萬噸その他で、殆んど寶庫は眠つたまゝといつてもよい状態である。

鐵は湖北省の大冶鐵山を中心として四億六千六百四十萬噸、安徽省の二千萬噸、河南省の二百萬噸その他の埋藏量を持ち、蒙疆地方をのぞけば支那第一といふ事が出来、大冶鐵山は年々四十萬噸を産し、安徽省の桃冲鐵山と共に長く我國に供給してゐたことで有名である。なほこのほか、石灰・硫黄・石膏・井鹽等が産し、若し手が江西省にまで及ぼさんか、全世界の四割までの産額(四千萬噸)を持つといふことが出来る。

### 吳佩孚將軍の和平運動

以夷制夷、遠交近攻の支那國民政府の外交政策は、心ある者の夙に考慮した所であるが、蔣政權の飽くなき抗日政策が遂に支那專變を大事に至らしめ、二億の民衆を戦禍に苦しめ、然も何時果つべしとも見えない。眞に國家を愛する者ならこれを

外國租界とより成り、外國租界はその三分の二を含む人口七十萬。中十二萬は外國租界に住す。事變前には邦人一萬一千四百餘名ありもと城壁ありしも、明治三十三年の北清事變後撤去せられ、洋風の整然たる市街と化す。外國租界は日英佛伊四ヶ國の專管區あり、他に獨塊露白等の舊租界あるもこれを特別區と稱し租界に準ぜしむ。日本租界は明治二十九年に設定せられ面積三十八萬四千坪。邦人居住の設備悉く完備す。外國租界は天津市の中心をなす商業地帯にして、白河畔に

黙視することは出来ない筈である。臨時政府、維新政府に據る人々は勿論この眞の愛國の士ではあるが、猶この他に、知名の士で志を同じうし、たゞ蹶起の機を窺つてゐる者が相當に少くないことは、早くから想像されてゐた。それは必ずや國民黨の中にもあるに相違ない。果して國民黨の首席たる汪兆銘は、秘かに重慶を逃れ、佛領河内に於て黨の誤謬を自ら指摘し、蔣介石及び一般國民の反省を促した。これと前後して、長く北京の寓居に鳴を秘めてゐた吳佩孚將軍は、各方面の德薄もだし難く、昭和十四年一月二十六日蹶起出馬の第一聲を放ち、同三十一日を以て正式に出馬を宣言した。その宣言によれば、「この一年間の戦禍の慘澹たるは痛心に堪えぬ。然も第三インターナショナルはこれを利用して赤化の魔手を延ばし、中國を衰亡に至らしめんとしてゐる。不肖古今の歴史を考へ、世界の大事勢を見、一日も早く平和をはかり、危急を救ふ必要あるを痛感した。國內有識の士も必ずこれに賛同するであらう。國家興亡の危機に際しては匹夫と雖も責任を感じざるを得まい。不肖非才にして綏靖の大任を委嘱せられ、才力の及ぶ限り馳驅を致さんとする。幸ひに臨時、



は埠頭あり、二千噸級の汽船は白河を溯つて横付けするを得るも大船近づけざるを以て三十七哩を下りし河口の塘沽、太沽をして補はしめ、共に天津港と稱せしむ。されど白河の流す土砂のため年々水深を浅くするを以て目下他に適地を探し大天津港築港の計畫あり。天津は津浦線と北寧線の交叉點にあり、商業上、政治上、軍事上重要な所なり。潼關 陝西省の東北隅にあり、黄河が北より來て東に屈折する角に臨む。人口五千の小さき町なるも、西安

維新兩政府及び日本朝野軍政各方面の同情の下に地方の治安を收拾し民心を安んぜんとするものである」とのべ、開封に綏靖救國の本部を移して全國に呼びかけた。これは臨時、維新兩政府とは別に、或は併合した政府を作らうといふ運動ではなく、吳將軍の威望と勢力を以て全國に呼びかけ、自主的に治安を維持し、和平を速進しようとするものである。吳佩孚は嘗て第一革命の際直隸派に屬して活躍し、向ふ所敵なく、東洋のナポレオンと稱されたほどであり、蔣介石の國民革命軍と戦ふや、部下の馮玉祥に裏切られたため初めて敗戦の苦杯を嘗め、身の置き所もなく逃避行を續けたが、然も毅然たる愛國の心は捨てず、他の多くの要人が海外や外國租界に逃れて安全をはかる例を破り、敵の中央を突破して湖南に逃れ、その後追はれて轉々としたが、常に自らの力で生き、一度も外國にすがることをしなかつた。この毅然たる英雄的精神は支那國民の痛く感ずる所となり、吳將軍の名は今日もなほ國民崇拜の的となつてゐる。故に吳將軍一度起つ報に接するや各方面からは欣然たる聲援と助力が申出られ、舊部下の中には續々として國民政府軍の羈絆を

への第一關門として古來軍事上有名なり。隴海線に沿ひ、附近に伯夷叔齊が周の粟を飯まずとて蕨を食つた首陽山あり。

南京 江蘇省の西部にあり揚子江に沿ひ、周圍四十四料の堅固なる城壁に圍まれ城内に山あり池あり田園あり飛行場ありて廣き事北京に次ぐ。道路四通發達し、國民政府、中央軍官學校、參謀本部、行政院、中央大學、氣象臺、中央飯店、兵營その他官衙、學校、各國大使館等あり。下關は市内第一の繁華街にして商業盛

脱して來り投ずるものがあり、その反響は諸外國にまで響いた。近き將來に於て必ずや一大活動を開始することであらう。

### 支那邊境諸省の事情

#### 外蒙古はどんな所か

外蒙古とは、ゴビの沙漠の北に位し、北はソ聯に接する高原地帯で、蒙古人民共和國とトヴァ人民共和國とのことである。面積約六十二萬五千七百方哩、我が内地の約四倍であるが、人口は僅か二百萬に過ぎず、謂はゞ静岡縣の人間が日本の四倍もある土地に散ばつてゐる勘定になる。土地は西北の山岳地帯を除けば大部分漠々たる沙漠或は平原で、鐵道は全くなく、たゞ十五本の自動車路が蛇々と延びてゐるのみで、こゝを自動車で行くのは政府筋の者又はソ聯から支那へ行く武器輸送のトラック位のもので、蒙古人は牛馬や駱駝の背にまかせて交通してゐる。生業は牧畜



なり。人口六十萬。周圍に紫金山、湯山、棲霞山、牛首山等の山を巡らし天然の要害たり。紫金山には中山陵あり。孫文を祀る。南京は二千年の歴史を有する古都にして、吳の孫權が初めて都を營みしより、東晉、宋、齊、梁、陳等の首都たり、孫文も初め(大正元年)こゝを首都と定めしが、後北京に移りしを、昭和二年北伐に成功せる蔣介石は再び此處に政府を起し、一時武漢派と對抗せしも、後合併してこれを首都とす。繻子、繻布、綿布、扇子、蓆、石鹼等の産あり。明の孝陵、と狩獵で、家畜には羊、山羊が最も多く、牛、馬、駱駝等もある。これ等から皮類、毛類、羊腸、獸脂などを産する。外蒙古はその昔は英雄成吉思汗によつて大帝國元を建設し、世界の大半を席捲したが、明に亡ぼされてからは次第に衰微し、清時代には外藩として支那に隸屬してゐた。所が明治四十四年、國民革命によつて清朝が衰へたのに乗じ、ロシアの援助を得て獨立を宣言した。けれども支那はロシアに抗議し、結局外蒙古の自治は認めだが獨立はさせず、以然支那領土たることを確認させた。併しロシアの魔手は不斷に働き、帝政ロシアは滅びたが、赤色ロシアは相變らず外蒙古に働きかけ、反革命派のウンゲルン將軍が外蒙古に入つたのを好機とし、反革命軍掃滅を名として赤軍を蒙古に侵入させ、これを掃滅した後も相變らずウラソバートルに兵を止めて容易に撤兵せず、一九二一年(大正十一年)遂に蒙古人民革命政府を造り、蒙古赤化に努め、大正十三年元首活佛の死を機として共和制を布かせ、ソヴェート憲法をそのまま採用させて蒙古人民共和國を造つてしまつた。これはまだ完全に支那から獨立したわけでもなく、又ソ聯に公式に併合されたわけ

靈谷寺、明の古宮、夫子廟、雨花臺等古蹟多し。昭和十三年三月廿八日、中國新政府こゝに樹立さる。  
南昌 江西省の首府。人口四十萬餘。南潯鐵道と浙贛鐵道の交叉點にして粵漢線にも連絡し、ために政治上經濟上重要地たり。開市場に非ざるも商業頗る盛にして、農産物のほか綿布、絹布、油、陶磁器、木材等を集散す。  
バイアス灣 香港の東北三十哩の點にある灣にして、東に紅海灣、西に英國の租借地たる大鵬灣あり、海賊

もないが、支那の國民政府も知らぬ顔をしてをり、ソ聯は全ての部門に顧問や役人を入れ、實質上の屬國、否、聯邦内に包含してしまつた。赤い外蒙古の實狀はソ聯の鎖國主義により殆んど確實なことは判らないが、金は相當に産するらしく、石炭・銀・鉛・石墨等の産出もあり、近年ソ聯の指導により酒精・皮革・機械・製絨等の工業も發達し、馬車路、自動車路も出來たといふことである。併し何と云つても外蒙古は餘り茫漠としすぎる。ソ聯の眞の目的は外蒙古にあるのではなく、内蒙古から支那本部に出る道程と見るべきだらう。

蒙古聯盟自治政府が生れるまで

蒙古聯盟自治政府は内蒙古の王族、雲王、索王、德王等の努力によつて昭和十二年十月二十八日に成立し、國民政府から全く獨立して完全な自治を宣言したものである。内蒙古とはゴビ沙漠及びその東南地區で、外蒙古と滿洲國と支那本部とに圍まれた三角地帯である。面積は滿洲國よりも稍小さく、察哈爾、綏遠、寧夏三省を



の根據地として恐れらる。昭和十二年九月、我が海軍が砲撃せし事あり、昭和十三年十月十二日海陸の大軍が奇襲上陸を行ひて一舉に南支を制壓す。

八達嶺 北京の西方、居庸關に連なる有名なる天險にして皇軍が力戦占領せし所萬里の長城 滿支國境の山海關の海中より發して國境を西に走り、遠く甘肅省の嘉峪關に至るほか、或は河北、山西省境を走り、或は山西と内蒙の境に連り、山を登り谿を渡りて蜿蜒一萬一千餘支里。我が里數にし

合して三十二萬六千方哩であるが、まだ蒙古聯盟自治政府の力の及ばない寧夏省を除いても二十二萬方哩ほどあり、人口はこの二省で四十萬と稱されてをり、これも静岡市民の二倍ほどの人間が日本内地の一倍半もある土地に住んでゐるのである。蒙古は七百年ほど前、一代の英雄成吉思汗によつて史上に例のない大版圖を擁し、支那本部をも併せて元の國を作つてゐたが、明に滅ぼされてからは漸次衰へ、殊に清朝の狡猾な手段に禍されて傳統の勇敢さを全く骨抜きにされ、更に國民政府に壓迫し續けられて手も足もない状態にあつた。併し蒙古人は常に獨立自治を策し、殊に若き近代人徳王が現れて滿洲國獨立の現状を見てからは内蒙獨立運動は執拗に續けられた。徳王は滿洲國內に併せられた蒙古人の幸福な現状を見、殘る内蒙もどうしても國民政府の壓迫を排除しなければならぬと決心し、同族の先輩雲王等と謀り、部下の勇將李守信と力を合せ、昭和八年、百靈廟に王公會議を開き、その決議を以て高度の自治を國民政府に要求した。狼狽した國民政府は武力と金力で彈壓或は懷柔しようとしたが効果がなないので、一應その自治を認めるやうな便法を設け、

ても千八百餘里となる。高さ一丈五尺乃至三丈、厚さは磚瓦で疊み、一町あきに望樓を設く。一般には秦の始皇帝が北方の匈奴の侵入を防ぐために築くと考へられをるも、始皇帝は全般的に大改修を試み、更に西は臨洮より東は遼東まで増築せるのみ。初めて築かれしは二千數百年の昔にして、その後趙、燕、楚、齊、魏、秦、隨、唐、明等が改修増築して今日に及びしものなり。いま築造費改修費等を悉く今日の費用に換算すれば恐らく二百五十億圓とな

昭和九年四月内蒙自治政府を作り、雲王を委員長に、索王を副委員長に、徳王を秘書長とし、更に何應欽を指導長官とした。併し何應欽は秘かに西蒙派の沙王を動かして綏境蒙政會を組織させて東蒙派の徳王と分裂させ、内部分裂を謀り、その結果遂に昭和十一年夏のメリケン廟事件、秋の綏遠事件を起し、徳王麾下の蒙古軍は傳作義軍と戦つた。間もなく支那事件が起り、山西北部及び察哈爾方面に支那軍が動き、熱河に侵入しようとした。これを見た滿洲國軍は逸早く國境を越えて察哈爾に進入したが、その時李守信の率ゐる蒙古軍は、滿洲國軍と協力して支那軍を追ひ、忽ちにして内蒙地方を完全に平定し、此處に國民政府から完全に獨立した眞の自治政府を成立せしめるに至つたのである。蒙古聯盟自治政府の統治區域は、察哈爾盟、烏蘭察布盟、錫林郭勒盟、伊克昭盟、巴彥達拉盟の五盟で、人口約三十萬と稱されてゐる。内蒙古人は外蒙古と同様、牧畜と狩獵によつて生活し、草を迫ふて行く遊牧の民であるが、鐵・石炭等の埋藏も相當にあるらしく、それ等資源の開発は今後の事に屬する。蒙古聯盟自治政府は雲王の死後は徳王が首席となり、蒙古軍總司令



らんといふ。

**百靈廟** 内蒙古の包頭の東北方にあり。蒙古自治政府發祥の地として知らる。

**廟行鎮** 上海の北にある小村にて、上海事變の時爆彈三勇士奮戦の地として知らる。

**武漢三鎮** 武昌、漢口、漢陽と揚子江を挟んで三都市鼎立せるを以て此の名あり。**蕪湖** 南京より揚子江を溯る九十料の所にあり、安徽省第一の商業都市にして省内唯一の開港場。城内、城外、租界の三區に別れ、城内は閑靜なるも城外は殷賑

令李守信將軍が副首席に坐つてゐる。なほ彼等は遠祖成吉思汗の偉業にあやかるとめ、昭和十二年を以て民國の年號を廢し、成吉思汗紀元に改め、七百三十二年とした。又蒙古旗を制定し、綏遠市を厚和浩特といふ蒙古語に改め、着々として蒙古人の蒙古を建設してゐる。

### 蒙疆聯盟委員會とは何か

蒙疆聯盟委員會とは、蒙古聯盟自治政府、察南自治政府、晋北自治政府の三つが國民政府の羈絆から脱して新生への道を歩み出し、共同目的達成のため協調統制して行かうために、昭和十二年十一月二十二日、張家口に於て結成調印式をあげたものである。蒙古聯盟自治政府は前述の通りであるが、察南自治政府は、察哈爾省中の南部に屬する長城と長城の間に圍まれた萬全、懷安、宣化、懷來、赤城、龍門、延慶、涿鹿、陽原、蔚の十縣を地域とし、昭和十一年九月張家口に設立せられたものであり、晋北自治政府は、察南の西に續き、山西省の北部、大同、陽高、左雲、

を極む。人口十三五萬。附近は米の主産地とて支那第一の米穀市場あり。茶も亦多く取引さる。

**武昌** 湖北省の首都。揚子江の南岸にあり、北岸の漢口、漢陽と鼎立す。市街は城廓の内外に連なり、官衙、軍事機關、學校等あり、工業また盛なり。粵漢線の起點にして水陸兩用の便あり政治上、軍事上樞要の地なり。人口五十萬と稱するも實は十萬餘ならんと。昭和十三年十月皇軍占領。

**北京** 最近まで北平と呼ばる。北支第一の大都會にし

右玉、平魯、山陰、天鎔、渾原、廣靈、靈邱、懷仁、廣州、朔州の十三縣民衆が、昭和十一年十月大同に設立したものである。當時は國民政府の羈絆を脱しきれない不完全な自治政府であつたが、支那事變により皇軍が支那軍閥を追つて以來は、全く高度の自治制を布き、この三つの自治政府が漢蒙三百萬民衆の利福のために協力することになつたものである。この蒙疆聯盟地區には物産資源極めて多く、家畜數は、羊百二十萬頭、馬三十六萬頭、牛四十六萬頭、駱駝十萬頭と云はれ、鑛産物には鐵・石炭・石綿・雲母・天然曹達等があり、鐵は、綏遠と察南に一億數千噸を埋藏し、察南の龍烟鐵鑛は殊に埋藏量も豊富で且つ良質のものである。石炭も察南地區が五億噸、大同が百二十億噸、綏遠方面が四億噸と稱せられ、大同の石炭は世界一の良質である。鐵道は北京より包頭に通ずる京包線八百八十料が唯一のものであるが、交通、産業、政治部面に於て今後の發展が大いに豫期されてゐる。

### 西康省はどんな所か



て、内城と外城の二部より成り、内城は高さ十米餘、周圍二十六軒。九門を開き中央に舊皇城あり、紫禁城といふ。外城は内城の南面を擁して東西に長く南北に短い長方形をなし、高さ七米、周圍五十軒餘。七門を有し、廣安門はその一つなり。内城内には官衙、兵營、外國大公使館、要人住宅等あり、外城内は商業地なり古來幾度か都を營まれ、名所舊蹟に富み、天壇、先農壇、日壇、地壇、臥佛寺、西山の五塔寺、萬壽山の順和園、玉泉山の靜明園、碧雲寺、隆福寺、柏林寺等殊

西康省は四川省の西に位し、西は西藏、北は青海省、南は雲南省、ビルマと境してゐる。面積十四萬三千四百方哩で、約我が内地ほどあり、人口は我が横濱市民位の九十七萬人に過ぎない。住民は喇嘛教を信じ、金と鹽の産額多く、なほ銅・鐵・石炭・石油等の埋藏が相當にあるといはれてゐる。政治的には國民政府も今迄殆んど放任してゐたが、西藏からする英國の壓迫が甚しいので、軍備を固めて追拂つて貰ひたいと、頼むべからざるものを頼んで來た程で、以て英國の魔手の恐しいことが分る。

神祕の國西藏

西藏は西康省の西にあり、南はヒマラヤ山脈を隔て、ムネバル、プータンに接し、西は印度、北は崑崙山脈によつて新疆省、青海省と境してゐる。一帯がヒマラヤ山脈の餘波を受けた世界最高の高原地帯で、西方は最も深い谷底ですら海拔二千五百米、だと云はれ、人跡未踏の大森林地帯である。面積四十六萬九千方哩、我が

に著明なり。支那事變の時多少の動搖ありしも概して平穩にして逸早く治安維持會組織せられ、昭和十二年十二月十四日早くも中國臨時政府成立し、新支那の中心地たらんとす。保定 河北省中部にあり、省政府の所在地。京漢線に沿ひ、北京を去る九十哩なり。高さ十數米の城廓に圍まれ、附近物資の集散地として經濟上の重要地點たり穀物、鐵、味噌漬等を名産とす。有名なる保定軍官學校あり。清代よりの學校にして蔣介石を初め現代支那の高級武官を生みし所とし

内地の三倍以上あり、人口は三百七十萬と稱されてゐるが、實は七十萬人位しかゐないともいはれてゐる。住民は喇嘛教を信じ、茶を非常に愛好するが、その産出は殆んどなく、綿布と共に巨額のものを印度から輸入してゐる。物産は黎牛・羊毛・麝香及び特殊な毛織物のほか、金・銀・沼鹽・礶砂を産する。政府的には三十餘年前から支那本部の羈絆を離れ、全く英國によつて支配せられ、軍事、交通、通信、警察等みな英國人が行つてゐる。何分にも殆んど道らしい道もなく、四川省の成都から西康省を横斷して首都拉薩に行くのが唯一の道路で、行程六千支里、馬に乗つて約七十八日かゝるといふのだから以て知るべきである。然も英國はカルカッタからヒマラヤ山脈を潜つて拉薩への鐵道を布き、時間はずとより距離にしても短いのだから、英國の手ののびるのも無理はない。

青海省はどんな所か

青海省は西康省、西藏、新疆省、甘肅省等に圍まれ、北に祁連山脈あり、中央



て名あり。人口十萬。  
**包頭** 綏遠省にあり、京綏線の終點なり。黄河左岸に臨み水陸の交通を以て附近の農産物、毛皮、棉花、羊毛等を集散す。人口五萬。赤色中央ルートたりしが、皇軍は昭和十二年十月早くも占領す。

**北支五省** 河北、山東、山西、綏遠、察哈察の五省をいふ。  
**香港** 廣東省の東南端九龍半島の沖にある小島にして九龍と共に英領なり。一八四二年阿片戦争の結果英國に割讓せしめらる。それよ

に崑崙山脈の餘波を受け、東南部は山脈地帯、西北部は盆地である。面積約二十七萬方哩、我が内地の二倍より稍小さく、人口は我が名古屋市位の百二十萬人である。住民は蒙古人同様に牧畜と狩獵を事として原始的生活を営み、綿羊・羊・牛・馬・駱駝等を飼ひ、農産物としては麥・粟・蕎麥、鑛産物に金・銀・銅・鉛・石炭、岩鹽等あり、ほとんどまだ開發せられてゐないが、それ等の埋藏量は相當なものだといはれてゐる。

### 赤化した新疆省

**新疆省**は南に崑崙山脈、中央に天山山脈、北にアルタイ山脈あり、中央にタクラマカン沙漠が漠々として擴がり、餘り有難い土地ではない。面積七十萬五千七百方哩、我が内地の五倍ほどもあり、人口二百五十萬人である。西北一帯はソ聯に接し、南方半分は印度に接してゐるのに、支那本部までは百日の旅程にあるといふのだから、支那本部から離れてソ聯や英國に支配されてゐるのは無理からぬ事、英國

り英國は一寒村に巨費を投じて港灣、都市を建設し、海岸より山頂にまで層々と重なる都市は純英國式の美觀を呈す。市街を英名でヴィクトリヤと稱し、海深く港廣く、東洋屈指の良港にて、香港政廳あり、東洋艦隊の根據地として要塞を擁し、各國領事館あり。貿易盛にして、我が銀行會社商館等も存在す、人口三十八萬。在留邦人また事變前には千六百餘人居たり。我軍の南支作戦以來、この英國最大の援將ルートは塞がれ貿易もまた一般に衰へたりといふ。

は南方カラコルム山脈を越えて頻りに手を延ばさうとしてゐるが、山脈の上に大沙漠に遮られて思ふにまかせず、それに引替へソ聯は國境にまでトールクシブ鐵道を敷き、各方面から自動車路を完成し、殊にカザク地方から塔城に出で、首都迪化を經、天山山脈の北路を傳つて寧夏を横斷し、陝西省の西安に達する大自動車路は、ソ聯が支那に働きかける赤色ルートの唯一のもので、ソ聯の力が新疆に普く、殆んど赤化されんとしてゐる有様である。省政府は國民政府任命の督辦を首席としてはゐるが、顧問はソ聯人であり、ソ聯は無遠慮に政治監察總管理局を設けて公々然と内政に干渉してゐる。住民はトルコ族が多く概ね回教を信じ、赤化に甚だ飽足らぬ感情を持ち、先に馬仲英の反亂等があり、常に騷擾を繰返せば、赤軍は爆撃機を以て威嚇爆撃してゐる有様である。産業は牧畜と僅かの農業のほか見るべきものはないが、金・銀・白金・石油・銅・鐵・石炭・鹽・寶石等の埋藏量少ならずと稱されてゐる。なほソ聯はこゝから印度洋に出ようといふ氣持もあり、それが南部の英國の勢と常に衝突してゐる。



**澳門** 廣東灣の入口にある島にして、香港の西六十四料を距つ。ポルトガル領にして、附近の島々を併せ、二十八平方料、人口十萬と稱す。その昔海賊の巢窟たり。明朝その討伐に窮しポルトガルの力を借りて成功し、報酬として租借地とせしむ。明治二十年遂にポルトガルに割譲す。ポルトガル人が世界に雄飛せし當時は澳門は南支隨一の商港なりしも、香港が出来てより勢力を奪はれ、今は殆んど昔日の倂なし。

**揚子江** 長江とも呼び、水源を遠く西藏、西康省に發

### 支那事件の經過

(昭和十二年七月より昭和十四年三月迄)

- 昭和十二年 七月七日 午後十一時四十分、支那第二十九軍の一部蘆溝橋北方地區で我軍を不法射撃す。
- 七月十一日 香月中將支那駐屯軍司令官に任補。第三艦隊警備につく。我が内閣北支派兵に決し、聲明發表。
- 七月十三日 日支兩軍馬村に衝突。
- 七月二十六日 香月中將、宋哲元に最後通牒を發す。
- 七月二十八日 第二十九軍膺懲戰開始。
- 七月二十九日 通州事件勃發。我軍永定河左岸一帶占據。
- 八月八日 我軍北平入城。

し、全長三千四百哩、支那第一、世界第五位の大河なり。そのうち二千百十六哩は相當の汽船の航行に便し小蒸汽船、民船の航行し得る本流支流を合すれば優に數萬哩の水運ありといふ。大別して三つの部分となし宜昌上流を上揚子江、漢口、宜昌間を中揚子江、漢口より下流を下揚子江といふ。上揚子江は高山重疊たる中を流れ、川筋は屈曲多く、激流渦を巻き、岩礁多く、岸は斷崖絶壁にして地獄の釜の底を行く如く、正に天下の絶景なり。中流は川幅廣く、水流も稍ゆるやかな

- 八月九日 大山中尉射撃事件上海に起る。
- 八月十三日 上海陸戰隊支那兵に射撃さる。
- 八月十四日 支那機我が上海陸戰隊本部等を爆撃。我が廟議上海出兵に決す。
- 八月十五日 青島で我が水兵二名狙撃さる。
- 八月二十三日 我が海軍航空隊は南京、南昌を渡洋爆撃す。帝國政府、南京政府我が陸軍、羅店鎮、吳淞鎮に敵前上陸。
- 八月二十五日 八達嶺、張家口占領。第三艦隊は支那海沿海航行遮斷宣言。
- 八月三十一日 吳淞鎮占領。
- 九月十三日 大同占領。
- 九月十五日 北支方面の最高指揮官に寺内壽一大將を、上海方面最高指揮官に松井石根大將を任補の旨發表。
- 九月二十四日 保定入城、滄州、平地泉占領。



るも淺瀬多く、昨日通りし所も明日は航行出来ぬ事多し。下流は水流愈々緩かに川幅愈々廣く、河口附近は大海の如くで對岸を臨む能はず。中流以下は中支をW字型に横斷し、宜昌先づ其突端にあり、岳陽が第一屈折點に位し、漢口は第二屈折點にあり、第三屈折點には九江、最後に南京ありてそれより東流して海に注ぐ上流は水清きも、中流以下は濁流滔々たり。されど西康、雲南、貴州、四川、湖北、湖南、江西、安徽、江蘇、浙江の十省を流れ、流域の沃野七十萬方哩、人口

- 十月十日
- 十月十四日
- 十月十七日
- 十月二十六日
- 十一月五日
- 十一月六日
- 十一月九日
- 十一月十二日
- 十一月十九日
- 十一月二十日
- 十一月廿二日
- 十一月廿五日
- 十二月九日

石家莊陷落。  
綏遠歸化城占領。  
包頭占領。  
大場鎮陷落。  
杭州灣敵前上陸。  
日獨伊防共協定ローマで調印。  
太原占領。龍華占領。上海包圍陣完了す。  
上海の南市、南翔占領。  
蘇州、常熟、嘉興占領。  
宮中に大本營設置。國民政府重慶に移轉。  
張家口に蒙疆聯合委員會設置さる。  
無錫占領。  
蕪湖、鎮江占領。

二億を養ふ。悠々たるものなりといふべし。  
榆林 海南島の南方にある唯一の良港にして一萬噸級の船十數隻を入るゝに足る日露戰爭當時バルチック艦隊の碇泊せし所として名あり。米、木材、果實等を輸出す。  
洛陽 河南省北部にあり、隴海線の鄭州と潼關の中間に位す。歴代都を置かれし所にして歴史に名高き名所舊蹟多く、城東の白馬寺、城南龍門の千佛等著名なり殊に西南の嵩山は支那五岳の一にして、達磨が面壁九

- 十二月十三日
- 十二月十四日
- 十二月廿四日
- 十二月廿七日
- 昭和十三年
- 一月十日
- 一月十一日
- 二月三日
- 二月十八日
- 二月二十三日
- 二月二十五日
- 三月十八日

南京陷落。浦口占領。  
中華民國臨時政府北京に成立。  
杭州陷落。  
濟南入城。  
我が海軍青島に敵前上陸す。  
大本營御前會議開かれ、對支最高方針決定、爾後國民政府を對手とせずとの重大聲明を十六日發表す。  
芝罘占領。  
我が海軍航空隊重慶を初空襲す。  
畑俊六大將 上海方面最高指揮官となる。  
南昌で大空中戦を展開。  
崇明島上陸占領。



年せしといふ少林寺あり。されど現在は全く昔日の佛を止めず、廢墟寂しく、人口二三萬にして、附近の穀類、棉花、羊毛を集散す。蘭州 甘肅省の首府にして省の中部、黄河上流の右岸に臨む。人口八萬乃至十萬甘肅省第一の都會なり。黄河又は道路にて青海、寧夏、新疆に通じ、支那邊疆諸地方と支那本部との物資の伸縮市場として殷盛を極む。隴海線の終點と目さるゝも未だ通ぜず。されど南方赤色ルート的重要地點にして事變後ソ聯の手大いに延び宛然赤都の觀あり。我空軍

- 三月二十四日 國家總動員法案帝國議會で可決さる。
- 三月二十八日 中華民國維新政府南京に成立す。
- 四月三日 臺兒莊陷落。徐州包圍陣成る。
- 四月十八日 傷兵保護院開廳す。
- 四月十九日 沂州占領。
- 四月二十九日 漢口上空で敵機五十一を撃墜。
- 四月三十日 及川中將支那方面艦隊司令長官となる。
- 五月十一日 我が陸戦隊厦門を完全占領す。
- 五月十九日 徐州完全占領。
- 五月二十六日 近衛内閣改造。宇垣、荒木、池田氏等入閣。
- 五月二十八日 歸徳城占領。
- 六月三日 板垣中將陸軍大臣に、東條中將陸軍次官に親補。
- 六月六日 開封占領。

は昭和十四年一月來再三空襲し、ソ聯機百餘を爆破す。蘆溝橋 北京の西方十料の地點を流る永定河に架せられし石橋にて、昔伊太利人マルコポーロが架けしとの傳説あり。今は支那事變發祥の地として知らる。廬山 江西省の北部、九江の東南方を鄱陽湖の西岸に沿ひて連なる大小二十程の一連の群峰中最も高き峯にして、標高約千六百米。牯嶺とも云ひ、山形面白く、樹木鬱蒼と繁り、奇岩怪石を連ぬる中に碧湍岩を嚙んで流れ、風光頗る絶佳。然

- 六月十日 鄭州南方で京漢線を遮斷す。
- 六月十一日 支那軍黄河の提防を破壊す。ために難民十萬。
- 六月十三日 安慶占領。
- 六月十七日 潜山占領。
- 七月四日 南昌空襲、敵機五十一を撃墜。
- 七月十二日 ソ聯兵張鼓峯を占據す。
- 七月二十六日 九江陷落。
- 七月三十一日 我軍張鼓峯、沙草峰を占領。
- 八月一日 宿松占領。
- 八月三日 海の荒鷺漢口上空襲、三十二機を撃墜。
- 八月十日 日ソ間停戰協定成立す。
- 八月二十一日 星子占領。
- 九月十一日 富金山占領。



も氣候溫暖にして山中は夏は七十五度を越えず、絶好の避暑地なり。故に蒋介石を初め多くの支那要人及び外國人富豪要人の別荘を構ふる者甚だ多し。附近に五老峰、香爐峯、雙劍峯、白雲峯、蓮花峯、九奇峯、鶴鳴峯、金輪峰、慶雲峯、天池峯、七尖山、東孤山、黃龍山、七賢峯、牯牛峯等あり、みな風光明媚を以て知らる。この群峯を廬山山脈といふ。世に廬山會議といふは蒋介石の別荘へ要人を集めて開きしものなり。我軍十三年夏以來攻撃、十四年四月全山を攻略す。

- 九月十七日
- 九月二十二日
- 九月二十九日
- 十月十二日
- 十月二十日
- 十月二十一日
- 十月二十五日
- 十月二十七日
- 十一月三日
- 十一月九日
- 十一月十一日
- 十一月十二日
- 十一月十五日

武穴占領。  
 中華民國政府聯合委員會成立す。  
 田家鎮占領。宇垣外相辭任。  
 南支バイアス灣敵前上陸。  
 大冶占領。  
 廣東入城。  
 漢口の一角を占領。  
 武漢三鎮を完全占領す。德安陥落。  
 帝國政府對支不動の方針を聲明す。  
 山西省中部の共産軍を殲滅。寧武を占領。  
 岳州占領。  
 支那軍狼狽し自ら長沙に火を放ち灰燼とす。  
 陸軍航空隊は長驅赤色都市西安、蘭州、寧夏を大空襲、西安で十

### 支那要人略傳

**殷汝耕** 浙江省平陽縣の人。早稻田大學政治科出身。第一次第二次革命に活躍し昭和元年郭松齡が反張作霖軍を起すや其の外交部長となつたが、事敗れて我國に亡命。昭和十一年北支に自治運動起るや冀東防共自治委員會を組織し、次いで冀東自治政府主席に就任して日滿支三國提携に盡力したが昭和十二年七月通州事件に於て部下に捕はれ、下野した。本年五十歳。

- 十一月十八日
- 十一月十九日
- 十一月廿六日
- 十二月三日
- 十二月五日
- 十二月九日
- 十二月十六日
- 十二月十九日
- 十二月廿二日

機を粉碎す。  
 南支方面最高指揮官古莊幹郎中將は病氣のため安藤利吉中將と交替を發表。  
 大別山系英山城 占領。  
 廣東方面英支國境の殘敵掃蕩戰完了。  
 九江を完全占領す。  
 南支江門を占領。  
 北支方面最高指揮官寺内大將は杉山元大將と更迭した旨發表さる。  
 興亜院開廳。柳川平助中將 長官に就任。  
 米國は援蔣クレヂット二千五百萬弗を、英國は五十萬磅のクレヂットを設定した旨發表した。  
 近衛首相は對支聲明を發表す。



我が陸軍通信學校を卒業し  
歸國後長く陸軍部内にあつ  
たが大正十二年山東省魯大  
公司支配人となり、昭和八  
年北平政務整理委員兼北支  
停戰協定委員となり、十年  
北寧鐵路局長として黃鄂の  
片腕となつて活躍し、中國  
臨時政府設立さるゝや建設  
總署長に擧げられた。本年  
五十一歳の親日家。

**于學忠** 山東省蓬萊縣の出  
身。通州隨營學校卒業後、  
熱河都統姜桂題の麾下とな  
つたが、のち吳佩孚の部下  
となり、吳と共に四川落ち  
をし一旦郷里に歸つたが、

- 十二月廿三日
- 十二月廿六日
- 十二月廿九日
- 十二月三十日

中國國民黨領袖汪兆銘重慶を脱出す。  
陸空軍は初めて重慶を大空襲す。  
山西省大寧を占領す。  
汪兆銘は國民黨宛に聲明を發し、近衛聲明を信じ無役な抗戰を止め、親日防共政策をとれと勸告す。

昭和十四年

- 一月三日
- 一月五日
- 一月八日
- 一月十一日
- 一月十三日
- 一月十五日

上海方面最高指揮官畑大將は、山田乙三中將と交替した。  
近衛内閣總辭職し、平沼内閣成立す。  
汪兆銘は國民黨に宛て第二次和平勸告書を發表した。  
陸空軍は湖南省芷江を空襲、敵機十五を爆破。  
ハンガリアは日獨伊防共協定參加を聲明す。  
陸空軍は重慶を空襲、大空中戦で敵機五を撃墜。この日、南支花縣を完全占領す。

昭和三年張學良に屬して平  
津衛戍司令となり、昭和七  
年河北省政府主席、十年甘  
肅省政府主席、十二年青島  
衛戍司令となり支那事變に  
逢つたが、十四年吳將軍蹶  
起に際し再びその麾下に參  
じようとしてゐる。本年五  
十歳。

**雲王** 蒙古の王族。王族  
中の長老で、徳王の蒙古人  
による蒙古の運動に賛成し  
内蒙古自治委員會生れるや  
その委員長に擧げられ、昭  
和十二年蒙古聯盟自治政府  
興るや委員長となり、烏蘭  
察布盟の盟長となつたが、

- 一月十六日
- 一月二十六日
- 二月十日
- 二月十二日
- 二月十四日
- 二月二十日
- 二月二十四日
- 三月一日
- 三月四日
- 三月八日
- 三月二十七日
- 三月二十九日

滿洲國は日獨伊防共協定參加を聲明す。  
吳佩孚は歴史的蹶起通電を各方面に發した。  
海南島北岸に敵前上陸、直ちに海口、瓊山を占領す。  
海空軍雷州半島の要地を爆撃。  
海南島南岸に敵前上陸、三亞港、榆林を占領す。  
陸空軍蘭州空襲、三十六機を撃破す。  
陸空軍蘭州空襲、敵機五十餘を撃破す。  
江蘇省の殘敵を追ひ、淮陰を占領す。  
海陸空三軍共同して海州を占領す。  
英國は支那爲替安定資金として一千万磅のクレジットを設定す。  
江西省首府南昌を占領す。  
武寧を占領す。  
この間不斷に占領地區の殘敵を掃蕩し、戰果を確保す。



昭和十三年七十三歳をもつて歿した。

閻錫山 我國陸軍士官學校歩兵科第六期卒業生。第一革命に兵を太原に擧げ、山西都督に就任し、山西省の獨立を宣して清朝の軍と戦つて敗れたが、南北統一後は正式に山西都督となり大正六年山西省長を兼任し、専ら山西省の統治に力を盡し山西をして模範省たらしめた。その間反蔣の軍を起したこともあるが、妥協して専ら山西の統治に力を致し、國民政府の軍事委員會副委員長に就任した。年五

支那事變一年の戦果

昭和十二年七月七日夜半北京附近の蘆溝橋に銃聲が響いてから未曾有の支那事變は急速に展開し、皇軍は破竹の勢で各地を占領し、一年後には面積にして百二十五萬方料、支那本部の約半分、我國全土の約二倍に當り、政治的、經濟的、文化的に重要な都市は二三を餘すほか悉くこれを占領し、鐵路の制壓六千料、全支鐵路の約六割に及ぶ。而して敵の損害は、遺棄死體だけで、北支方面で約十一萬、徐州會戰前後合せて約十三萬、中支方面で二十五萬、蒙疆方面で約三萬、合計五十二萬人に達し、負傷者は明瞭でないが恐らく百數十萬人はあつたらう。次に航空機の撃墜七百三十機、地上爆破五百四十六機、總計千二百七十七機。鹵獲品は、小銃十八萬餘、輕機關銃六千六百八十五、機關銃二千八百七十八、拳銃五百六十五、青龍刀一萬二千、銃劍五千六百餘、槍五百、野山砲四百八十六、迫撃砲一千五十一、重砲二百十八、高射砲七十七、戰車砲十三、戰車、裝甲自動車等二百七十五、飛行機

十六歳。

王克敏 浙江省杭縣の出身清朝時代駐日公使館參贊、留日支那學生監督として我國にあり、歸國後銀行界に入つて中國銀行總裁となり大正六年以來直隸派の財政總長に歴任したが、十三年馮玉祥のクーデターで直隸派の没落と共に辭任し、天津各銀行の委員に擧げられ一度は國民政府に逮捕せられようとして奉天派に投じた事もあるが、昭和七年東北政務委員、北平政務整理委員、冀察政務委員等に擧げられ、支那事變後北京に

三、機關車八九、車輛二千七百七十一、裝甲列車八、探照燈二、軍馬千、その他各種彈丸無數、なほ海軍が沈没或は大破せしめた支那軍艦四十三隻、約四萬三千噸で、支那全海軍力の六割に當る。これに對し我方の損害は、飛行機八十九、水雷艇一、掃海艇一、小型舟數艘、戰死者三萬七千七百餘であつた。然もその後皇軍は京漢鐵路を南下して武昌、漢口を陥れ、南支に進んで廣東、海南島を手中に收めた。

支那の一般常識

浙江財閥とは何か

浙江財閥とは、浙江省や江蘇省出身の支那實業家・金融業者群に對して日本人がつけた名前、支那人はこれを華東財團と呼んでゐる。その中心は宋子文・孔祥熙等の宋一門であり、その下に浙江財閥の大御所と云はれる張人傑（全國建設委員會主席）張江權（鐵道部長）李銘（浙江實業銀行取締役會長）吳鼎昌（實業部長）



現はれて中國臨時政府を組織しその行政委員となり今日に至る。本年六十六歳。

**汪兆銘** 字を精衛といふ。廣東省番禺縣の人。我が法政大學出身で、留學中に我國に亡命中の孫文に近づき中國同盟會に入つて革命運動に参加し、明治四十四年清朝の攝政戴溥の暗殺を企て短刀を呑んで潜行したが捕はれて死刑を宣告された所が肅親王に奇才を惜まれて死を免れた。第一革命後釋放せられ、南北講和會議に活躍し、唐紹儀を説いて袁世凱と孫文とを握手せし

虞治郷（證券交易所理事）杜月笙（中國銀行理事）等を初め、政府財政部・銀行會社等の重役及び幹部役員八百七十七名中六百八十三名までは浙江、江蘇の出身者だといはれてゐるから、以てその勢力の程が判らう。彼等が今日の大をなしたのは海南島出身の宋一家が革命の父孫文と結び、孫文及び蔣介石と縁戚關係となつて革命運動を財的に助け、宋一家と關係深い浙江財閥がこれになつたので、國民革命成就と共に報酬的に幾多の便宜と要職を授けられ、遂に今日のやうな指導勢力を持つに至つたのである。彼等の多くは上海に本據を持つが、上海が我が軍の手に期し、抱合關係にある蔣介石の運命も風前の燈火となつた今日では、その將來は大いに氣づかはれてゐる。

### 華僑とは何か

華僑とは、一般には海外に出てゐる支那人の總稱であるが、もう少し狹義にいふと、海外に定住してゐる商人や出稼人及びその子孫のことである。一九三三年前に

めたが、革命失敗後フランスに亡命し、歸國後孫文の廣東政府を輔けて革命に盡力。大正十四年孫文死後は胡漢民、廖仲愷と國民黨の中心となり、國民政府政治委員長兼宣傳部長となつたが、黨内の左右軋轢に嫌らず外遊した。その後歸國し張發奎等と反蔣運動を起し閩錫山、馮玉祥等をも加へて反蔣派の大同團結を策したが事破れて香港に逃れ、胡漢民が蔣の南京政府と離れて廣東政府を起すやその主席となつて長く蔣介石と争つた。併し南京廣東の妥協成るや南京に入つて昭和

は上欄の表のやうに約一千万人あつたが、最近では六百萬乃至六百五十萬人に減少し、その九割は東洋に居り、我國にも約二萬人はゐる。華僑の大多數は出稼人であるが、中には大商人も多く、その經濟活動はその地でも侮るべからざるものがあつた。然も彼等が本國の家族に送つたり、政治家達に貢ぐ金額は莫大なものであり、その全盛時代には年四億元に上つた。これが、支那が永年輸入超過でありながら比較的ピクともしない大きな理由で、従つて華僑の存在が、支那に於て經濟的にも政治的にも非常に重要視されてゐる所以である。汪兆銘は華僑の信用絶大といはれ、従つて彼の去就は國民政府内に大きく響くのである。

### 上海工部局は何をする所か

上海の工部局とは、上海の共同租界の行政事務を取扱つてゐる所で、市役所と警視廳と裁判所を兼ねたやうな仕事と權限を持つてゐる。一八五四年に組織され、工部局には市參事會があり、日英米の參事會員から組織され、英五、米二、日二の九



五年行政院長となつた。併し張學良の抗日政策に反對して下野外遊し、張學良が熱河戦に敗れて下野するや再び行政院長となつた。所が昭和八年刺客に狙撃され重傷を負ふて下野し、獨逸に靜養し、歸國後も國民黨第一の元老として重きをなしてゐたが、支那事變勃發後蔣介石が容共抗日主義に深入りするのに慍らず、昭和十三年十二月秘かに重慶を脱出して國民政府の方針に反對聲明を發し多大の反響を呼んだ。今後の動靜こそ注目し直する。今年漸く五十四歳。

人) 吏員も警官も各國人が雜然と混つてゐるが、最近までは英國の勢力が強く、主腦部の大半は英人であつたが、支那事變以後、その椅子が漸次日本人の手に移りつゝある。工部局とは土木局のやうな名前であるが、元來これは英國が、上海を初め支那各地に租界を設け、鐵道、道路、電信電話等を敷設した時、土木監督事務所として設置したものが、必要に應じていつの間にか仕事の範圍を増し、今日に至つたからである。

### 租界と租借地との相違

支那には各國の租界や租借地があるが、租借地は何年間か借りたもので、その期間内は自分の領地同様に取扱はれるが、租界は、その國民の專屬居留地としてその國民が永久的に居住し、家屋を所有し、營業の自由を得てゐる土地で、行政權は借主が持つてゐるが、土地の所有權は貸主にあり、地租を取る權利、その地域内に居住する自國民を裁判する權利等を持つてゐる。一般に對等の交際をする文明國間で

王樹常 奉天省遼中縣の日本陸軍士官學校及び陸軍大學を出、奉天軍の要職に就き、のち顧維鈞内閣の陸軍次長、奉天軍第十軍長となり、奉天軍が京津に進出するや第二軍長として天津に入り、昭和六年河北省主席となり、更に平津衛戍司令軍事參議院副院長兼甘肅綏靖主任となる。

王正廷 浙江省奉化縣の天津北洋大學卒業後、我國に二年留學、米國ミシガン大學、エール大學等を卒業し、第一革命には黎元洪麾下となつて活躍し、外交界

は、お互ひの國民はお互ひの國へ行つても、何處でも住居や營業の自由を持つてゐるが、支那のやうに治外法權の國では、支那國內で自由に居住すると何時、どんな災難に遭ふかも知れぬので、各國とも或る土地に居住する時は必ず租界を設けて自國民の保護をする。我國でも明治初年には横濱や東京に外人租界があり、極く一部分は最近までその權利を繼續してゐた所があつたが、今は全くなかつた。

### 海關とは何か

海關とは支那の開市場にある税關のことで、上海、廣東、寧波、廈門、福州、天津、龍口、芝罘、威海衛、青島、南京、漢口、武昌、長沙、重慶等三十九箇所に海關及びその出張所がある。海關はもとより支那政府の財政部に屬するものではあるが、官吏の腐敗や長髮賊の亂、義和團の變等によつて屢々その事務が滯滞したり停止したりしたので、業を煮やした英米佛三國は一八五四年に上海海關協定を結んで各國から一人づゝ委員を出して管理することとし、一八五八年には外國人を總



に入り、巴里平和會議には支那全權代表となり、昭和三年國民政府外交部長となり、滿洲事變には抗日學生に襲はれて重傷下野したが同十一年駐米大使となる。本年五十八歳。

**王寵惠** 廣東省東莞縣の香港皇仁學院、天津北洋大學卒業後日本に留學、更に米國エール大學で法律を専攻し、英佛獨に遊び、伯林國際法學會員に選ばれる。歸國後革命に参加し、司法總長、教育總長、修訂法律館總裁を経、巴里平和會議には支那代表となり、昭和六

稅務司に任命するに至つて海關行政は全く外國人の手に歸し、次いで一八六七年以後は支那が外國の借款に對して關稅收入を擔保としたので、全く海關權は外人の手に移つてしまつた。中でも對支貿易の最も多かつた英國はその實權を握り、爾來總稅務司は英人と定まり、職員も亦英人が最も多數を占めた。即ち昭和十一年末現在によれば、幹部級の職員は、英人五十一、日本人十四、米人十、佛人二、ソ聯、伊各一といふ状態であり、海關收入の金の保管まで外國銀行に委ねるやうになつた。海關收入は年總額約三億圓であり、内約七千萬圓が擔保とする外債の元利支拂に、約一億數千萬圓が内債の元利支拂に充てられ、残りが支那政府の收入となるのである。そのうち上海海關は收入が最も多く、總額の約四割四分を占めてゐるが、この上海を初め天津、青島、南京等、主要海關の大半を我が國に抑へられてしまつたので、今や國民政府は海關收入全くなく、財政部收入の最重要部を失つて四苦八苦の態である。尙この状態のため、職員の國別も著しく變化し、今では本邦人の實權裡に歸してしまつた。

### 藍衣社とは何か

年にはヘーグの國際裁判所判事となる。昭和十一年これを辭し、十二年外交部長となる。本年五十七歳。歐米派の巨頭で、支那第一の法律家。

**何應欽** 字を敬之といふ。貴州省興義縣の人。我が陸軍士官學校第十一期歩兵科出身で蔣介石とも同期生。我國滯在中孫文の中國同盟會に入り、第一、第二次革命に参加し、失敗後我國に亡命し、後故山に歸つて講武學堂を創立し、大正十四年蔣介石が黄埔軍官學校を設立するや招かれて教頭と

藍衣社とは、今から八・九年前、黃浦軍官學校出身の將校二千が中心となつて組織せられた秘密結社で、社員三千、陳果夫を書記長とし、戴天仇・宋美齡・朱紹良を幹部とし、十人一組として各地に潜行するが、その手先となつて躍る者は幾萬なるを知らない。目的は蔣介石の腹心となり、蔣介石獨裁制度を成就するためには如何なる事をも敢てするといふ恐るべき團體である。故に目的貫徹のために反對者を暗殺するなどは朝飯前で、ロシアに於けるチエカ或はゲ・ペ・ウの如き實力を持つてゐる。秘密結社だから最近まで人に知られなかつたが、滿洲事變當時蔣介石に反對した汪兆銘一派に對して非常な壓迫を加へたことによつて表面に現はれた。彼等は蔣介石に反對するものは左右の別なく暗殺した。上海で共產黨系の者が相次いで暗殺されたのを初めとし、天津で親日派の白逾桓、胡恩溥を暗殺したのも彼等である。彼等の魔手は、軍隊にも、政界にも、財界にも、學界・學生間にも及び、



なり教導團を組織し、爾來  
蔣介石の懐刀となり、第一  
師長、第一軍長、國民革命  
軍總司令部參謀長等を歴任  
して軍功あり、昭和五年國  
民政府軍政部長となり、數  
回これに就任し、蔣の信任  
頗る厚く、一般の人望も高  
い。本年やうやく五十。知  
日派である。

何健 湖南省醴陵縣の人  
保定軍官學校卒業後、唐生  
智の麾下に屬して各地に轉  
戦、昭和二年安徽省主席と  
なつたが、唐生智が我國に  
亡命してからは其の軍を率  
ゐて湖南に入り、白崇禧と

事變前は非常に跳梁を逞うしたものであつた。

### C・C團とは何か

C・C團とは、國民黨の大立物で、蔣介石の腹心たる陳立夫、陳果夫の兄弟を中  
心に、蔣介石幕下の文治派の大同團結であり、藍衣社が武人中心のテロ團であり、  
「武の私黨」であるに對し、C・C團は「文の私黨」ともいふべく、政治面や文化面  
を通じて抗日思想を鼓吹することを目的としてゐる。但し最近では解散せられ、鐵  
血青年團その他に合流し、テロ行爲に傾きつゝある。

### 紅槍會とはどんな匪賊か

紅槍會と稱する匪賊が滿洲や北支にあつて皇軍に執拗に抵抗して來るが、これは  
只の匪賊ではない。もとは支那の宗教的祕密結社である白蓮教の流れを汲む信徒の  
衆團で、元來は軍閥や匪賊に壓迫されてばかりゐる土民が、これを防ぐために組織

戦つて敗れ、白崇禧と妥協  
して湖南省主席となつたが  
白崇禧と蔣介石と戦つて敗  
れた時、廣西派と關係を斷  
つて蔣介石につき、國民政  
府から湖北省主席に任ぜら  
れ、昭和十年中央執行委員  
になつた。本年五十一歳。

顧憲慶 江蘇省上海縣の人  
米國のヴァージニア大學卒業  
後、在米公使館參贊となり  
歐米各國の大公使館に歴任  
し、昭和七年駐米公使とな  
り、滿洲事變に際し國際聯  
盟の支那代表として活躍、  
後駐ソ大使となつたが、昭  
和十一年辭して歸國した。

した武装自衛團で、紅い房のついた槍を持つてゐる所から誰いふとなく紅槍會と名  
づけてしまつた。彼等はその宗教を盲信するところから、入會して修業さへすれば  
彈丸も中らず、刀や槍も通らない、若し死んでも忽ち生れ變る、と信じてゐるので  
非常に勇敢で、馬上紅槍をひらめかして突撃する所は實に天晴である。彼等は滿洲  
から北支、中支一帯に居り、一つの村に一つの會を持ち、會員百萬と號してをるが、  
近頃では本來の面目や使命を忘れてしまつて政治的に利用され、匪賊と化してしま  
つた感がある。

### 紅卍字會とは何か

北支の治安維持や社會事業に大童の活動をしてゐる紅卍字會とは、新興宗教の一  
つたる道院の社會事業部のことである。道院は洪解空・劉福縁兩人が山東省の濟  
南に道場を建て、老子・孔子・釋迦・キリスト・マホメットの五人を教主と仰ぎ、  
これ等を綜合した一種の宗教を説き、扶劫といふ神が、よりによつて豫言したり吉凶



本年六十二。歐米派巨頭。  
 許世英 安徽省建德縣の人  
 徐世昌系として累進し、歐米に派遣せられて法律制度を研究し、大正十一年司法總長たり、十四年段祺瑞執政の下に國務總理を勤め、昭和六年國民政府振務委員會委員主席となり、昭和十年駐日大使に赴任したが事變と共に辭す。年六十五。  
 韓復榘 河北省霸縣の人。年少より馮玉祥麾下の一兵士となり、累進して馮の股肱の勇將となつた。昭和四年馮が反蔣軍を起すや彼は無意味な内亂に参加するを

を占つたり病氣を治したりする。これは民國九年（大正九年）に初めたものであるが漸次民衆の間に浸潤し、支那全國から滿洲にまで弘まつた。國民政府は秘密結社だと云つて解散を命じたが少しも効果がなかつた。道院はこのやうに宗教であり、各人の修養と得度を目ざすものであるが、紅卍字會はその事業の一部として慈善博愛の社會事業をするので、何等政治的色彩はなく、それを超越して救濟事業をし、我が關東大震災にも罹災民救恤に活躍し、今また避難民救濟に當り、新支那復興に忘るべからざる一勢力である。

青幫・紅幫とは何か

青幫の大親分常玉清が皇軍の宣撫に従ひ南京の維新政府に協力すべき事を誓ひ、部下九萬七千人を率ゐて安清同盟會を組織し、爾來會員の獲得に努めてゐた所、南京附近で三十三萬、上海附近で十七萬、合計五十萬人の會員を得たので、昭和十三年十二月六日上海で盛大な結成式を擧げた。一體この青幫とは一種の海賊で、上海

得ずとて馮と別れ、國民政府より河北省政府主席に任ぜられ、後山東省政府主席となり、山東軍を率ゐる。嘗て然たる勢力を張つた。嘗て知日派と目され、支那事變勃發以來も容易に起たすその態度を決しかねてゐたが終に我軍に抗したが時既に遅く、忽ち山東省を占領されたので、國民政府から責任を問はれて死刑となつた時に年四十八。  
 顧維鈞 江蘇省嘉定縣の人  
 上海聖約翰大學、米國コロンビア大學を卒業した哲學博士。歸國して外交畑に入

の紅幫と共に中支に於ける二大秘密結社として絶大な勢力を持つてゐた。青幫は上海から揚子江を中心とする鹽、穀物等の運輸労働者を組織したものであり、従つてその運輸の實權は掌中であり、青幫一度怒れば揚子江の運輸はピタリと止まる。そして如何なる船も掠奪される。彼等は匪賊化した雑軍を大いに憎み、軍用船と見るに直ちに襲つた。併し良民を苦しめる事なく、常に下級良民の味方であつた所に紅幫とは違ふ青幫の特長があつた。青幫は猶上海の阿片窟や阿片密賣業者の急所を握り、彼等から營業保険料として捲上げる金は一ヶ月に數十萬圓に達した。これ等の事から浙江財閥とも深い關係を持ち、従つて國民政府とも利害を共にしたが、浙江財閥が漸く國民政府を見放すや、青幫も亦これとの腐れ縁を斷切つて維新政府に協力を申込んだのである。

支那地名の鎮や屯は何の意味か

支那の地名を見ると、何々縣、何々鎮、何々屯、何々宅などと云ふのが多い。そ



り、巴里媾和會議には全權たり。國際聯盟支那代表、駐英公使、華府會議代表等となり、昭和六年張學良の下に外交事務を掌り、次いで國民政府の外交部長となり、翌年辭して駐佛大使となり現在に及ぶ。本年五十二。歐米派の重鎮。

**孔祥熙** 山西省出身で、孔子七十五世の後裔である。米國のオバリーリン・エール大學等に學び、孫文の國民革命に参加し、大正二年孫文と共に來朝し、東京の支那基督教青年會總監事となる。歸國後山西省の開發に

のうち縣といふのは我國の府縣とはちがひ、縣廳所在地といつた小都會で、大抵都會の周圍は城廓で圍まれてゐる。だから「皇軍寶山縣城に入る」などと縣城の字が使はれるのである。廟行鎮、大場鎮などの鎮は、我が國の村に當り、張家宅とか劉官屯とかの屯や宅は村の中の字に相當する。而して屯の字は北支那に多く、宅は中支から南支に多い。共にその部落にゐた一番えらい人の名を取つたもので、劉官屯とは、劉といふ官員様のゐた部落の意、張家宅とは張家の邸宅がある部落の意で、かういふ大きい邸宅を中心にして大家族制度によつて家族が群がたり家來その他が集つて部落をなしたのであらう。

### 我が興亞政策

#### 東亞協同體とはどんな事か

興亞政策には種々の方針や議論があるが、目下頻りに問題となつてゐるのは東亞

努めたが、大正十三年馮玉祥を助けて曹錕、吳佩孚等の直隸派覆滅運動に従ひ、大正十五年廣東財政廳長となり、次いで國民政府實業部長を歴任し、宋子文を助けて財政部長兼行政院副院長となり、中央銀行總裁を兼ね、支那第一の政治家であり歐米派の巨頭である。宋子文の姉宋霽齡と結婚し従つて宋美齡、蒋介石の義兄に當る。本年五十三歳。

**江朝宗** 安徽省の人。大正元年第一革命當時北京歩軍統領として京師の治安維持に當り、大正六年京畿衛戍

協同體論である。これを一口にいへば、日本、滿洲、支那の三國を中心とする東洋民族の、政治的、經濟的、國防的、並びに文化的統合をはかり、東洋民族の獨立と生存と、尊嚴とを傷つけないところの外力——主として西洋諸國の重壓——を退けて東洋民族自身の手による東洋民族獨立の王道文化を基礎とする理想的な大社會を建設しようとする主張である。

この主張は、我國に於ては既に滿洲事變以前から一部有識者間に論議され研究されてゐたが猶多くの舊勢力のために壓迫せられて廣く強く一般に主張することが出来なかつた。けれども歴史の必然的な動きと、止むに止まれぬ民族の本能的欲求とは、如何なる力を以てしても之を壓へておくことは出来ない。支那事變は突如として勃發した。初めの暫くは我が國民も、何故こんな事變が起つたのか、何のため

に人的・物的の多くの犠牲を忍んでまでも戦はねばならぬか、そして戦果の目標を何處に置くべきかを理解するに迷つたが、今日では漸くそれを理解するやうになつた。それは抗日蔣政權の單なる打倒ではない、支那に於ける領土的侵略では勿論な



副司令となり、同年國務總理代理となり、一年張勳の復辟運動に参加し、京師憲兵總司令に任じられ、復辟失敗後は職を辭し、後陸軍上將になつたが、間もなく北京に隱棲し、悟善社社長として慈善事業をし、昭和三年張作霖の北京撤退後は慈善聯合救濟會に加はつて北京の治安維持に努め、人望甚だ高し。支那事變後は早くも北京市維持會委員長となつたが、中國臨時政府設立後は議政委員會委員となる。本年七十六歳。

高凌霨 天津の人。清朝末

い。聖戰の眞の意義は、即ち此の「東亞協同體」の建設にあつたのである。我が政府の國策は初めから此處にあつた。聖戰の目標は當初から確固たるものであつた。たゞ國民に知らしめる所が少なかつたがために、一般的に知られず、従つて論議されることゝ少なかつただけである。だが、我が國民は政府及び軍部の數次の聲明により、今や悉くそれを理解するやうになつた。そして各自の理解の程度により種々論議するやうになつた。今にして思へば滿洲事變もその一部の具現であり前哨戰であつたことが判る。かうして東亞協同體の論議は國民刻下の重要な問題となり、また將來に亘る主要な論議となつて來たのである。

近衛聲明による聖戰の意義

聖戰の意義と限界を最も端的に言ひあらはしたものは、昭和十三年十二月廿二日になされた近衛首相の聲明である。(以下全文)  
「政府は本年再度の聲明に於て明かにしたる如く、終始一貫、抗日國民政府の徹底

期張之洞に従ひ湖北に在つて累進し、第一革命後は天津に新式銀行の設立を計畫した事もあり、曹錕と知つて直隸派の靳雲鵬内閣の財政總長となり、爾來歲代内閣の内務、財政、交通等の總長に歴任し、大正十二年國務總理代理となり、曹錕が大統領となるや國務總理となり、次いで顏惠慶内閣の農商總長となり、間もなく辭任して天津に閑居したが、今事變には出で、天津市長となり、中國臨時政府組織するや議政委員會委員をも兼ね。本年七十一。

的武力掃蕩を期すると共に、支那に於ける同憂具眼の士と相携へて東亞新秩序の建設に向つて邁進せんとするものである。今や支那各地に於ては更生の勢澎湃として起り、建設の氣運愈々高まれるを感得せしむるものがある。こゝに於て政府は更生新支那との關係を調整すべき根本方針を中外に闡明し、以て帝國の眞意徹底を期するものである。  
日滿支三國は東亞新秩序の建設を共同の目的として結合し、相互に善隣友好、共同防共、經濟提携の實を擧げんとするものである。これがためには支那は先づ何よりも舊來の偏狹なる觀念を清算して抗日の愚と滿洲國に對する拘泥の情とを一擲することが必要である。即ち日本は支那が進んで滿洲國と完全なる國交を修めんことを率直に要望するものである。  
次に東亞の天地にはコミンテルン勢力の存在を許すべからざるが故に、日本は日獨伊防共協定の精神に則り、日支防共協定の締結を以て日支國交調整上喫緊の要件とするものである。而して支那に現存する實情に鑑み、この防共の目的に對す



顧祝同 江蘇省連水縣の人  
 保定軍官學校卒業後、黃埔軍官學校の戰術教官となり、數回東征軍及び北伐軍に従ひ、功により第九軍長から第二師長となり、廣西又は馮玉祥等の反蔣運動起るや南船北馬してこれを討ち、昭和六年國民政府警衛軍長兼警衛第一師長となり、石友三の反蔣軍や共產軍討伐に従事した後、江蘇省政府主席、南路總司令、江西綏靖主任、軍政部政務次長、四川行營主任、貴州省政府主席を経て、支那事變勃發と共に京滬方面軍總司令となつた。本年四十六歳。

胡宗南 中央軍第一師長。  
 浙江省の産、黃埔軍官學校出身。早くより蔣に従ひ、閩錫山、馮玉祥等の反蔣軍を黃河以北に破り、更に石友三軍を破り、共產軍を安徽省に破り、功により中央監察委員及び第一師長に任ぜらる。爾來何應欽、劉峙、陳誠等と共に蔣介石の股肱たり。本年四十五歳。

吳鼎昌 四川省華陽縣の人  
 東京高等商業學校を卒業し、前清時代の大清銀行監督となり、大正八年南北和議の結果天津造幣廠長となつたが、安福派没落の後に辭職

る十分なる保障を擧ぐるためには、同協定繼續期間中、特定地點に日本軍の防共駐屯を認むること、及び内蒙地方を特殊防共地域とすべきことを要求するものである。

日支經濟關係については、日本は何等支那において經濟的獨占を行はんとするものに非ず、又新しき東亞を理解し、これに即應して行動せんとする善意の第三國の利益を制限するが如きことを支那に求むるものに非ず、たゞ飽くまで日支の提携と合作とをして實効あらしめんことを期するものである。即ち日支平等の原則に立つて、支那は帝國臣民に支那内地における居住營業の自由を容認して、日支兩國の經濟的利益を促進し、且つ日支間の歴史的經濟的關係に鑑み、特に北支及び内蒙地域においては其の資源の開發利用上、日本に對し積極的に便宜を與ふることを要求するものである。

日本の支那に求むるもの、大綱は以上の如きものである。日本が敢て大軍を動かせる眞意に徹するならば、日本の支那に求むるものが區々たる領土に非ず、又戰

費の賠償に非ざることは自ら明かである。日本は實に支那が新秩序建設の分擔者としての職能を實行するに必要な最小限度の保障を要求せんとするものである。日本は支那の主權を尊重するは固より、進んで支那の獨立完成のために必要とする治外法權を撤廢し、且つ租界の返還に對して積極的な考慮を拂ふに吝ならざるものである。」

以上の近衛聲明を要約すると大體次のやうになる。

- 一、滿洲國の承認
  - 二、日支防共協定による我が駐兵權と防共地域の設定
  - 三、日支兩國の積極的經濟提携
  - 四、領土的野心なく、賠償金要求をなさず
  - 五、治外法權撤廢、租界返還による支那の完成なる獨立速進
  - 六、以て日滿支三國による東亞新秩序の建設
- これを更に要約すると、國防の共同、經濟の一體化、政治の獨立、により東亞協



した。大正十四年鹽業銀行總裁に返り咲き、爾來金融界に活躍し、昭和十一年國民政府實業部長となる。本年五十六歳。

**吳鐵城** 廣東省中山縣の人米國の桑港で商業に従事中国第一革命に参加し、第二革命失敗後は我國に亡命し、後蔣介石と結び、終始蔣を輔け、昭和六年上海市長となり、上海事變發生に際し我方と折衝した。後國民黨中央執行委員、同組織委員會主任、國民政府立法委員等を兼ね、昭和十二年廣東省政府主席となつたが、我

同體を建設しようといふことになる。

### 東亞協同體と滿洲事變の意義

近衛聲明では、支那に對つて、先づ滿洲國の獨立を認め、これと修交關係を結べと要求してゐる。これは、滿洲國が既に獨立したのだから、その事實を認めよといふ單なる現實論ではない。これこそ東亞協同體を築く基礎だからである。滿洲事變は、昭和六年九月十八日、當時全滿洲を支配してゐた張學良が露骨な抗日態度をとり、我が權益を無視し、最後に滿鐵のレールを破壊した事から起つた事變であつて、その精神、その原因は支那事變と全く軌を一にしてゐる。即ち國民政府の對日政策の然らしめたところであつて、彼に一聯のつながりがあると同様に、これを斷乎排撃した我が方針にも亦密接な繋がりがあつた。即ち滿洲事變は東亞協同體建設劇の序幕であり前哨戦であつた。それに氣づかず、氣づいてゐても敢て採用しようとしなかつたのは、我が國上層部の中に底流する舊勢力の誤謬であつたと

軍の廣東占領後は逃れ廻つてゐる。本年五十五。

**吳佩孚** 山東省の人。保定武備學堂卒業後、曹錕麾下となり、第二、第三革命を経て果進し、大正八年第三師長となり、翌年の安直戦に曹錕を助けて安徽派を破りその後奉直戦に張作霖軍を大破して勇名を馳せ、大正十二年曹錕が大總統となるや直魯豫巡閱使となり、河北、山東、河南三省を支配す。十三年第二次奉直戦に出陣したが部下の馮玉祥に裏切られて敗れ、湖南に逃れた。所が昭和元年蔣介

同時に、蔣政権の認識不足でもあつた。

我が國が大陸に進出しよう、又、進出しなければならぬといふ所謂大陸政策は、豐臣秀吉時代からのものであると論ずる人もあるが、少くとも明治政府以後の一貫した方針であつた。日清・日露の兩役は我が國が大陸に伸びようとする力を阻止したものに對して起された戦争であつた。當時蔭で活躍した志士達は早くからこれを感し、その大望を抱いてゐた。彼等が孫文の革命を助けたのも一に茲に原因する。ところが當時の我が國は經濟的にも政治的にも大陸に伸びるべく猶充分の力を備へてゐなかつたし、又、上層階級の多くは、國際聯盟主義の迷夢にとざされ、只管に平和を口にするばかりで、民族の本能、自然の流れを見通すことが出来なかつた。その上、大陸政策を唱へるものも、舊來の帝國主義的迷夢にとらはれて、眞の姿を發見することが出来ず、多くの誤謬を犯した。孫文の革命をして正しく導き得なかつたことは、我が政府の誤謬でもあるが、我が志士達の謬見にも起因するといはなければならぬ。この誤謬は重大な結果を齎らした。即ち國民黨と共產黨の握手であ



石軍のため又も追はれて河南省に退いたが、形勢利あらず四川に逃れ、甘肅に走り、昭和六年舊部下に擁されて北京に入り、爾來讀書と念佛三昧に隱遁生活を送つたが、民衆の信望は去りやらず、昭和十四年一月、遂に推されて支那事變收拾のために再起し、救國會を組織して蔣政權打倒、容共政策反對を唱へ、新支那の建設に努めてゐる。本年六十七。

蔡元培 浙江省紹興縣の人 清朝時代の進士で翰林院編修たり。獨逸ライプチヒ大

り、英米依存、日本排斥の、所謂以夷制夷、遠交近攻の政策となつて現れたのである。茲に於て我が識者は遅播きながら漸くそれに氣つき、東洋民族の現状、世界の形勢、そして國際聯盟主義の誤謬を痛感し、東亞共同體の思想と方策を確立するやうになつた。

滿洲事變が起つた當時、我が國では専ら張學良の無禮を怒り、滿洲國民の自主獨立を援け、以て我が過剩人口のはけ口を滿洲國に求めるだけのものゝやうに解してゐたが、事實はそんな生優しいものではなかつた。それは空想的な聯盟主義の全面的否定であり、西洋諸國の抱く侵略的東洋政策の全面的拒否であり、東洋民族の完全な自主獨立であり、全東洋的國防策の確立であり、これを一言にしていへば東亞協同體の建設であつた。

これは決して徒らな大言壯語ではない。滿洲事變以後の日滿兩國の動きが事實上これを證明してゐる。いひかへれば日滿兩國の提携は東亞協同體確立の序幕であり、試験臺であつた。そしてこれに成功した我が國は、大いに力を得て愈々その本舞臺

學で哲學を修め、國立中央研究所長、北平圖書館長、國民政府委員、國民黨中央監察委員等を兼ね。國民黨の元老として輿望高し。本年七十三。

蔡廷楷 廣東省羅定縣の人 保定軍官學校卒業後、陳銘樞の麾下となり、廣東にあつて常に蔣介石を助け、昭和六年第十九路軍長となり翌年上海に於て我軍と戦ひ大敗したが、一種の英雄に祭上げられ、駐閩綏靖主任代理となる。次いで陳銘樞と共に福建の獨立を策して失敗し下野外遊したが、昭

に乗出したといふのが支那事變聖戰の眞意義でなければならぬ。

いま滿洲事變が齎らした結果の主なるものを擧げると、次のやうである。

第一、滿洲國の資源を開發し、産業を興し、農地を開拓して物産を増し、滿洲國自身の經濟力を増加すると共に、我國に不足する原料と我が國に餘つてゐる商品、資本、技術、人口とを交換して日滿經濟ブロックを確立し、以て日滿兩國の經濟圏を廣くし、國民經濟の行詰りを打開した。

第二、防共線を大陸にまで進めて我が國防を強固にすると共に到底相容れない西歐の個人主義的思想文化から東洋民族特有の思想文化を守つた。

第三、日滿兩國の鞏固な盟邦協定により、従来の帝國主義的領土侵略、或は空想的平和主義のヴェルサイユ體制のほかに、新たな國際間の政治的組織のあることを知らしめた。即ち從來のやうな同盟國や屬國、保護國の様式を捨て、國防の協同と經濟の一體化による新協同體を確立した。

以上三つの中で最も著しい特長は第三の事柄である。即ち、西歐諸國にあつて



和十年歸國し、廣東及び廣西にあつて抗日を事としてゐる。本年五十一。

**周恩來** 江蘇省の人。天津の南開大學卒業後パリで苦學し、歸國後黃埔軍官學校政治主任代理となり、蔣介石の第一軍政治部主任となつたが、國共分離後共產黨の組織部長となり、共產黨と共に各地に轉々移動したが、昭和十一年西安事件の際共產黨代表として現はれ、遂に蔣介石をして抗日戦を決意せしめた。支那共產黨第一の政治家。本年やらや

各國内部の悩みであり國際間の大きな悩みでもあるのは民族自決の問題であり、異民族は互ひに排斥し合ひ、經濟的にも政治的にも國防的にも何等獨立性を持たない癖に一民族一國家の思想を抱き、徒らに相争ふの結果、最近のチエツコスロヴァキアのやうに自ら國家を亂し且つ滅ぼす結果を捲き起してゐる。西歐の歴史は大部分此處から發してゐるが、これこそ眞の平和——協和といふことを知らない個人主義、自由主義の弊害である。東洋民族は古來個人主義的思想に乏しく、協和の精神、中庸の道を理想としてゐる。そこで滿洲國にあつては先づ五族協定の王道樂土建設を立國の基礎とし、これが具現に努力して來た。土着の民族は滿洲人と蒙古人である。土地を開拓したのは漢民族と朝鮮民族である。國土を防衛するのは日本民族である。滿洲國は何民族のものでもない。何民族が支配するものでもない。文字通り相互依存・共存共榮の五族協和の國である。然もそれ等の民族は各自の故國を持つてゐるのであるから、その故國と滿洲國との間には血の繋がりがあり、從つて政治的、經濟的、文化的の繋がりをも持ち、だからこそ一層協同體の結合が密接に行くので

く四十二歳。

**蔣介石** 名は中正。浙江省奉化縣の人。保定軍官學校日本陸軍士官學校を卒業し高田騎兵聯隊附見習士官として研究中、第一革命に歸國し、孫文の廣東軍政府に入り、各地に轉戦、第二革命失敗後孫文の秘書となつて日本に亡命、後共に廣東に入り、許崇智の下に參謀長たり、意見合はず、上海に去つて株式取引所仲買人となつて巨富を積む。大正十二年廣東に赴き、拔擢されて大本營參謀長たり、ソ聯に入つて赤軍及び士官學

ある。

このやうにして滿洲國は東亞協同體の雛形を示し、東亞協同體の基礎たらうとしてゐる。こゝに滿洲事變の偉大なる意義があつたのである。

### 支那事變解決の根本方策

支那民族と日本民族とは同文同種の民である。同じく極東に住み、何千年來交通し來り、我國人は又支那民族に大いに啓發せられて來た。それが屢々戦はねばならぬといふのは大きな悲劇である。殊に今回の事變のやうに、兄弟であるべきものが他人の西洋諸國にそゝのかされて相手を傷つけようとし、遂に戦争にまで發展したのは、何としても悲しむべきことである。けれども我國は初めから支那の國家全體、國民全體を憎みはしなかつた。西歐の傀儡となり、抗日政策をとる國民政府を膺懲するのである。從つて我が聖戰の意義を誤解してゐる支那國民にその點を解明し宣撫することに戦闘以上の苦心と努力を拂つてゐる。こゝに支那事變の大きな特長が



校の組織を研究し、大正十三年歸國して黄埔軍官學校を設立し校長として革命軍人の養成に努め、その學生軍を率ゐて廣東革命軍總帥となり、陳炯明を驅逐して國民革命軍を整備し、國民黨中央執行委員となる。孫文の死後昭和二年クーデターを行つてポロヂン等の共產黨を黨内から一掃し、汪兆銘、胡漢民等の先輩同僚の去つた後廣東に獨裁を振ひ、同年唐生智を援けて湖南に吳佩孚を破り孫傳芳を追ふて武漢を占領し、こゝに國民黨の政府を樹てたが翌年更に南京、上海を占領

あり、又そこそこそ事變解決の根本方策があるのである。  
「以夷制夷」と「遠交近攻」は春秋戰國時代以來の支那爲政者の常套手段である。これがどんなに自らの國力を殺ぎ、諸外國の侮りを受けて来たかは、歴史が遺憾なく證明してゐる。支那は阿片戰爭の際、英國から如何に無理で勝手放題な言ひがかりをつけられたかを知つてゐる筈だ。そして香港をとられ、九龍を租借され、上海を半ば占領された。恨み骨髓に徹しなければならぬ筈なのに、何等の反撥を試みぬばかりか、支那は平然として英國が勢力を張るにまかせ、長髮賊の亂が起るや自力でこれを平げず、英國の軍隊を借りて鎮定し、その代償として父もや國土を切賣りした。日清戰爭の際にも、露獨佛の力を借りて遼東半島を我國から奪回したまでによかつたが、その代償としてそれにも勝る遼東、膠州灣、廣州灣、威海衛等を租借されてしまつた。日露戰爭に先立つても、我國の半島進出を阻むためにロシアを頼み、滿洲を勢力下に收められる結果を取て顧みはしなかつた。このやうにして支那の以夷制夷の外交策は、悉く失敗に歸してゐる。然も大なる失敗に歸し、その度に

して南京政府を樹て、黨内左派たる武漢政府と争ひ、共產黨を逐ふて津浦線を北上したが、失敗して下野し日本に亡命した。その時宋美齡と結婚し、歸國して再び國民革命軍總司令となり第三次北伐を敢行して遂に北京、天津を收め、武漢派、西山派とも合體して南京政府を強化し、全く共產黨と手を切つた。昭和三年四度北伐を行ひ、張作霖と一戦したが、我軍の山東出兵に阻まれて目的を達し得なかつた所、張作霖の急死により、張學良と妥協し、東三省及び滿洲にまで青天白日

他國に侮られ、國力を殺いでゐる。機會均等主義などと、他國の宗主權を侮辱し切つたことを云ふ英米にまで媚を呈して我國から膠州灣の租借權を奪つた代償は何であつたか。國內の經濟を勝手氣儘にかまはされ、抗日政策をとられ、遂に滿洲事變、支那事變をひき起したのである。然も彼等は猶迷夢が醒めず、頼みにならぬ國際聯盟を頼み、野心滿々たる赤露と握手し、遂に事態を收拾すべからざるものにしてしまつた。  
これは支那四億の國民にとつて大きな教訓であらねばならぬ。そして又、我が國にとつても大きな教訓である筈である。西歐諸國は支那民族を侮辱し、支那民族を思ふがまゝに支配しようとして来た。我が國は今や皇軍の力によつて支那中央の大部分を占領し、生殺與奪の權を握つてゐる。だが、我が國が若し西歐諸國が過去にとつたと同様な方式を以て支那の領土を割かしめ、賠償金をとり、支那民族を馬鹿にしたがら支配しようとしたならばどうであらうか。それは支那民族を苦しめ泣かしめるばかりでなく、必ずや西歐の勢力と正面衝突し、やがて自らを滅ぼすに至



旗を掲げ得て、こゝに國民革命は形式的に完成した。然もその間、不斷に續けられた反蔣運動を抑壓した上、執拗な共産黨をも追ふて殆んど無力に近いものとし、軍事委員長、行政院長等の要職を兼ね、今や全く支那全土は蔣介石の天下になり、聲望一世を風靡した。所が昭和十一年西安に赴き張學良に監禁せられ、強制的に抗日容共政策を強いられ、共産軍とも妥協して抗日態度を明かにし、遂に支那事變の大事を惹起した。その間、軍事委員長、行政院長、黨中央常務委員會主席委員

るやもはかり知れない。何故なら我が國は國防的資源に乏しく、滿支を眞の味方にすることなくしては到底西歐諸國と對抗し得ないからである。そこで我國は、自らの生存のためにも滿支を味方としておかなければならない。だがそれが、僞滿的なものであつたり、強壓的なものであつたならば、その提携は何時かは破れるだらう。茲に於て我國は、強壓でなく、僞滿でなく、眞情を以て手をさしのべなければならぬ。そして眞に支那を幸福にし、東洋民族の文化と地位を高めて行つたならば、これこそ眞の相互依存であり、共存共榮である。一言にして盡せば、支那事變解決の根本策は東亞協同體の建設にあるのである。

### 東亞協同體の根本條件は何か

東亞協同體の根本條件は、東洋民族が政治的・經濟的・國防的・文化的に完全に統合し、それを妨げる外力の壓迫を退けて、東洋民族固有の王道文化を基礎とする大社會を建設するにある。而してその統合の地域は、日本・滿洲・支那を中心と

等になつたほか終には國民黨總裁に推戴せられたが、我軍のために連戦連敗し、今や重慶に逃れて一地方政權となり、汪兆銘の離脱により愈々影が薄くなつた。本年五十一歳。

蔣經國 蔣介石の前夫人陳潔如の長子。大學卒業後ソ聯に長く留學し、父を國民黨の反逆者と稱して歸國しなかつたが、支那事變勃發以後、國民政府が容共政策をとるに至つたので歸國し政府の要職に就いてゐる。  
蔣作賓 湖北省應城縣の人  
日本陸軍士官學校卒業後第

し、これに賛成するその他の諸國をも加入せしめる。各國は、各國特有の状態に従つて、政治的には獨立し、主權を行使する。従つて各國は、自國の立法權を有し、行政・外交・財政を管理し、産業・商業・交通・司法・教育・社會保安等の全般に亘り、これを統轄することが出来る。けれども國防の共同化、經濟の一體化その他協同體全般の利益のためには、時として必要な制限を加へられることもある。しかしながら協同體は或る一國が他國又は全體を支配することなく、全て對等の地位に置かれなければならない。かくして東亞協同體は東洋民族固有の王道文化を建設するのである。

### 王道政治とはどんな政治か

王道は霸道と共に支那古來の政治道徳上の二つの道とされてゐた。即ち霸道は武力又は權力を以て民を壓へ、權力者の私利私慾をとげるためには國民の福利を敢て顧みないものであるが、王道は徳教を以て民を保護善導し、民をして堵に安んぜし



一革命に加はり段祺瑞の麾下となつたが、後國民革命軍總參謀等となり、間もなく外交畑に轉じ、駐澳公使を振出しに、昭和七年には駐日公使たりしことあり、昭和十年歸國して國民政府内政部長に任ぜらる。本年五十七歳。

**商震** 河北省保定縣の人保定陸軍速成學堂、北京陸軍大學を卒業し、昭和二年閩錫山麾下の第一軍長となり山西にゐるが、昭和六年石友三が反蔣軍を起すや石家莊にこれを敗り、爾來山西を出て石家莊に本據を置

める政治である。故に外面的には同様に平和であり國力の繁榮を見ても、王道が精神的な服従と融和をもつてゐるのに反し、霸道は強ひられた服従であつて、内部に多くの不平を藏し、いつかは破綻を生ぜずにはゐない。なぜなら霸道に於ては如何に善を行ひ民を恤んだとしても、それは一時の富強小康をうるための方便技術にすぎないのだから、民をして心服せしめることが出来ないからである。所が王道に於ては、君主は自らを薄うして民を厚くし、民の負擔を軽くし、民と苦樂を共にし、民の生活を基礎として政治を布き、徳を施し禮儀を篤くする。故に民が心服せぬといふことはない。而して斯くの如き王道政治を布いたのは古代支那の五帝三王であり、孔子はこれを正して春秋戰國諸侯の霸道政治を矯めようとし、諸國を遍歴してその道の提唱に一生を捧げ、或る時は自ら廟堂に立つたこともあるが失敗した。その後孟子は口を極めて王道の衰微を慨いたが、遂に實現に至らなかつた。以上は支那古來の王道政治の思想内容である。現代の東亞協同體に於て孔孟の説くやうな王道政治が文字通り布かれる筈はなく、多くの修正を要するは勿論である

き兵二萬を養ひしも、今や敗れて轉々たり。年五十四。  
**朱紹良** 福建省の産。我が陸軍士官學校第十期砲兵科卒業。蔣介石に従つて北伐し國民革命軍參謀長を勤む後軍事委員會委員、軍政廳長、師長等を経、昭和六年第三軍團總指揮となつて共産軍討伐を行ひ、最近まで甘肅綏靖主任であつた。

**朱德** 雲南省の人。雲南の講武學堂を出て雲南軍に入り、混成旅長まで累進し大正十二年朱培徳と共に雲南軍を率ゐて廣東政府に投じ、軍事研究に獨逸に至り

が、その根本に於ては異るところはない。即ち現代の王道は、東亞協同體に屬する各民族が、その理性と良心とに従ひ、完全に自己を生かすと共に、相互依存の必要と事實を認め、高度の信頼と服従を誓ひながら共存共榮の實をあげることであつて、これを一語についでいふならば、「八紘一宇の理想を實現すること」である。而してこの八紘一宇の思想は我が日本民族が傳統的に持つ皇道の根本思想であり、従つて王道と皇道とは根本に於て歸一しなければならぬ。

よもの海みなはらからと思ふ世に

など波かぜのたちさわぐらむ

明治天皇のこの御製は皇道思想を最も端的に表現したものであり、東亞協同體はこの御製の精神に歸一統合すべきものである。

### 國防の共同化と皇軍の滿支駐屯

東亞協同體に於ては國防の共同化といふことは重要な役割をもつてゐる。これを



歸國後直ちに支那共産黨に入り、蔣介石の北伐には朱培德麾下の師長、副軍長となつて参加し、昭和二年國共分離の際國民政府を脱して南昌暴動に参加し、失敗するや福建に退き、湖南に入つて毛澤東と共産軍を組織し軍長となり、瑞金の中華ソヴェエト臨時政府軍事委員長となり、爾來支那共産軍の最高指揮官となつて各地に轉戦、大いに中央軍を悩ました。支那事變後は共産軍を第八路軍とし、自ら軍長となつて抗日戦に参加してゐる。本年五十五歳軍事の天才の稱あり。

具體的にいへば皇軍を滿支に長く駐屯せしめることである。近衛聲明に於ても皇軍の支那駐屯の理由が述べられてゐる。けれどもそれは文字の上に於ては、支那事變及びその收拾策に關してのみであり、單に防共のためと云つてゐるだけであるが、東亞協同體論者はそれ以上に廣汎な意義と必要をこれに持たせてゐる。

抑も日滿支協同體が結成せられた曉に、これに壓迫を加へるであらう所の外力は何であるかといへば、第一にはソ聯の赤化、第二には英國の舊支配力挽回策、第三には米國の機會均等主義、この三つである。この三國が箇々に、或は共同して東亞に武力的壓迫を加へ來つた時、我々はどうしなければならぬか。

第一にソ聯に對しては、先づ朝鮮・滿洲・蒙古の北部國境線に於て、ソ聯極東軍の持つ兵力と同等或はそれ以上の兵力を持たねばならぬ。滿洲國は深くソ聯領土内に突出し、ために沿海州をソ聯本國から遮斷するといふ戰略上有利な態勢にある。従つて開戦となるや内線よりする各箇擊破により直ちに國境を越えてバイカル湖畔

徐世昌 天津の人。幼にして神童の名あり、前清の進士で、袁世凱に見出されて明治三十七年南部右丞となり、四十年東三省總督となつて銳意滿洲の統治に當り四十四年慶親王内閣の副總理となり、樞密院副議長、參謀總長を歴任し、清國朝廷の最高顧問となり、宣統帝退位後はその師傳となり民國成立後大正三年國務總理となつたが、袁世凱の帝制問題に反對して辭任し、その事止むや再び國務總理となり、大正七年段祺瑞の新國會に選ばれて大總統となつたが十一年辭任し、政

に進出し、以てシベリヤ鐵道を遮斷し、沿海州を孤立無援たらしめることは決して不可能ではない。だが一面から考へれば、滿洲國は三方から包圍されてゐる不利な態勢にあるとも見なければならぬから、従つて此處には充分な兵力を要する。然も一方、赤軍は、外蒙を横斷して内蒙を突き、直ちに日滿支の襟首に毒刃を擬することも出来、更に新疆省を通過して懸軍萬里、陝西省の西安に出て支那の胸中を突くかも知れぬ。そこで東亞協同體では、内蒙を防共地域として警戒を嚴重にすると同時に、陝西・甘肅・四川の方面をも充分に固めねばならぬ。

以上ソ聯に對しては主として陸軍であるが、若し英米と事を構へるとならば、主として海軍の力に頼らなければならぬ。支那に於ける英領の香港は我が海の精銳の前には一ト揉みにも値しないものであるが、本國から、印度、シンガポール、佛領印度支那と飛石傳ひにやつて來られれば相當うるさいし、米國がフィリッピンやグアム島を根據として進攻して來ても相當に手ごわい。殊に二國の艦隊がシンガポールに勢揃ひして南支を襲ふとなると、我が海軍としては、米艦隊の我が太平洋岸に



界を退いて天津に閑居す。本年八十二。文名高し。

石友三 滿洲國吉林省農安縣の人。保定軍官學校卒業後馮玉祥麾下となつて累進し、屢々勇名を馳せたが、馮玉祥を裏切つて韓復榘と接近し、昭和六年汪兆銘、閻錫山等の反蔣運動に加はつて失敗し、その後反張學良の軍を起して失敗し、韓復榘の下に逃れて危く逮捕を免れたが、逮捕令が解かれてからは冀察政務委員となり、北京にあつて保安隊を指揮してゐたが、支那事變起るや保安隊を動かして

加へる奇襲をも考慮に入れ、南支那海方面へ全力を割くわけに行かなくなり、なか／＼容易なことではない。

これ等の國防に對し、誰が第一線に立つて對等に太刀打が出来るか？ いふまでもなく皇軍をおいて他にない。勿論滿支兩國にも軍隊はあり、支那軍は今後の指導教育によつては相當強くなり得るではあらうが、これが指揮と教育とは我が皇軍に俟たねばならぬ。戦争は先づ何よりも勝つことを要する。勝利を占めるには強くなければならぬ。皇軍は連戦連勝の歴史を有し、猶それに値する實質を備へてゐる。東洋——殊に日滿支三國が、強慾飽くなき西洋諸國の毒手から兎にも角にも今日まで身を守り得たのは何の力であるか？ いふまでもなく、日清・日露・日獨の三戰に示した我が皇軍の武威によるのである。若し皇軍の睨みがなかつたならば極東諸國は今日どうなつてゐたらうか。今日よりもよかつたらうとは何人も強辯することが出来まい。東洋民族及び東洋諸國を守り得たのは、今日までも一に我が皇軍の力であつた。そして將來と雖も恐らくこの事實に變化はあるまい。我々はその誇りを

通州事件等で我軍に抗し、後宋哲元軍等と共に敗戦の後を追ふて轉々してゐる。  
錢大均 江蘇省崑山の人。明治四十四年少年の身を以て第一革命軍に加はり、第二革命に失敗するや我國に亡命し、保定軍官學校を卒業後再び來朝して陸軍士官學校に入り、第十二期砲兵科を卒業し、大正八年歸國して廣東軍政府に投じ、十三年黃埔軍官學校教官となり、翌年蔣介石に從つて陳炯明を討伐し、第一師副師長から第一師長、第十二師長、第三十二軍長と累進し

### 日滿支三國經濟の一體化

東亞協同體に於ては國防の共同化と同時に經濟の一體化が何よりも先づ必要となつて來る。經濟の一體化は各國の財政と一般經濟とに分けて考へられなければならない。經濟はぬが、要するに完全なる國防といふことを先づ主目的としなければならない。經濟は國防のみに從屬すべきものではない。だが東亞協同體建設の初期に於ては、何よりも先づ國防であり、從つて政治も經濟も文化も、先づ國防といふ一點に集中して考へられねばならぬ。何故なら、東亞協同體建設の初期に於ては、これによつて不利



國民黨中央執行委員となり昭和十年軍事委員會黃埔行營侍從室主任に任ぜられ、十二年宋美齡の後を襲つて航空委員長となつた。年四十七。蒋介石の信任極めて篤い。

**曹汝霖** 上海の人。明治三十七年早稻田大學を卒業し前清の進士となり政府の外務部に勤め、民國成立後北京政府の外交部に入り、後袁世凱の顧問となり、大正三年外交部次長、五年段祺瑞内閣の交通總長兼外交總長となり、八年まで歴代内閣の交通總長、財政總長等

益を蒙るであらうところの英米及びソ聯の妨害を阻止しなければならぬからであり、阻止の方法として外交官の背後或は前面に立たねばならぬのは何といつても國防力だからである。

茲に於て我が日本軍は滿支の地、即ち東亞協同體の國境線に沿ふて何程の兵力を、どの位の期間駐屯せしめなければならぬか。若しソ聯のみが攻勢に來た場合には、どの位の人的及び物的資源を必要とするか。若し英米が海軍の總力をひつさげて來た場合には如何。英米ソ三國が協力して來た場合には如何？ これ等の諸問題をしらべ、何年間か戦つて勝ち得るところの人的、物的資源の総合的な需給計畫を樹て、これに従つて、各國の産業計畫、財政計畫、金融計畫、交通計畫、重要物資需給計畫、食糧計畫、技術員熟練工の養成配給計畫等を樹てなければならぬ。然もそれは焦土的一時的計畫ではなく、將來への輝かしい發展と密接に關聯した健全な計畫でなければならぬ。

我國は目下支那事變に於て、二年間に百數十億圓の軍費を使ひ、一年間約六十億

を歴任したが、八年抗日學生に邸宅を焼かれて下野し天津にあつて交通銀行總理を初め各銀行會社の重役となり、昭和三年國民政府に逮捕されんとしたが、昭和十年冀察政務委員會委員となり、十二年中國臨時政府設立以後は行政委員會財政部長として活躍してゐる。本年六十五歳。大の親日家

**宋子文** 海南島に生れ、上海のセントジョーンズ大學卒業後米國のハーバード・コロンビア大學等に學び、歸國後漢冶萍煤鐵公司に勤めたが、大正十二年廣東政府

圓と計算されてゐるが、將來に於ては戰爭はより廣汎であり、より猛烈であらうから、一年間に九十億圓乃至百億圓は充分に覺悟しなければならず、それが三年間續くとしたら、三百億圓を豫定しなければならぬ。然もこれは主として我國のみに屬するものであつて、他の國を加へれば更に倍加されよう。そこで國民は今からこれを覺悟し、冗費をはぶき、貯蓄を行ひ、公債を不安なく消化すると共に、爲政者もまた悪性インフレーションの防止に最善の努力を拂はなければならぬ。

**物資は自給自足し得るか**

ところで軍事上必要な物資が果して東亞協同體内で自給自足し得るか？ この問題は多く將來にかゝつてゐるので、目下は言明することは出来ないが、大體に於て自給自足し得る見込みである。

我が國では昭和十二年日滿産業五ヶ年計畫を樹てたが、それによれば昭和十六年末に於て、鋼材一千百萬噸、銅塊一千二百萬噸、銑鐵一千二百五十萬噸、鑛石二千



に投じ孫文の秘書となり、次いで廣州中央銀行長、廣東國民政府財政部長、廣東省財政廳長、廣州中央銀行總裁等になり、浙江財閥と結んで國民政府の財政を一手に引受け、南京政府樹立後は財政部長となり、南京、武漢合體後も同職にあり中央銀行總裁を兼ね、昭和五年行政院副院長となり、一時これを辭したが、汪蔣合作成るや再び同職に就き、汪兆銘下野後は行政院長代理となつた。その後財政部長を孔祥熙に譲り、世界經濟會議に出席したり、米國で棉麥借款を成立させたり

二百五十萬噸とし、各々現在の倍額をねらひ、石炭に於ては五割増の七千二百三十萬噸、揮發油に於ては七年計畫で、七年後の昭和十八年には現在の十五倍に相當する百五十二萬噸とし、重油は約七倍の百二十八萬六千噸とし、金も百三十噸に上げ、鹽は約二倍とし、自動車年産十萬臺、工作機械年産二億圓とした。併しこれ等は日滿二國のみのことであり、豊富な資源を有する支那を合せるやうになれば、更にこれを倍加することが出来る。然も支那にはなほ未開發の所が大部分であり、將來どのやうな有望な資源が発見されるか分らない。農産物に於ても同様であつて、支那における棉花栽培の改良や獎勵によつて、ほゞ三國の需要を充たし得る見込みがある。

このやうにして東亞協同體が國防の共同化と經濟の一體化を完成し得るならば、東亞を王道樂土と化することが出来、初めて今回聖戰の目的が達成し得るだらう。然してその完成如何は一に我が國民の覺悟如何にかゝつてゐる。われらの責任また重大といふべきである。

### 國際外交事情

#### 歐洲外交界の展望

歐洲各國の關係はどうなつてゐるか

歐洲、といふと非常に廣い土地のやうに思へるが、面積は我が皇軍が現在占領してゐる支那の地域ほどもあるかなしの狭い土地である。此の狭い土地に、三十數箇の獨立國が目白押しに押しあつてゐるのだから、外交關係が複雑になることは推して知るべしである。その中からローマ法王廳、リヒテンシュタイン、ルクセンブルグ等といふ顯微鏡的な小國家は問題外とし、兎も角も一人前の顔をして國際外交場裡に顔出しをする國家だけを拾ひ上げてみても二十數ヶ國となる。先づ、英、佛、獨、伊、ソ聯などの一流どころを初めとし、ポーランド、スロバキア、ユーゴ

し、今は中國銀行董事長、國民政府中央委員、全國經濟委員會長等を兼ねてゐる支那第一流の財政家で、新財神とまで云はれ、財政方面で國民政府に盡した功績は絶大である。宋一家の長男で、孔祥熙夫人宋靄齡、孫文未亡人宋慶齡を姉に持ち、蔣介石夫人宋美齡は妹である。なほ弟に宋子良、宋子安等がある。本年五十歳の働き盛り。

宋靄齡 宋兄妹の長姉で、孔祥熙夫人である。妹の慶齡や美齡ほど世間的に顔出しせず、専ら家庭に閉籠つ